



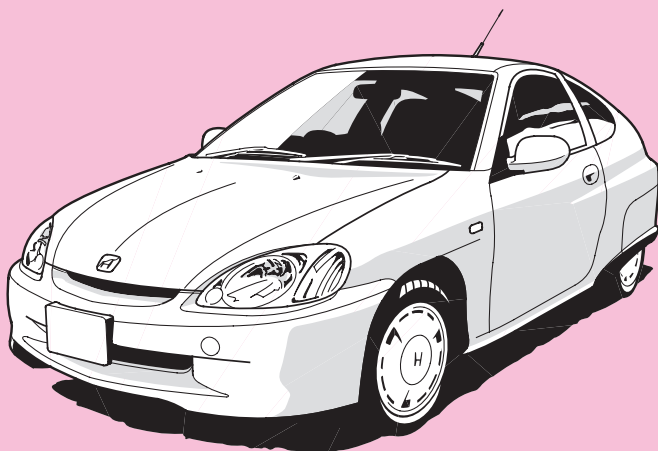
取扱説明書

ご使用前に
よくお読みください。

Insight

このたびはHonda車をお買い上げいただき、 ありがとうございます。

この本は *Insight* の取り扱いについて
必要事項を説明しています。
安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前に必ずお読みください。



● 運転はルールを守り、マナーよく。 ・ シートベルトを着用しましょう。 ・ 法定速度を守りましょう。 ・ 子供やお年寄りをいたわりましょう。 ・ 駐停車は、ルールに従いましょう。 ・ 迷惑運転はやめましょう。 ・ 自然環境保護に気をくばりましょう。	● お車に“  ”の表示があるところは、ご使用前に本書の記載を確認してください。 ● 取扱説明書は、メンテナンスノートと共に、いつもお車に保管してください。 ● お車をゆずられるときは、つぎに所有されるかたのためにこの取扱説明書およびメンテナンスノートを車につけておいてください。
● 保証や点検整備に関することはメンテナンスノートに記載しておりますので、ご使用前に必ずお読みください。	● ご不明な点は、担当セールスマンにおたずねください。

車の仕様などの変更により、この本の内容と実車が一致しない場合がありますのでご了承ください。

本書の読みかた

この本はドライバーの動作に沿って各部の取り扱いを説明しています。
また、装備、万一のときの応急処置、お車の手入れなど、必要な情報を説明しています。

インサイトを正しく理解いただくために

インサイトの特徴を記載しています。ご使用前にお読みください。

「安全ドライブのための必読6ポイント」

重要ですので、しっかりお読みください。

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

危険

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの

警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの

注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

その他の表示

お車に関することや、その他のアドバイスは下記の表示を使って記載しています。

アドバイス

お車のために守っていただきたいこと
(車が故障・破損するのを防ぐためのアドバイス、異常事態の処置方法を記載しています)

知識

知っておいていただきたいこと
知っておくと便利なこと

タイトル

階層ごとにデザインを変えています

ヘッダー

ページの内容を示しています

ページ インデックス (→4ページ)

7. 車との上手なつきあい方

積雪・寒冷時の取り扱い



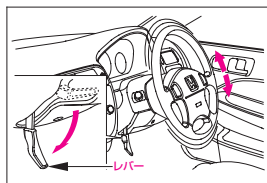
ハンドル・バックミラーの調節

チルトステアリング

ハンドルの高さを適切な位置に変えることができます。



レバーを押し下げ、ハンドルの高さを適切な位置にして、レバーを元の位置まで確実に引き上げて固定します。



△注意

- 走行中に調節するとハンドルが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。調節は走行する前に行い、ハンドルに上下方向の力を加え固定されていることを確認してください。

ルームミラー

知 識

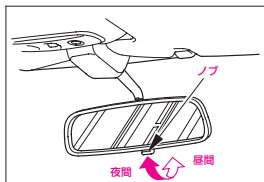
- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。



ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置に行ってください。

●長期間使わないで

屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

△注意

- 格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。そのまま走行すると、火災のおそれがあります。

193

説明文

装置／機構について

解説



操作方法

安全に関する表示

に分けて記載しています。

※このページはサンプルページですので、記載されている内容と実車は異なります。

本書の上手な使いかた

知りたい項目の説明がすぐ探せるように、いろいろな引きかたが用意されています。



タイトルから探すとき



目次(P.5)

ページインデックス:

目次に対応しているので、目的のページが辞書を引くように探せます。



スイッチ類などの名称が
わからないとき



ビジュアル目次
(P.6~9)



名称から探すとき



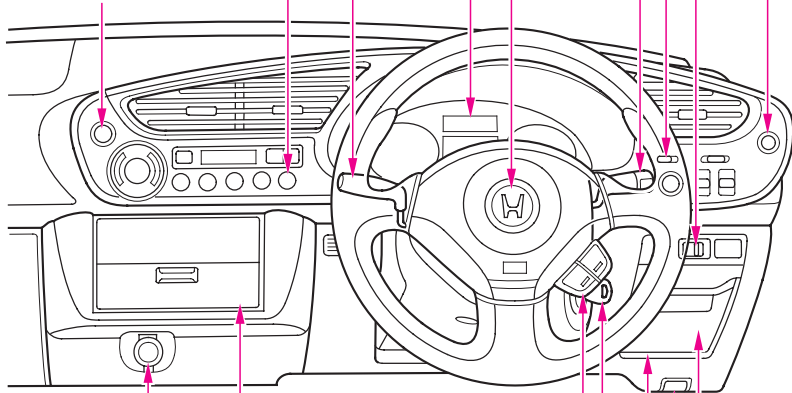
さくいん
(P.232~240)

目次

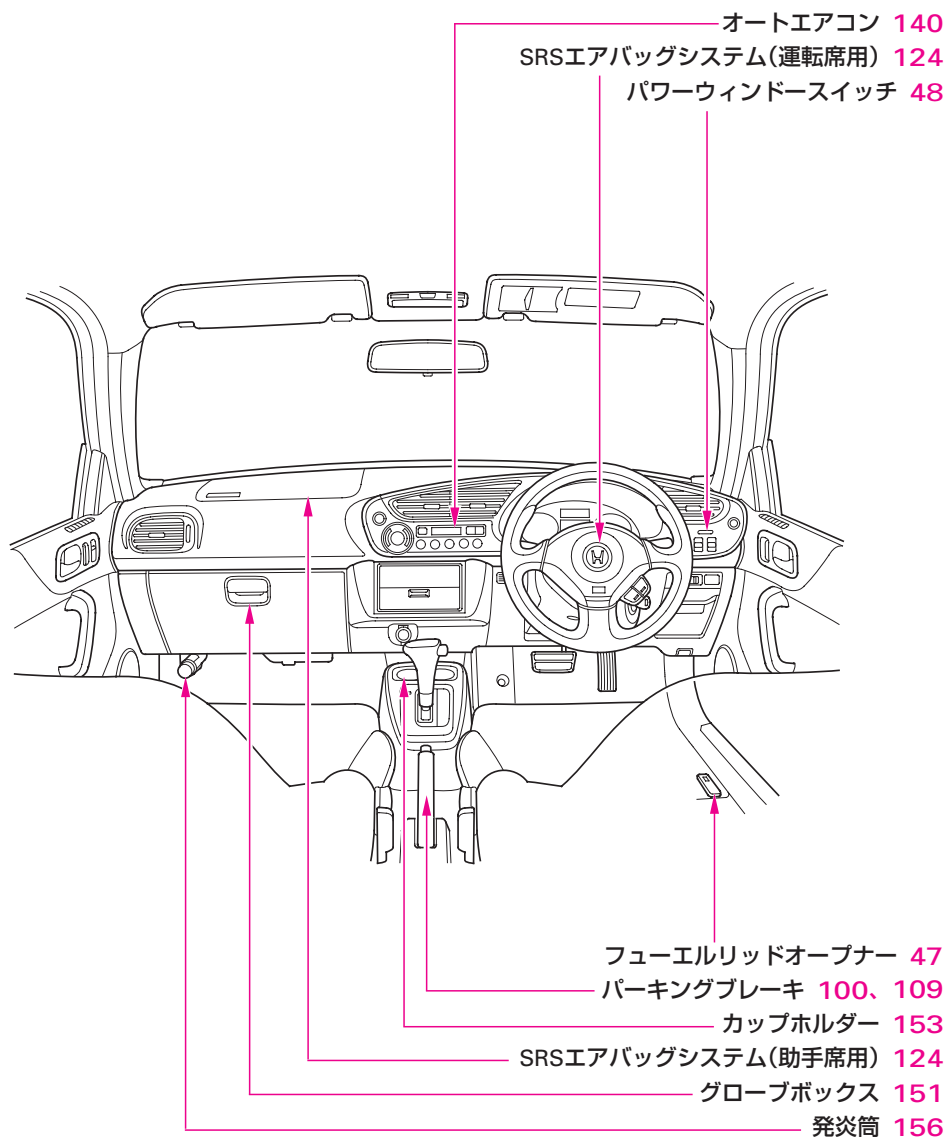
◆インサイトを正しく理解していただくために	11	
・ Honda IMAシステムについて 12 ・ 省燃費の運転方法 14 ・ 事故が起きたとき 15 ・ 廃車するとき 15		
◆安全ドライブのための必読 6 ポイント	17	
1. お出かけまえに・・・ 18 2. お子さまに思いやりを 20 3. 正しい知識で最適運転 24 4. オートマチック車の注意ポイント 26 5. 駐車や停車はしっかりと 30 6. こんなことにも注意をしよう 32		
1. 車を運転する前に	37	
・ 各部の開閉 38 ・ セキュリティーシステム 50 ・ シートの調節 52 ・ バックミラーの調節 56 ・ シートベルト 58		
2. 車を運転するときに	65	
・ メーター 66 ・ 燃費表示 70 ・ 表示灯 74 ・ 警告灯 80 ・ スイッチの使いかた 88 ・ マニュアル車の運転のしかた 98 ・ オートマチック車の運転のしかた 106		
3. 安全装備	123	
・ SRSエアバッグシステム 124 ・ シートベルトプリテンショナー 132 ・ アンチロックブレーキシステム(ABS) 134 ・ その他の安全装備 136		
4. ドライブを快適にする装備	137	
・ エアコン 138 ・ オーディオ 146 ・ 室内装備品 150		
5. 万一のとき	155	
・ 工具・スペアタイヤ・発炎筒 156 ・ 故障したとき 158 ・ 事故が起きたとき 160 ・ けん引 162 ・ バックしたとき 166 ・ パーソナルボックスの収納 169 ・ オーバーヒートしたとき 178 ・ 電気系統が異常のとき 180		
6. 車の手入れ	195	
・ 点検・整備について 196 ・ 日常の手入れ 198 ・ 車にあった部品の使用 206		
7. 車との上手なつきあい	207	
・ 積雪・寒冷時の取り扱い 208 ・ こんなときは 218 ・ 環境にやさしい省エネドライブをするために 222		
・ サービスデータ	226	
・ さくいん	232	
・ こんなことでお困りのとき	巻末	

ビジュアル目次

- FCDセレクトスイッチ 70
- ヘッドライトレベリングレバー 91
- ドアミラー調節スイッチ 57
- ライト／方向指示器(ウィンカー)スイッチ 90、92
- ホーンスイッチ 93
- メーター 66
 - 燃費表示(FCD) 70
 - 表示灯 74
 - 警告灯 80
- ワイパー／ウォッシャースイッチ 95
- リヤデフロスタースイッチ 94
- 非常点滅表示灯(ハザード)スイッチ 93



- アクセサリースOCKET 152
- ラジオポケット 152
- モードセレクトスイッチ オートマチック車 112
- エンジンスイッチ 88
- コインポケット 152
- ボンネット解錠ノブ 42
- ヒューズボックス 182



ビジュアル目次

工具／スペアタイヤ 156

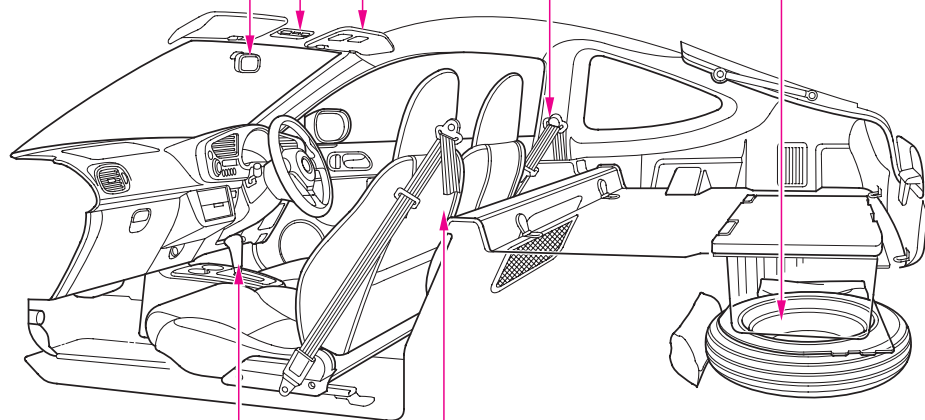
シートベルト 58

サンバイザー 153

室内灯 150

マップランプ 150

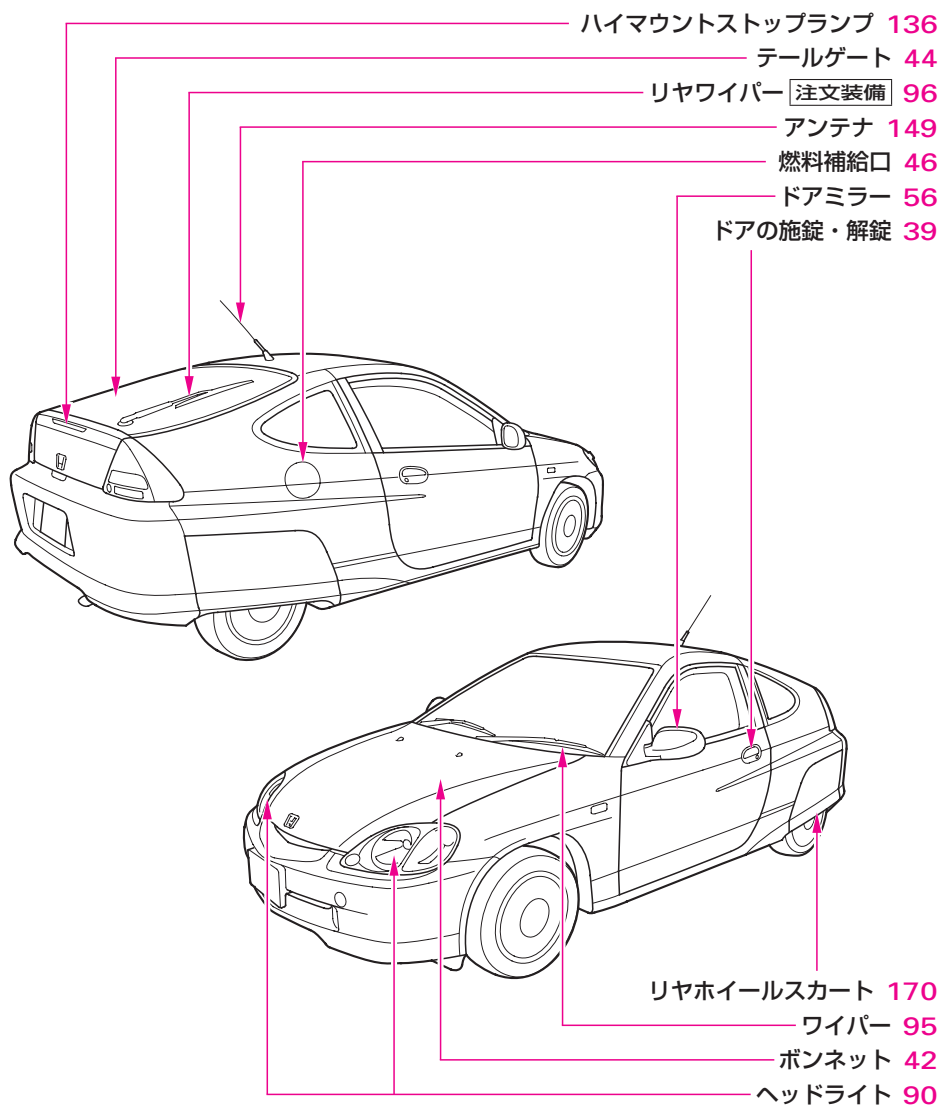
ルームミラー 56



チェンジレバー マニュアル車 101

セレクトレバー オートマチック車 107

シート 54





インサイトを正しく 理解していただくために

インサイトは、ガソリンエンジンを主動力とし、モーターが走行状況に応じてアシストするハイブリット「Honda IMAシステム」を搭載しています。また、車体は軽量化のためアルミボディーを採用しています。

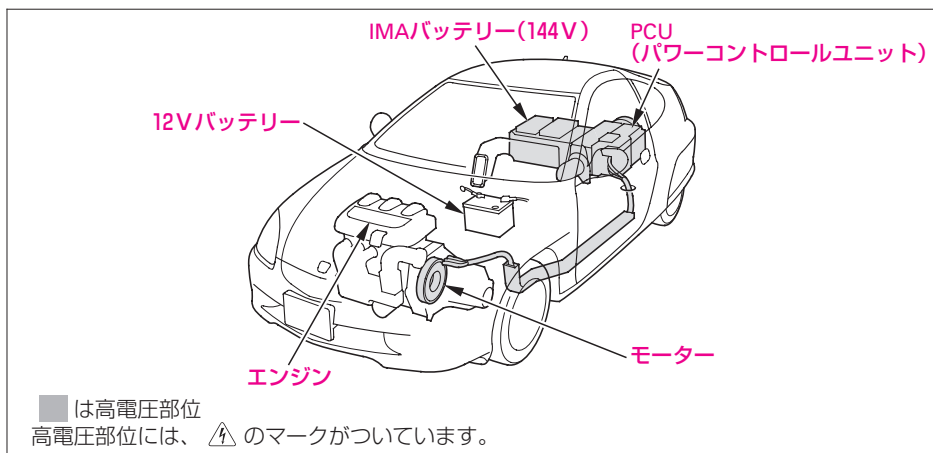
ここでは主にHonda IMAシステムの特徴を中心に、ご使用前に知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことをまとめてあります。

IMA：インテグレートッド・モーター・アシスト
(Integrated Motor Assist)の略

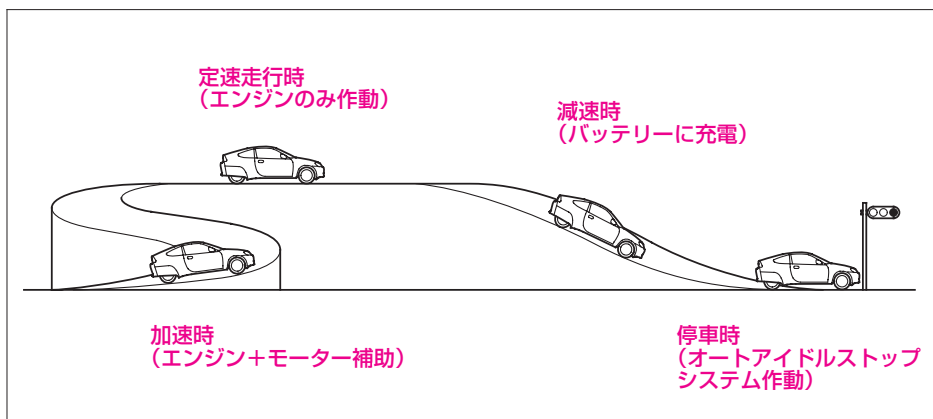
●Honda IMAシステムについて	12
●省燃費の運転方法	14
●事故が起きたとき	15
●廃車するとき	15

Honda IMAシステムについて

Honda IMAシステムとは



Honda IMAシステムは、加速時はモーターがアシストし、エンジンにかかる負荷を低減することで燃費を良くしています。定速走行時はエンジンだけで走行します。そして減速時は車輪の回転力でモーターを発電機として動かし、IMAバッテリーに充電します。停車時はオートアイドルストップシステムにより自動的にエンジンを停止して燃料消費を抑えます。



オートアイドルストップシステムについて

この車には、燃費向上のため信号待ちや、渋滞時などの停車時に、エンジンが自動的に停止するオートアイドルストップシステムが装備されています。

このシステムは、マニュアル車とオートマチック車でシステムが作動する条件が異なります。

オートアイドルストップシステムについて

マニュアル車 →103ページ

オートマチック車 →118ページ

省燃費の運転方法 →14ページ

また、エアコンの使用条件によって作動しないことがあります。

オートエアコン →140ページ

インサイトは、ガソリンがないと走れません。

この車は、ガソリンエンジンを主動力としているため、ガソリンを給油しないと走れません。

インサイトは、充電する必要はありません。

この車は、減速時の車輪の回転力でモーターを発電機として動かしIMAバッテリーに充電しているため、電気自動車のように外部からの充電は必要ありません。

Honda IMAシステムには、触れないでください。

Honda IMAシステムは、144Vの高電圧を使用しており、分解などを行うと感電するおそれがあります。点検・修理のときなどは、必ずHonda販売店にご相談ください。

IMAバッテリー冷却風取り入れ口をふさがないでください。

運転席の後ろ側にIMAバッテリーを冷却するための冷却風取り入れ口があります。この冷却風取り入れ口がふさがれるとIMAバッテリーの温度が上昇し、バッテリーの出力低下につながるおそれがあります。また、状況によっては、IMAシステム警告灯が点灯することがあります。

IMAシステム警告灯 →85ページ



月に一度、30分以上走行してください。

長期間走行しないと、IMAバッテリーのバッテリーあがりや寿命を縮めることがあります。

省燃費の運転方法

ハイブリッド車であっても、ガソリン車と同様に、燃費が良くなるような運転を心がけないと燃費を良くすることはできません。

下記の点に気をつけて走行してください。

不必要な急加速、急減速は避けてスムーズな運転で走行してください。

IMAバッテリーの残量を使い切らずに済み、より多くのハイブリッド走行が可能となり、低燃費を維持できます。

燃費表示を参考に走行してください。

メーターに表示される瞬間燃費がより良くなる運転を続ければ低燃費となります。

燃費表示 →70ページ

ECONスイッチを“ON”させて、オートアイドルストップを多用してください。

停車時に自動的にエンジンが停止して、燃料消費を抑えます。

オートアイドルストップシステムについて

マニュアル車 →103ページ

オートマチック車 →118ページ

ECONスイッチ →142ページ

環境にやさしい省エネドライブをするために

→222ページ

事故が起きたとき

- 車体が大きく破損・変形するような事故が起きたときは、感電するおそれがありますので高電圧部位や、それらを接続する配線(オレンジ色)には絶対触れないでください。
- IMAバッテリー液が漏れているときは、バッテリー液が目や皮ふに付くとその部分が侵されますので十分注意してください。万一、付着したときはすぐに多量の水(できれば飽和ほう酸水)ですくなくとも5分間以上洗浄してください。応急処置後は、専門医の診察を受けてください。
- 車両火災が発生したときは、電気火災用消火器を使用して消火してください。少量の水での消火は、かえって危険な場合がありますので水はかけないでください。(水をかける場合には、消火栓などから大量の水をかけてください。)

廃車するとき

IMAバッテリーは、ニッケル水素(Ni-MH)バッテリーを使用しています。廃棄処分については、特別な取り扱いが必要です。

廃車するときには、必ず株式会社ホンダトレーディング03-3215-9077にご相談ください。



安全ドライブのための 必読6ポイント

ご使用の前に知っておいていただきたいこと、
守っていただきたいことをまとめてあります。

POINTS

6

- お出かけまえに…………… 18
- お子さまに思いやりを…………… 20
- 正しい知識で最適運転…………… 24
- オートマチック車の注意ポイント… 26
- 駐車や停車はしっかりと…………… 30
- こんなことにも注意をしよう…………… 32

1 お出かけまえに…

点検をわすれずに。

<メンテナンスノート参照>

- 道路運送車両法により、法定定期点検と日常点検が義務づけられています。

安全・快適にお使いいただくために、Hondaの点検要領に従って必ず点検してください。

日常点検は車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

- 普段と違う点に気づいたら、Honda販売店で点検を受けてください。

(音、におい、ブレーキ液の不足、地面に油のあとが残っている時…)

- 走行中も車の状態に気を配り、いつもと違う音やにおい、運転感覚などを感じたら早めに点検しましょう。

シートベルトを正しく着用。

<58ページ参照>

- 運転する人はもちろん、同乗する人にも必ず着用させてください。
- シートに深く腰かけ、背もたれは必要以上に倒さないでください。
- 腰骨のできるだけ低い位置に着用してください。



- ベルトにねじれがないか確かめてください。

CHECK



- ベルトがくび、あご、顔などに当たらないようにしてください。



- 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。



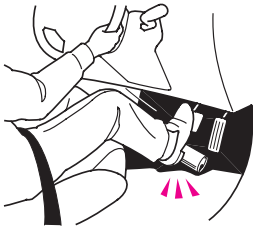
燃料の入った容器やスプレー缶などはのせないで。

引火、爆発のおそれがあります。

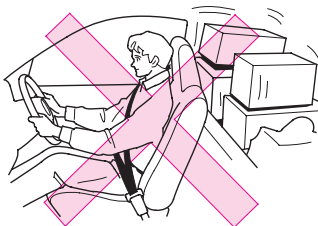


運転の妨げになる物には注意を。

- 運転者の足もとに、物を置かないでください。
- フロアマットが、ペダルに引っかからないように注意してください。
ブレーキやアクセルのペダル操作が、確実にできないおそれがあります。



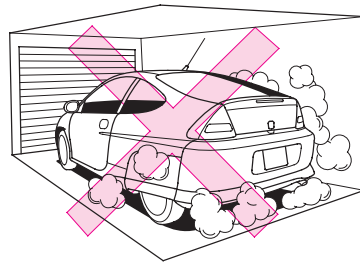
- 手荷物はシートの高さを越えないようにしましょう。
後方視界を妨げたり、急ブレーキのときなどに荷物がとび出すおそれがあります。



排気ガスには十分に気をつけて。

- 排気ガスには無色・無臭で有害な一酸化炭素が含まれているため、吸い込むと一酸化炭素中毒のおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。

車内や屋内などに排気ガスが充満し一酸化炭素中毒のおそれがあります。



- 排気管に穴や亀裂があったり、排気音の異常に気づいたらHonda販売店で点検を受けてください。
車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

2 お子さまに思いやりを

お子さまは後席のある車に。
＜この車にお子さまを乗せることはおすすめしません＞

- 不意の動作が気になったり、スイッチ・レバー類のいたずらなど運転の妨げになるおそれがあります。また、事故が起きた場合、後席のほうが安全といわれています。
- インストルメントパネルに手をついたり、顔や胸を近づけた状態での乗車は、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受けるおそれがあり危険です。

やむをえずお子さまを乗せるときは。

- インストルメントパネルに顔や胸などが近づかないようにシートを後ろに下げてください。また、インストルメントパネルに手や足などを置かないでください。

- お子さまにも必ずシートベルトを着用させるか、チャイルドシート※をお使いください。

お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず危険です。

※乳児用シート、幼児用シート、学童用シートをまとめた総称として「チャイルドシート」と呼んでいます。

- お子さまのくびやあごにシートベルトがあたる場合や腰骨にかからない場合は、幼児用シートや学童用シートを使用してください。

- ・ シートベルトをそのまま使うと衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

- ・ チャイルドシートは安全装備です。国土交通大臣が型式を指定または認定したマークが付いているもの、もしくはアメリカやヨーロッパなどの安全基準に合格しているものを必ず選んでください。

- ・ チャイルドシートの形状などによっては、正しく取り付けできないものがあります。この車に合ったチャイルドシートを使用してください。

- ・ Honda純正品のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

安全ドライブのための必読6ポイント

- チャイルドシートは確実に取り付けてください。

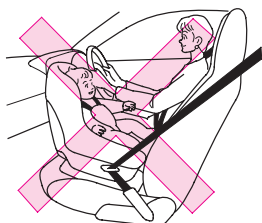
お子さまを乗せるときは、チャイルドシートが車に確実に取り付けられていることを確認してください。

また、お子さまの体をチャイルドシートにきちんと固定してください。シートベルトの種類やチャイルドシートの種類によっては、固定金具(ロッキングクリップ)が必要になることがあります。

シートベルトの種類 →60ページ
詳しくはチャイルドシートに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 助手席には乳児用シートを取り付け
ないでください。また、幼児用シート
を後ろ向きに取り付けないでくだ
さい。

- ・SRSエアバッグが膨らむ際、乳児
用シートや、幼児用シートの背面
に強い衝撃を受け危険です。
- ・幼児用シートを前向きに取り付け
る場合は、SRSエアバッグから遠
ざけるため、シートを一番後ろに
下げてください。



- シートベルトが正しく着用できない
ようなお子さまと一緒にときは、乳
児用シートや幼児用シート(後ろ向
き装着)を取り付けられる別の車
をお使いください。

- チャイルドシートを取り外したまま
車内に放置しないでください。

ブレーキや衝突のときなどにチャイルドシートがとび出し傷害を受けるおそれがあります。

お子さまを乗せないときでも確実に取り付けるか、家などに保管してください。

ドア、ウィンドー、シートの操作は必ず大人が。

- 手、足、顔などをはさまないように、気をつけてください。
- 走行する前にすべてのドアが完全に閉まっていることを確認してください。

ドアが完全に閉まっていないと走行中にドアが開き、思わぬ事故の原因となります。

- パワーウィンドーのメインスイッチは、“OFF”にしておきましょう。
＜48ページ参照＞

- 走行中、一時停止のときなど、窓から手や頭、物などを出さないよう、注意してください。

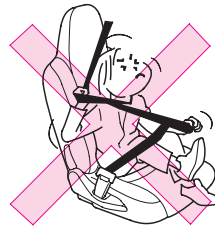
思わぬ障害物で事故のおそれがあります。

お子さまをシートベルトで遊ばせないで。

- チャイルドシート固定機構付きシートベルトでは、ベルトをすべて引き出すと完全にベルトを戻すまでは引き出し方向には動きません。

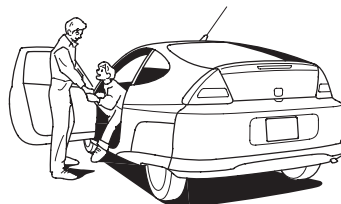
ベルトを身体に巻きつけたりして遊んでいると、固定機構が作動してベルトがゆるまなくなり、窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。

万一ベルトをゆるめることができなくなった場合は、はさみなどでベルトを切断してください。



車から離れるときは、お子さまも一緒に連れて。

- お子さまだけを車内に残さないでください。
 - ・炎天下の車内は、高温になり危険です。
 - ・お子さまのいたずらにより車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。



正しい知識で最適運転

- 走行中ハンドルの中に手を入れて、スイッチを操作しないでください。ハンドル操作の妨げになり大変危険です。
- 走行中はエンジンスイッチを“Ⅰ”または“0”にしないでください。
 - ・ ブレーキ倍力装置が作用しないため、ブレーキの効きが悪くなります。
 - ・ パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなり、ハンドル操作が重くなります。
 - ・ マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にすると、キーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ危険です。



長い下り坂ではエンジンブレーキを。

- ブレーキペダルを踏み続けて走行するとブレーキが過熱して、効きが悪くなる場合があります。
- 長い下り坂では、走行速度に合わせ、ギヤを一段ずつ落として、エンジンブレーキを併用してください。オートマチック車は、Sモードにしてエンジンブレーキを使用してください。Sモードのままで速度が出すぎるときは、セレクトレバーを□にし、さらに強いエンジンブレーキを使用してください。

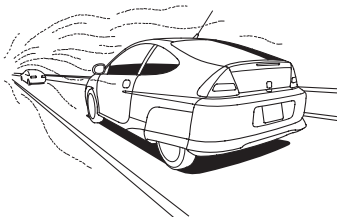


エンジンブレーキ：

走行中アクセルペダルを戻したときにかかるブレーキ力のことです。低速ギヤほどよく効きます。

霧が出たときは。

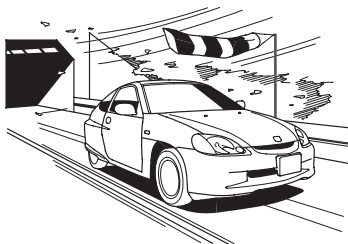
- 霧が出たときは、視界が悪くなります。昼間でもヘッドライトを下向きで点灯し、中央線、ガードレールや前の車の尾灯などをめやすにして、速度を落として運転してください。



横風の強い日は。

- 横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、スピードを徐々に下げて進路を立て直してください。

トンネルの出口、橋・土手の上、山を削った切り通し、大型トラックを追い越したり、追い越されたりするときなどには、特に横風の影響を受けやすいので十分注意してください。

**雨天時の走行には注意を。**

- 雨天時やぬれた道路では、路面が滑りやすくなっておりタイヤのグリップ力が低下するため、通常より注意深い運転が必要です。

急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、スピードを落として安全運転に心がけてください。

- わだちなどの水のたまりやすい場所では、ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

ハイドロプレーニング現象とは

→218ページ

- 冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。

エンジンの破損や電装品の故障および車両故障につながるおそれがあります。

水たまりに入ったあとはブレーキの効き具合を確認。

- 水たまり走行後や洗車後は、低速で走行しながらブレーキペダルを軽く踏んで効き具合を確認してください。ぬれたブレーキは効きが悪かったり、ぬれていない片側だけが効いてハンドルをとられることがあります。
- ブレーキの効きが悪いときは、前後の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキの効きが回復するまで、繰り返しブレーキペダルを踏んでください。

走行中異常があったら。

- 警告灯が点灯したら、ただちに安全な場所に停車し処置をしてください。
<80ページ参照>

点灯したまま走行を続けると、思わぬ事故のもとになったり、エンジンなどを損傷するおそれがあります。

- 走行中にタイヤがパンクやバースト(破裂)してもあわてずに、ハンドルをしっかり握り、徐々にブレーキをかけてスピードを落とし、安全な場所に停車してください。

急ブレーキや急ハンドルは車のコントロールを失うことがあり危険です。

- 床下に強い衝撃を受けたときは、ただちに車を止めて、ブレーキ液や燃料の漏れ、各部に損傷がないかを確認してください。

ブレーキ液や燃料の漏れ、損傷などにより思わぬ事故につながるおそれがあります。

オートマチック車の 注意ポイント

オートマチック車は、その特性や操作上の注意をよく理解することが大切です。

「オートマチック車の運転のしかた」もあわせてお読みください。

<106ページ参照>

オートマチックについて

INSIGHTのオートマチックには、ホンダマルチマチックを採用しています。

ホンダマルチマチックは、2つの可変ブーリーに金属ベルトを組み合わせ、低速から高速まで無段階に変速するオートマチックトランスミッションです。

オートマチック車の特性を正しく理解。

クリーブ現象とは

- エンジンがかかっているとき、セレクタレバーがP/N以外に入っていると、動力がつながった状態になり、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。
これをクリーブ現象といいます。
- ホンダマルチマチック車は、燃費向上や停車時の振動およびブレーキ踏力の低減のため、ブレーキペダルを踏んでいるときのクリーブ力を弱く設定していますのでアクセルペダル操作は慎重に行ってください。

キックダウンとは

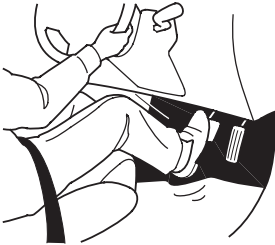
- 回で走行中にアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、自動的に変速比が変わり、エンジンの回転数が上がって、力強い加速を得ることができます。
これをキックダウンといいます。

1 ブレーキは右足で。

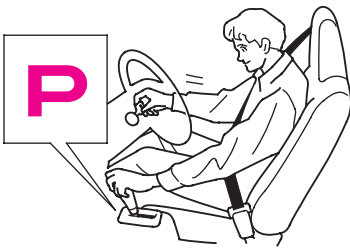
- ブレーキペダルは右足で踏む習慣をつけましょう。
不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。

2 エンジンかけるまえに。

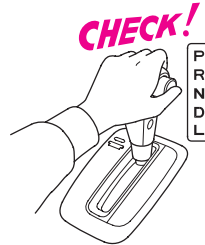
- ペダルの踏みまちがいのないよう、右足でペダルの位置を確認しておきましょう。

**3 エンジンかけるとき。**

- 安全のため、セレクトレバーは駆動輪が固定されるPでエンジンをかけましょう。

**4 スタートするとき。**

- 思いちがいを防ぐため、セレクトレバーの位置を目で確認しましょう。



- 発進時のセレクトレバーの操作は、右足でブレーキペダルをしっかり踏み、車が動かないようにして行いましょう。
- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故のもとになります。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がり、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでください。エアコン作動時も同じです。
- 坂道での発進は車が後退しないように必ずパーキングブレーキを併用し、先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキを解除してください。

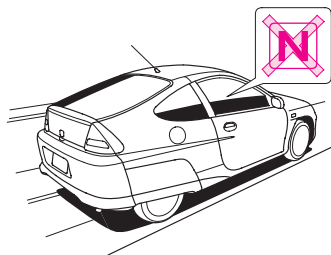


安全ドライブのための必読6ポイント

5 走行しているとき。

- 走行中は、セレクトレバーをNにしないでください。

エンジンブレーキが全く効かず、思わぬ事故のもとになります。



- 上り坂で、速度を保とうとしてアクセルペダルを踏み込んだとき、キックダウンにより、急にエンジン回転が上がり、思ったより速度が出てしまうことがあります。

アクセルペダルは、慎重に操作してください。

また、すべりやすい路面やカーブでは、急激なアクセルペダル操作は避けてください。

- 下り坂では、エンジンブレーキも使いましょう。

フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱して、ブレーキの効きが悪くなるおそれがあります。

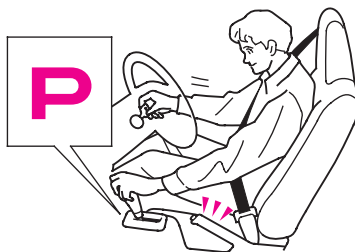
エンジンブレーキ →24ページ

6 停車しているとき。

- 車が動かないようにブレーキペダルをしっかりと踏み、必要に応じてパーキングブレーキをかけましょう。
- 停車中の空ぶかしは、やめましょう。
万一、セレクトレバーがP以外の場合、思わぬ急発進のもとになります。

7 駐車するとき。

- 駐車するときは、パーキングブレーキをかけてセレクトレバーをPに入れ、エンジンスイッチを“I”または“0”にしてエンジンを止めましょう。
万一、セレクトレバーがP以外に入っていると、クリープ現象で車が動き出したり、乗り込むときに、誤ってアクセルペダルを踏み込んで急発進したりするおそれがあります。



ほかに気をつけたいこと。

- セレクトレバーは正しい位置で使用してください。

坂道などで、前進(Ⅱ、Ⅲ)の位置にしたまま惰性で後退したり、後退(Ⅰ)の位置にしたまま前進したりすると、エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなり、思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

- 後退したあとは、すぐⅡからⅢにもどす習慣をつけましょう。

ちょっと後退したときなど、Ⅱに入れたことを忘れてしまうことがあります。

- 前進から後退、後退から前進するときは車を完全に止め、ブレーキペダルを踏んだままセレクトレバーを操作してください。

車が完全に止まらないうちにレバーを操作すると、トランスミッション破損のおそれがあります。

- 車が完全に止まらないうちに、Ⅱに入れないでください。

急停止して危険であるばかりでなく、トランスミッション破損のもとになります。

シフトロック装置の正しい理解を。

- ブレーキペダルを踏んでいないと、Ⅱからのセレクトレバー操作はできません。

- ・エンジンスイッチが、“1”または“0”のときには、ブレーキペダルを踏んでも、レバーは操作できません。
- ・セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。

- Ⅱ以外では、エンジンスイッチからキーは抜けません。

Ⅱ以外では、キーが“1”から“0”に回りません。

- Ⅱに入れるとブザーが鳴ります。

- ・セレクトレバーがⅡのときにブザーが鳴り、Ⅱに入っていることを運転者に知らせます。
- ・車外の人には音が聞こえませんが、ご注意ください。

- 万一、Ⅱからセレクトレバーが操作できないときは：

- ・エンジンスイッチからキーを抜き、
- ・キーをシフトロック解除穴に差し込み、
- ・キーを押しながら、セレクトレバーを操作します。

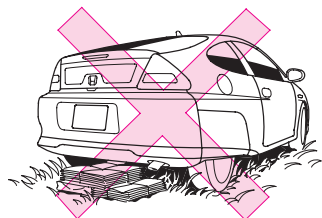


5 駐車や停車は しっかりと

可燃物には注意を。

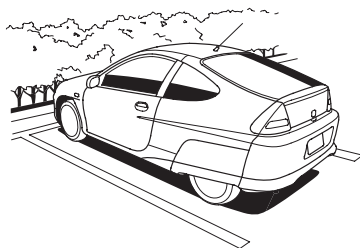
- 枯草や紙、油、木材など燃えやすい物があるところには、駐停車しないでください。

排気管や排気ガスの熱により、着火するおそれがあります。



植込みなどにも注意して。

- 植込みなどの近くに駐停車するときには、排気ガスが当たらないように、車の向きを決めましょう。



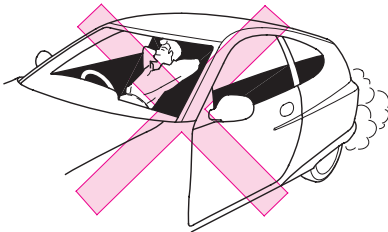
仮眠するときはエンジンスイッチを“1”または“0”にする。

- エンジンスイッチを“1”または“0”にして、エンジンを必ず止めてください。

無意識にチェンジレバーやセレクトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして、思わぬ事故を起こすおそれがあります。

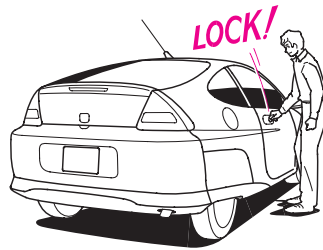
また、無意識にアクセルペダルを踏み続けたりした場合、オーバーヒートなどを起こしたり、エンジンや排気管などの異常過熱による火災事故が発生するおそれがあります。

さらに風向や周囲の状況等によっては、車内に排気ガスが侵入し一酸化炭素中毒のおそれもあります。



車から離れるときには施錠を。

- 必ずパーキングブレーキをかけ、エンジンを止め、ドアを施錠してください。
- 車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- お子さまも連れていきましょう。



車の移動はエンジンをかけて。

- 車を移動するときは、必ずエンジンをかけてください。

下り坂を利用しての移動などは、思わぬ事故を招くことがあります。

坂道での駐車は。

- パーキングブレーキをかけ、チェンジレバーまたはセレクトレバーを下表の位置に入れてください。

	マニュアル車	オートマチック車
上り坂	1	
下り坂	R	
平地		

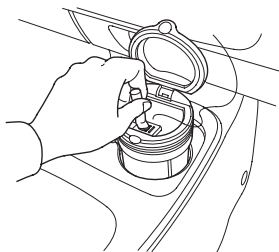
さらに、タイヤに輪止めをすると効果があります。

安全ドライブのための必読6ポイント

こんなことにも 注意をしよう

タバコの吸いがらは火を消して。

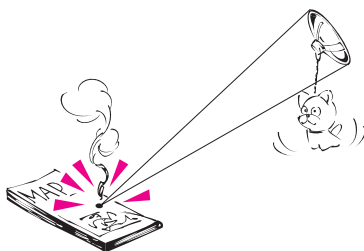
- タバコ、マッチなどは、確実に火を消してから灰皿に捨て、灰皿は必ず閉めてください。
- 灰皿の中に吸いがらをため過ぎたり、燃えやすい物を入れたりしないでください。



(灰皿は別売りです。)

アクセサリーの取り付けには注意を。

- 運転視界の中にアクセサリーなどを取り付けないでください。
 - ・視界の妨げにより思わぬ事故のもとになります。
 - ・アクセサリーなどの揺れる動きが、車外の状況認識を遅らせることがあります。
- ガラス面にアクセサリーなどを取り付けないでください。
 - ・吸盤がレンズのはたらきをして火災につながるおそれがあります。



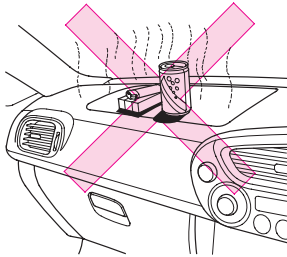
飲み物などを電装品にこぼさないように注意して。

オーディオやスイッチなどの電装品に飲み物がかかると、故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあります。

万一、電装品に飲み物をこぼしたときは、Honda販売店にご相談ください。

車内にライターや炭酸飲料缶などを放置しないで。

炎天下での駐車などで車内温度が上昇すると、ライターなどの可燃物は自然発火したり、缶などは破裂したりするおそれがあります。



ラジエーターキャップに気をつけて。

- ラジエーターキャップが熱いときは、外さないでください。

蒸気や熱湯が吹き出し危険です。



動物を乗せるときは、動きまわらないように注意して。

運転の妨げになったり、急ブレーキのときなどに思わぬ事故につながるおそれがあります。

携帯電話の使用は停車中に。

- 運転者は、携帯電話を走行中に使用しないでください。

- ・運転者が運転中にハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用することは、法律で禁止されています。
- ・運転中の使用により周囲の状況に対する注意が不十分になると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

改造はしない。

- Honda純正部品以外の、車の性能や機能に適さない部品を、使用しないでください。

- ・適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになることがあります。
- ・Hondaが国土交通省に届け出をした部品以外の物を装着すると、違反になることがあります。

- ホイールは、INSIGHT専用品をご使用ください。

専用品以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすことがあります。

Honda販売店にご相談ください。

- 無線装置や自動車電話などの取り付けの際には、必ずHonda販売店にご相談ください。

装置や取り付け方法が適切でない場合、電子機器部品に悪影響をおよぼすことがあります。

安全ドライブのための必読6ポイント

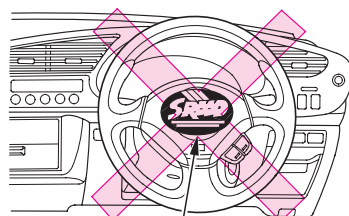
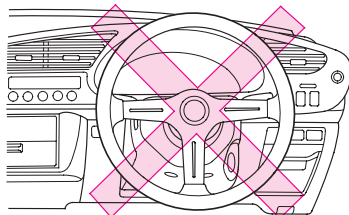
- 運転席および助手席に、SRSエアバッグシステムが装備されています。ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりしないでください。

インストルメントパネル上面には、ステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないでください。

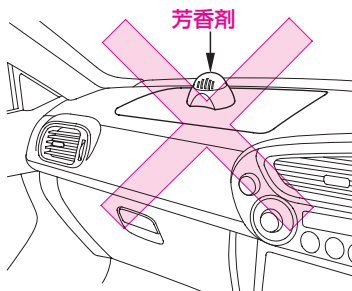
また、フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。

- ・SRSエアバッグが正常に機能しなくなります。
- ・作動時にこれらの物が飛ぶことがあります。
- ・次の場合は、必ず、Honda販売店にご相談ください。

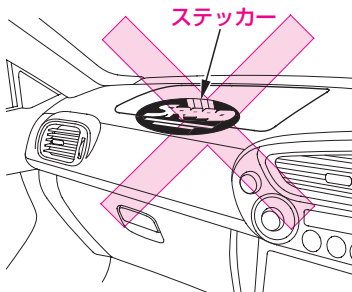
- ①ハンドルまわりの修理
- ②センターコンソール付近の修理
- ③カーステレオ等用品の取り付け
- ④ダッシュボード周辺の板金塗装および修理
- ⑤インストルメントパネルまわりの修理



ステッカー



芳香剤

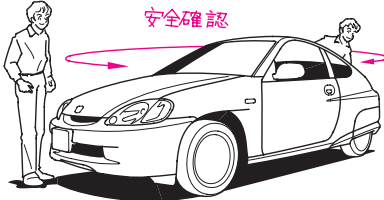


ステッカー

発進するときは、まわりの状況に十分注意して。

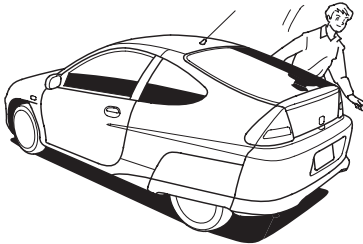
車の周りには運転席から見えないところ(死角)があります。発進するときは子供や障害物など車のまわりの状況に十分注意してください。

- 駐車後に発進するときは、車のまわりの安全確認を十分に行ってください。

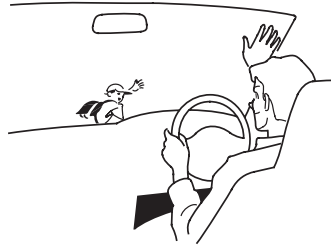


- 後退するときに十分な視界が得られない場合は、車から降りて後方を確認してください。

バックミラーでは確認しきれない死角(車の直後など)があります。



- 信号待ちなどの停車後に発進するときは、つねにまわりの状況に目を配り、安全確認を十分に行ってください。

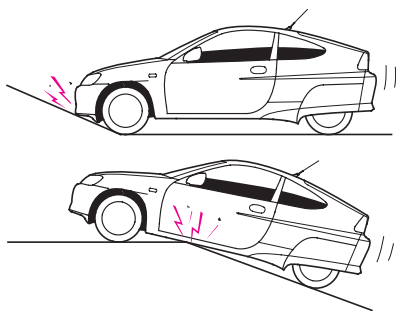
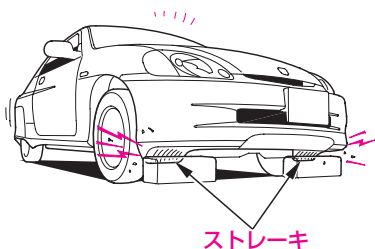


安全ドライブのための必読6ポイント

車止めなどに注意して。

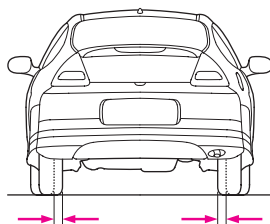
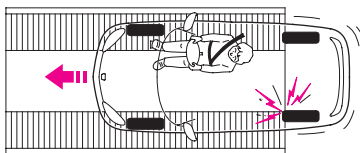
●次のような場合には、フロントバンパー、ストレーキ、マフラーおよび床下を損傷するおそれがありますので、十分に注意してください。

- ・車止めのある場所への駐車
- ・路肩に沿っての駐車
- ・平坦路から上り坂・下り坂および上り坂・下り坂から平坦路への乗り入れ
- ・路肩等段差のある場所への乗り降り
- ・凹凸やわだちのある道路の走行
- ・くぼみ(穴)のある個所の通過



脱輪に注意して。

- この車は、空力性能向上のため後輪のトレッドを前輪より小さくしています。
- 立体駐車場などで、後輪タイヤの内側を傷つけないように注意してください。





車を運転する前に

●各部の開閉

キー	38
ドアの施錠・解錠	39
ボンネット	42
テールゲート	44
燃料補給口	46
パワーウィンドー	48

●セキュリティシステム

イモビライザーシステムに ついて	50
---------------------	----

●シートの調節

正しい運転姿勢	52
シート	54

●バックミラーの調節

ルームミラー	56
ドアミラー	56

●シートベルト

シートベルト	58
着用のしかた	62

各部の開閉

キー

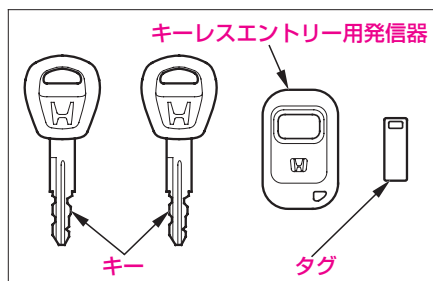
キーは、エンジンの始動、停止のほかに、ドアの施錠・解錠、テールゲートの解錠に使えます。

キーレスエントリー用発信器はドアとテールゲートの施錠・解錠がキーを使わずにできます。

キーレスエントリー →40ページ

キーレステールゲートオープナー

→44ページ



全てのキーには、イモビライザー機能(車両盗難防止装置)が付いています。

イモビライザーシステムについて →50ページ

知 識

- キーには信号を発信するための精密な電子部品が組み込まれています。電子部品の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・直射日光が当たるところやインストルメントパネルの上など、高温、多湿になるところに置かないでください。
 - ・衝撃を与えないでください。
 - ・水にぬらさないでください。
 - ・分解しないでください。
 - ・火であぶったりしないでください。
- 電子部品が故障すると、イモビライザーシステムがキーの信号を正しく受信できないためエンジンの始動ができなくなります。
エンジンの始動ができないときは、**Honda**販売店にご連絡ください。
- タグにはキーナンバーが表示してあります。キーを購入する際に必要となりますので、紛失しないように、キーとは別に車両以外の場所に大切に保管してください。
- キーを紛失したときや、追加したいときは、**Honda**販売店へご連絡してください。



ドアの施錠・解錠

⚠ 注意

- 走行する前にすべてのドアが完全に閉まっていることを確認してください。完全に閉まっていないと、走行中にドアが開き思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

🎓 知識

- ドアは不用意に開けると後続車などがぶつかることがあるので周囲の安全を確かめてから開けてください。
- 強風時にドアを開閉するときは、風にあおられないよう注意してください。
- 車から離れるときは、エンジンを止めドアを必ず施錠してください。また、車内の見えるところに、貴重品などを置かないようにしましょう。
- 運転席ドアの解錠・施錠に連動して、室内灯が点灯・消灯します。

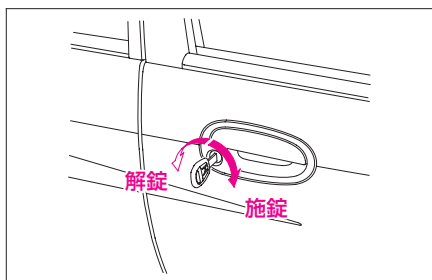
室内灯 →150ページ

パワードアロック

運転席ドアを施錠(解錠)すると、助手席ドアとテールゲートも同時に施錠(解錠)します。

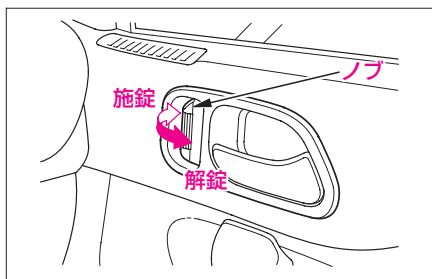
●車外から行う場合

キーを確実に差し込んで回します。



●車内から行う場合

ノブを矢印の方向に動かします。



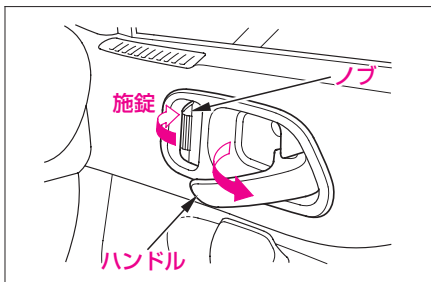
●キーを使わないで施錠する場合

🎓 知識

- キー閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してから施錠しましょう。

運転席ドア

- ①ドアのハンドルを引いたままノブを施錠の方向に動かします。



- ②ドアを閉めます。

・キー閉じ込み防止装置

キーがエンジンスイッチに差し込まれたままだと、施錠できません。

助手席ドア

ノブを施錠の方向に動かしてドアを閉めます。

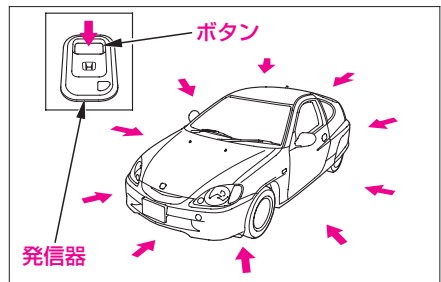
●キーレスエントリー

ドアとテールゲートの施錠・解錠がキーを使わずにできます。



発信器のボタンを押すとすべてのドアとテールゲートが施錠(解錠)され、もう一度押すと解錠(施錠)されます。

キーレスエントリーで施錠・解錠を行うと、非常点滅表示灯が施錠時は1回、解錠時は2回点滅します。



🎓 知識

- 発信器には、精密な電子部品が組み込まれています。発信器の故障を防ぐため、次のことをお守りください。
 - ・直射日光が当たるところやインストルメントパネルの上など、高温になるところに置かないでください。
 - ・衝撃を与えないでください。
 - ・水にぬらさないでください。



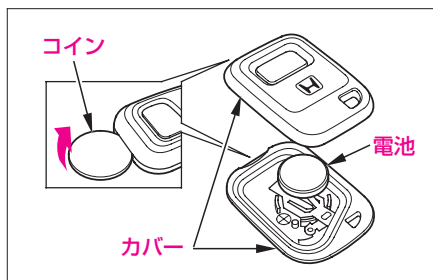
知識

- 微弱電波を使用しているため、周囲の状況により作動範囲が変化することがあります。
- キーレスエントリー用発信器で解錠してから約30秒以内にドア、テールゲートを開けなかった場合は、自動的に再度施錠されます。
- エンジンスイッチにキーが差し込まれているときやドア、テールゲートが開いているときは、キーレスエントリーは作動しません。
- 車を離れるときは、ドアハンドルを引いて施錠されていることを確認してください。

発信器のボタンを押しても作動距離が不安定になった場合は、電池の消耗が考えられますので早めに電池を交換してください。

使用電池……………ボタン電池CR1616

コインを使ってカバーを外し、電池を交換します。



注意

- 電池および取り外した部品は、お子さまが飲み込まないように注意してください。
飲み込むと、傷害を受けるおそれがあります。

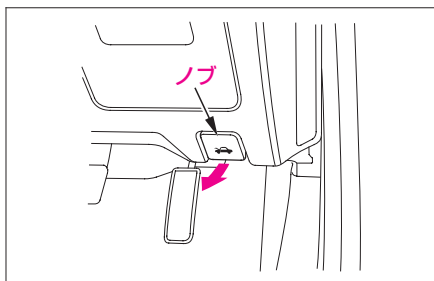
知識

- 液漏れなどを防ぐため、電池の⊕極と⊖極は正しく取り付けてください。
- 電池交換の際は、カバーを確実に取り付けてください。確実に取り付けられていないと耐水性の低下や故障の原因となります。
- 電池はHonda販売店または時計店、カメラ店などでお求めください。

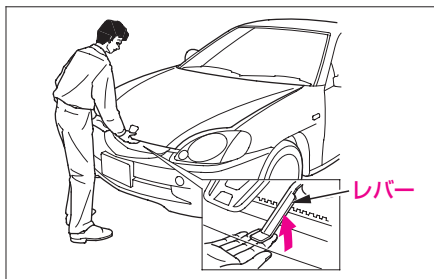
ボンネット

●開けた

①運転席足元のノブを引きます。



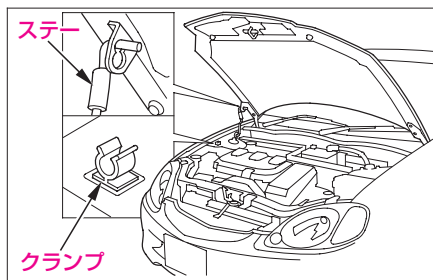
②ボンネット前部が少し浮き上がるので、レバーを上へ押しながら開けます。



🎓 知識

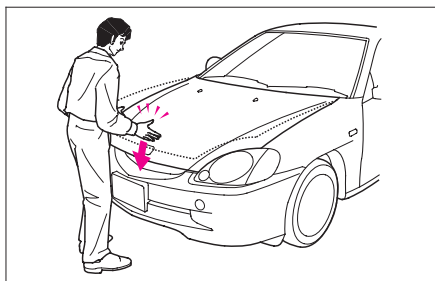
- ワイパーアームを起こした状態でボンネットを開けないでください。ボンネットがワイパーに当たり、ボンネットやワイパーが損傷します。

③必ずステーを確実にかけ、固定します。



**●閉めかた**

ステーを外し、クランプに納めます。
ボンネットを静かに下げ、手を離します。



ボンネットが完全に閉まっていることを
確認します。

⚠注意

- ボンネットを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。

🎓知識

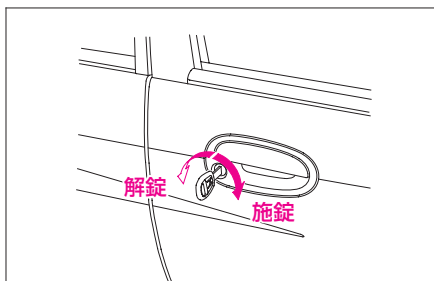
- ボンネットを開けているときに、風にあおられてステーが外れることがあります。特に風の強いときは、ご注意ください。
- ボンネットが完全に閉まっていないうままに走行すると開くことがあります。走行前に必ず確認してください。

テールゲート

●施錠・解錠

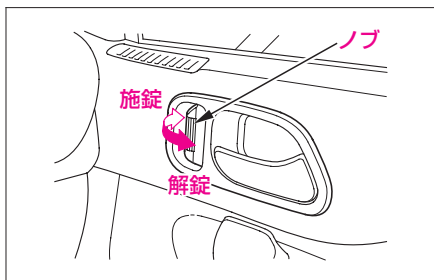
車外から行う場合

運転席ドアにキーを確実に差し込んで矢印の方向に回すと、助手席ドアとテールゲートの施錠(解錠)ができます。



車内から行う場合

運転席ドア部のノブを操作すれば助手席ドアとテールゲートの施錠(解錠)ができます。



キーレステールゲートオープナー

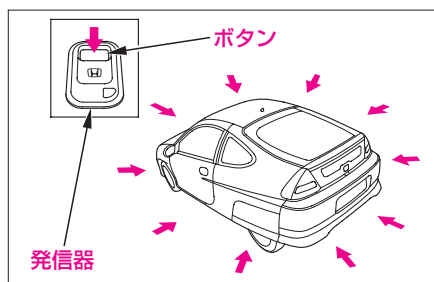
キーレスエントリー用発信器を使ってテールゲートの施錠・解錠ができます。



発信器のボタンを押すとすべてのドアとテールゲートが施錠(解錠)され、もう一度押すと解錠(施錠)されます。

キーレスエントリーで施錠・解錠を行うと、非常点滅表示灯が施錠時は1回、解錠時は2回点滅します。

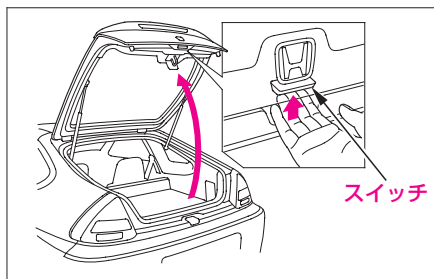
キーレスエントリー →40ページ





●開閉

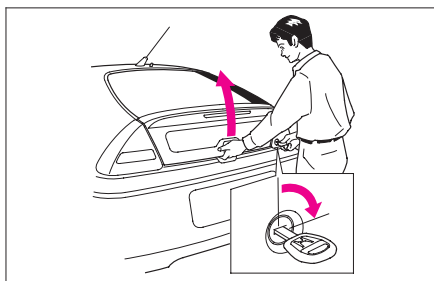
テールゲートを解錠してから、スイッチを押しながらテールゲートを静かに引き上げて開けます。



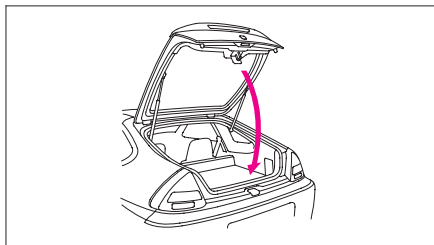
スイッチ

キーを使って開けるとき

キーを確実に差し込んで右へいっぱい回した状態で、スイッチを押しながらテールゲートを静かに引き上げます。



テールゲートを下げ、上から手で押さえて閉めます。



⚠注意

- テールゲートを閉めるときは頭をぶついたり、手などをはさまないように注意してください。
- エンジンをかけた状態で手荷物を出し入れするときは、排気管の後方に立たないでください。やけどなど思わぬけがをすることがあります。
- カーゴスペース内には人を乗せないでください。ブレーキや加速、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。

🎓知識

- 運転席ドアを施錠したあとにテールゲートを閉めると、テールゲートのスイッチが施錠されてテールゲートが開かなくなります。
- テールゲートを開けたまま走行しないでください。車内に排気ガスが侵入するおそれがあります。

燃料補給口

燃料補給口は車の右側後方にあります。

指定燃料：無鉛レギュラーガソリン
(無鉛ハイオクも使用可能)

タンク容量：40ℓ



アドバイス

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。補給するときは、無鉛ガソリンであることを確認してください。
- ・ 有鉛ガソリンを補給すると、触媒装置などを損ないます。
- ・ 高濃度アルコール含有燃料を補給すると、エンジンや燃料系などを損傷する原因となります。
- ・ 軽油や粗悪ガソリンを補給したり、不適切な燃料添加剤を使うと、エンジンなどに悪影響を与えます。

●燃料補給のしかた

⚠警告

- 燃料補給時は火気厳禁です。
燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
 - ・ エンジンは必ず止めてください。
 - ・ タバコなどの火気を近づけないでください。
 - ・ こぼれた燃料はすみやかに拭き取ってください。
 - ・ 燃料の取り扱いは、屋外で行ってください。
- 燃料補給作業は身体の静電気を除去してから行ってください。
静電気の放電による火花により気化したガソリンに引火し、やけどを負うおそれがあります。

📖 知識

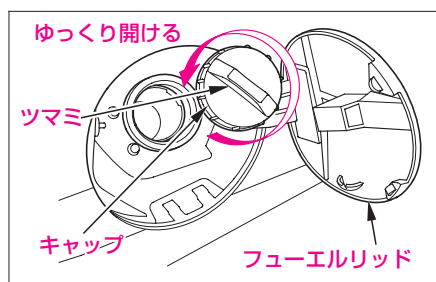
- 車体や給油機などの金属部分に触れると、静電気を放電することができます。
- 燃料補給作業は、静電気を放電した人のみで行ってください。
- 燃料補給中に車内にもどったりすると再び帯電することがあります。
再度、静電気を除去してください。
- ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。



- ①運転席右下にあるフューエルリッドオープナーを引き上げてリッドを開けます。



- ②フューエルキャップを開ける前に、身体の静電気除去を行います。
③ツマミを持ってキャップをゆっくり回して開けます。



⚠ 注意

- キャップはゆっくり開けてください。
急激に開けると燃料補給口より吹き返しが発生し、火災になるおそれがあります。

- ④給油ノズルを奥まで差し込んで補給します。
燃料タンクが満タンになると給油ノズルの自動停止がはたらき、給油が停止します。

⚠ 注意

- 給油ノズルの自動停止後は、追加補給しないでください。
気温などの変化により燃料があふれ、火災になるおそれがあります。

📖 知識

- 気温などの変化により燃料があふれないように、タンク容量に達すると燃料タンクに空間を残して給油ノズルの自動停止がはたらくようになっています。

- ⑤キャップを“カチッ”という音が2回以上するまで締め付けます。フューエルリッドは手で押さえつければ閉まります。

⚠ 注意

- キャップが確実に閉まっていることを確認してください。
確実に閉まっていないと走行中に燃料がもれ、火災になるおそれがあります。

パワーウィンドー

エンジンスイッチが“II”のとき、ウィンドーの開閉ができます。



開閉は、それぞれのスイッチで操作します。

- ・運転席スイッチは、助手席ウィンドーも操作できます。

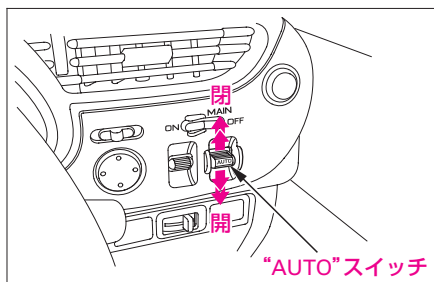
●運転席ウィンドーの開閉

スイッチを軽く操作している間、作動します。

強く操作すると、自動で全開(全閉)します。

開けるとき…スイッチを下に押します。

閉めるとき…スイッチを上を押します。



自動開閉中にウィンドーを停止させるときは、スイッチを作動方向とは逆へ軽く操作します。

●助手席ウィンドーの開閉

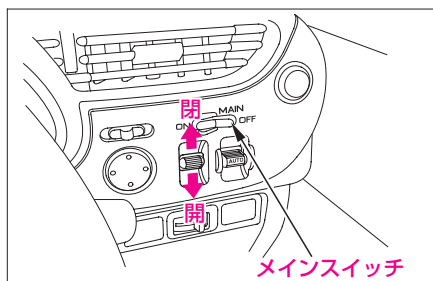
メインスイッチを“ON”にしてから、スイッチを操作します。

スイッチを操作している間、作動します。

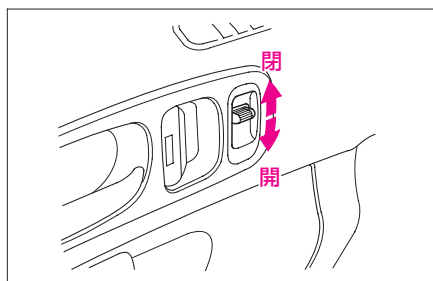
開けるとき…スイッチを下に押します。

閉めるとき…スイッチを上を押します。

・運転席ドアスイッチ



・助手席ドアスイッチ



助手席ウィンドーを動かなくしたいとき (メインスイッチ)

メインスイッチを“OFF”にしておけば、助手席ウィンドーは作動しません。



⚠ 警告

- パワーウィンドーを閉めるときは、手や顔などをはさまないようにしてください。
ドアガラスにはさまれて重大な傷害を受けるおそれがあります。
特にお子さまには気をつけてください。

⚠ 注意

- 車から離れるときはキーを抜き、お子さまも一緒に連れて行ってください。
いたずらなど誤った操作をして思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- ウィンドーの開閉はお子さまではなく大人が操作するようにしてください。
- 小さなお子さまが同乗しているときは、お子さまが誤って操作しないよう、メインスイッチを“OFF”にしておきましょう。

● はさみ込み防止機構(運転席のみ)

運転席ウィンドーを自動で閉じているときに、窓枠とドアガラスの間に異物ののはさみ込みを検知するとはさみ込み防止機構が作動し、ドアガラスの上昇が停止して自動で下降します。

⚠ 注意

- ウィンドーを確実に閉めるため、閉めきる直前の部分では、はさみ込みを検知できない領域があります。指などをはさまないように注意してください。

🎓 知識

- 故障などではさみ込み防止機構が作動してしまい、ウィンドーを自動で閉めることができなくなったときは、スイッチを軽く引き上げ続けると閉めることができます。
- 環境や走行条件による衝撃などで、はさみ込み防止機構が作動することがあります。
- バッテリーやヒューズを交換した場合は、オート作動ができなくなります。
その場合は、エンジンを始動しドアガラスを一番下まで下げてから、スイッチを引き上げ続け、ウィンドーを閉め切った状態で、約1秒間スイッチを保持すると機能が復帰します。

セキュリティシステム

セキュリティ(盗難防止)システムは、イモビライザーシステムにより、お車を盗難から守るための装置です。

イモビライザーシステムについて

キーに信号を発信する電子部品があり、あらかじめ登録されたキーでないとエンジンの始動ができないようにしたシステムです。

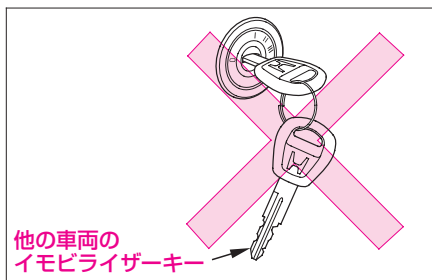


アドバイス

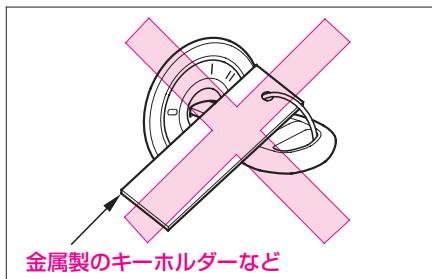
- システムを改造したりしないでください。
エンジンシステムが故障するおそれがあります。

イモビライザーシステムは、車両とキーとの電子照合を行うとき、微弱な電波を使用しています。次のような場合、車両がキーからの信号を正確に受信できず、エンジンの始動ができないことがあります。

- ・近くに強い電波を発する設備があるとき
- ・キーグリップ部が金属物に触れたり覆われているとき



- ・他の車両のイモビライザーシステム用のキーが近くにあるとき



1.車を運転する前に

セキュリティシステム



シートの調節

正しい運転姿勢

運転者は正しい運転姿勢がとれるようにシートを調節します。

正しい運転姿勢とは、シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込め、ハンドルが楽に操作できる姿勢をいいます。



同乗者も、シートに深く腰かけ、背もたれから背を離さないようにしてください。

助手席同乗者はインストルメントパネルに顔や胸が必要以上に近づかないように、シートを後ろに下げます。



⚠ 警告

- シートに深く腰かけてください。
また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRSエアバッグに必要以上に近づくと、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。
 - ・ 運転者は正しい運転姿勢がとれる範囲で、シートを後ろに下げてください。
 - ・ 助手席同乗者はインストルメントパネルに近づかないように、シートを後ろに下げてください。

⚠ 注意

- 走行中に調節するとシートが必要以上に動くことがあり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
調節は走行する前に行い、シートを前後にゆすって確実に固定されていることを確認してください。
- 背もたれと背中の中にクッションなどをいれないでください。
正しい運転姿勢がとれないばかりか、シートベルトなどの効果が十分に発揮されないおそれがあります。
- シートを操作するときは、操作する人やまわりの人の手や足などをはさまないように十分注意してください。
- シートの下に物を置かないでください。
物がはさまってシートが固定されず思わぬ事故につながるおそれがあります。

シート

●前後位置の調節



●背もたれの調節



1.車を運転する前に

シートの調節



バックミラーの調節

ルームミラー

知識

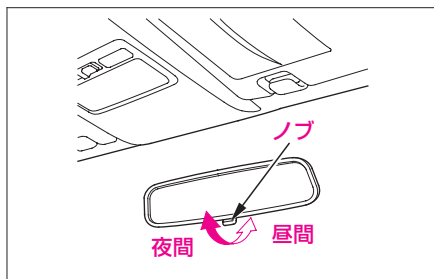
- 走行中はミラーの調節を行わないでください。

●防眩式ルームミラー

夜間走行時、後続車のライトがまぶしいときにライトの反射を弱くできます。



ノブを動かして切り換えます。



角度調節はノブを昼間の位置にして行ってください。

ドアミラー

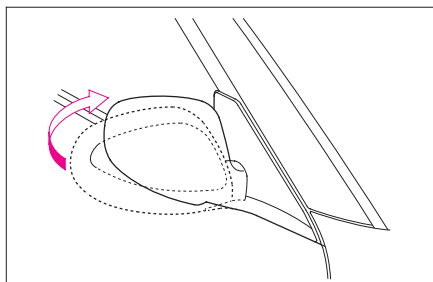
知識

- ミラーを格納したまま走行しないでください。また、走行中はミラーの調節を行わないでください。

●格納のしかた

ミラーを折りたたむことができます。狭い所へ駐車をするときに便利です。

走行するときは、必ず元に戻してください。



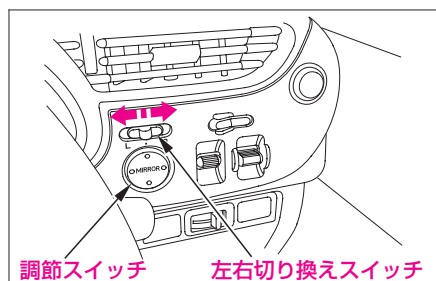


●角度調節のしかた

エンジンスイッチが“II”のときスイッチを操作すると、ミラーの角度調節ができます。



- ①左右切り換えスイッチを調節したい方に動かします。
- ②調節スイッチで角度を調節します。

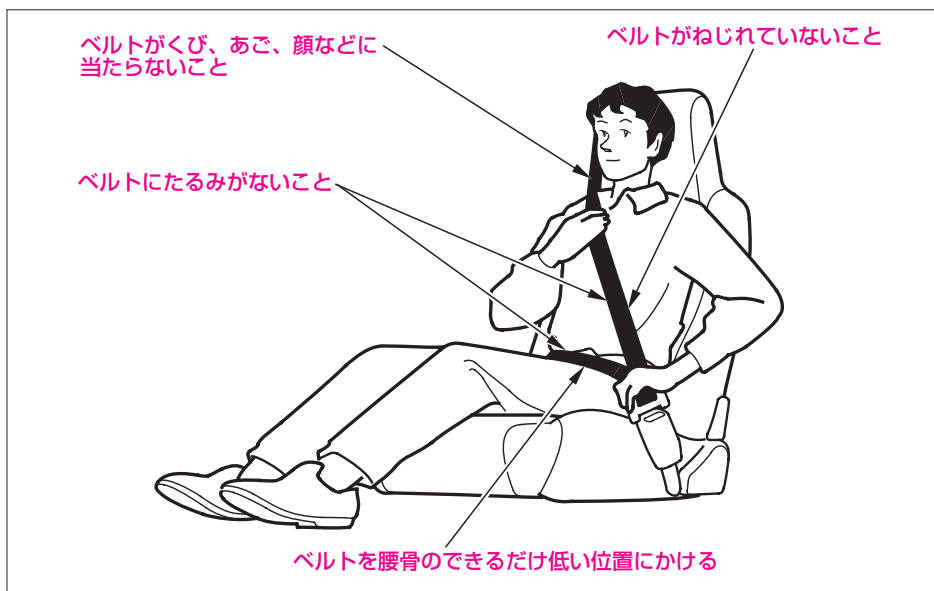


直接手で鏡面を動かして角度を調節することもできます。

シートベルト

シートベルト

シートベルトは、車を運転するまえに運転者は正しい運転姿勢で着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



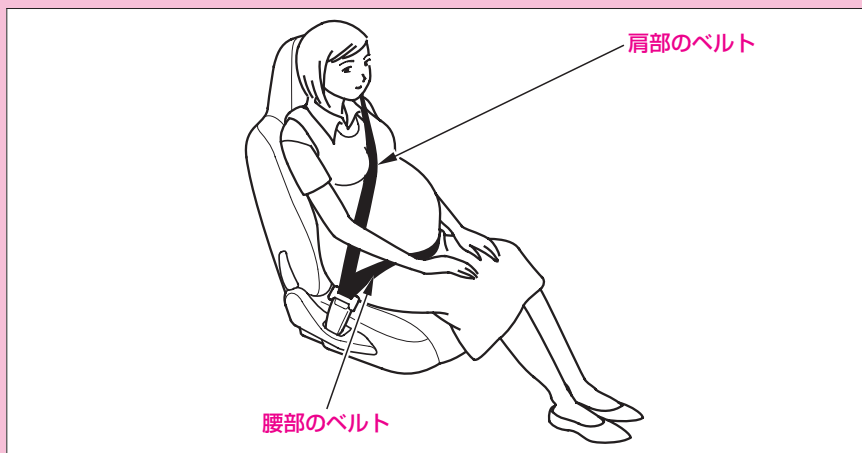
⚠ 警告

- シートベルトは全員が着用してください。
着用しないと、衝突したときなどに重大な傷害を受けたり死亡することがあります。
- シートに深く腰かけてください。また、背もたれは必要以上に倒さないでください。
寝そべった姿勢では、衝突したときなどにシートベルトの下に滑り込んだりして、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- お子さまにもシートベルトを着用させるか、チャイルドシートをお使いください。
お子さまを抱いていても、衝突したときなどに支えることができず、お子さまが重大な傷害を受けたり死亡するおそれがあります。



⚠ 注意

- シートベルトを正しく着用していないと本来の機能をはたさず、衝突のときなどにけがをするおそれがあります。
 - ・ 腰部のベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にぴったり着用してください。ベルトが腰骨からずれていると腹部などに強い圧迫を受けます。
 - ・ ベルトはねじれがないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり、局部的に強い力がかかります。
 - ・ ベルトがくび、あご、顔などに当たらないように着用してください。
 - ・ 一本のベルトを二人以上で使用しないでください。
 - ・ 三点式シートベルトは腕の下に通して着用しないでください。ベルトが肩に十分かかっていないと前方に投げ出されるおそれがあります。
 - ・ ベルトにはクリップや洗たくばさみなどでたるみをつけないでください。
- 妊娠中のかたや疾患のあるかたもシートベルトを着用してください。ただし、万一のとき腹部、胸部、肩部などに圧迫を受けることがありますので、医師に確認してください。
 - ・ 妊娠中のかたは、三点式シートベルトを使用してください。
 - ・ 妊娠中のかたは、ベルトを着用するときは、腰部のベルトを腹部からさけて腰骨のできるだけ低い位置にかかるようにして身体に密着させてください。また、肩部のベルトは腹部からさけて胸部にかかるようにしてください。



●シートベルトの種類

ELR付三点式シートベルトを採用しています。

●三点式シートベルト

体の動きにあわせて伸縮し、強い衝撃を受けるとベルトが自動的にロックします。

シートベルトリマインダー

(非着用警報装置)

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまでシートベルトリマインダーが作動し、メーター内のシートベルト非着用警告灯が点灯し続けます。

また、エンジンスイッチを“II”にしたときや走行したときは、運転席シートベルトを着用するまで、数秒間ブザーが鳴ります。(ブザーが鳴っている間は、警告灯が点滅します。)

知 識

- 運転席シートベルトを着用していない場合でも、停車すると、ブザーは止まります。また、走行しているときでも、一定回数を超えるとブザーは止まります。

- **オートマチック車**

セレクトレバーをRに入れたときは、後退位置警報装置のブザーが鳴り、シートベルト非着用警告ブザーは鳴りません。

シートベルトプリテンショナー

→132ページ



●お子さまを乗せるときは

お子さまにもシートベルトを着用させてください。

ただし、装備されているシートベルトは大人用ですので、ベルトがくびりやあごに当たる場合や腰骨にかからない場合は、幼児用シート(前向き装着)や学童用シートを使用してください。シートベルトをそのまま使うと、衝突のときに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。

⚠ 警告

●助手席には乳児用シートを取り付けしないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けしないでください。SRSエアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

- やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、SRSエアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。
- 乳児用シート、幼児用シート(後ろ向き装着)が必要なお子さまと一緒に乗るときは、これらのシートを取り付けられる別の車をお使いください。

🎓 知識

●幼児用シート、学童用シートは、お子さまの体重や身長によりお使いになれるタイプや取り付け方法が異なります。

また、チャイルドシートの形状などによっては、正しく取り付けできないものがあります。この車に合ったチャイルドシートを使用してください。

●Honda純正品のチャイルドシートをご用意しています。ご購入、ご使用に際してはHonda販売店にご相談ください。

●シートベルトの取り扱い、手入れ

- ベルトを着用した状態で万一、事故にあった場合は機能を損なっている可能性があるため、ベルト一式を交換してください。

シートベルトは、座席に乗員がいなくても、**SRSエアバック**が作動するような事故にあった場合は、**プリテンショナー**も作動するため、ベルト一式を交換してください。

また、ベルトにほつれ、すりきれ、破れなどができたときも交換してください。

- シートベルトを十分に機能させるために、バックルおよび自動巻き取り装置の内部に異物を入れないようにしてください。
- ベルトが汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯に布をひたしてふき取り乾かしてください。薬剤を使ったり漂白や染色は絶対しないでください。ベルトを弱めます。

着用のかた

●三点式シートベルト

- ①正しい運転姿勢でシートにすわります。
(→52ページ)
- ②タングプレートをつかみ、ゆっくり引き出します。



- ③ベルトにねじれがないようにし、タングプレートをバックルの中へ“カチリ”と音がするまで差し込みます。



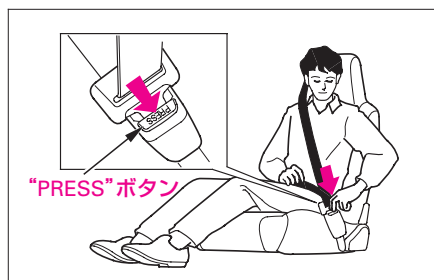
- ④ベルトがねじれたり、引っかかったりしていないかを確認します。



- ⑤ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかかるように引き、たるみがないように身体に密着させます。



- ⑥外すときはバックルの“PRESS”ボタンを押します。
ベルトが自動的に収納されますので、ひっかかったり、ねじれたりしていないかを確認します。



2

車を運転するときに

●メーター	66
イルミネーション	
コントロール	69

●燃費表示(FCD)	
瞬間燃費表示	70
モードの切り換え	70
トリップ連動モード	71
任意区間モード	73

●表示灯	74
------	----

●警告灯	80
警告灯の電球切れの点検	86

●スイッチの使いかた	
エンジンスイッチ	88
ライトスイッチ	90
方向指示器(ウィンカー)	
スイッチ	92
非常点滅表示灯(ハザード)	
スイッチ	93
ホーンスイッチ	93
リヤデフロスタースイッチ	94

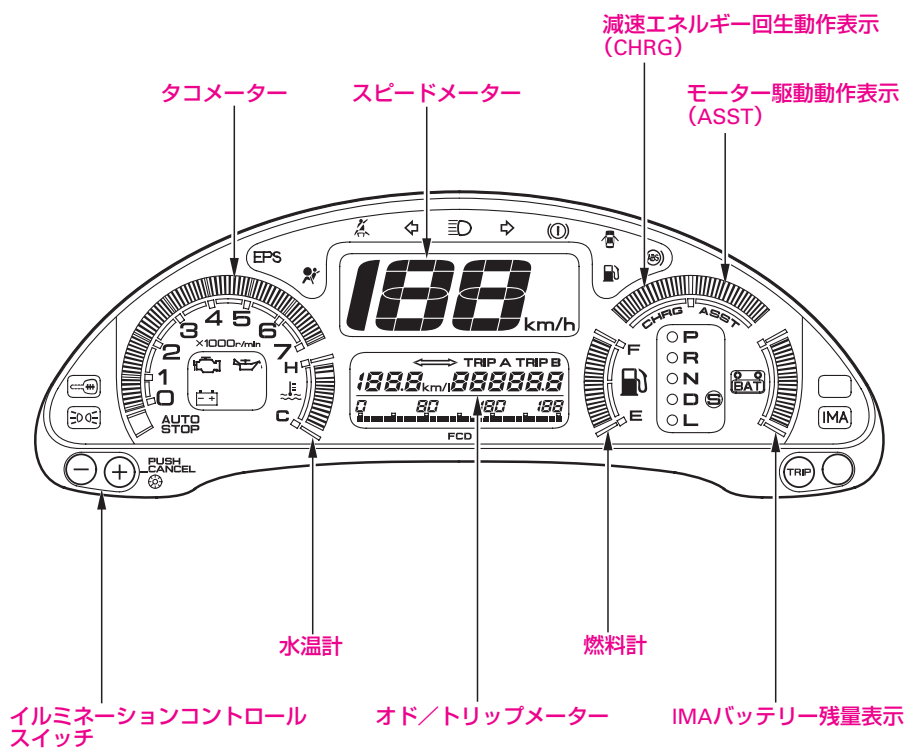
ワイパー／ウォッシャー	
スイッチ	95

●マニュアル車の運転のしかた	
エンジンのかけかた	98
パーキングブレーキ	100
チェンジレバーの操作	101
オートアイドルストップ	
システムについて	103

●オートマチック車の運転のしかた	
エンジンをかける前に	106
エンジンのかけかた	107
パーキングブレーキ	109
セレクトレバーの操作	110
発進	113
走行	115
停車	116
オートアイドルストップ	
システムについて	118
駐車	120
ほかに気をつけたいこと	121

メーター

イラストは代表例を掲載しています。





スピードメーター

エンジンスイッチを“II”にすると点灯し、走行速度をkm/hで示します。

タコメーター

エンジンスイッチを“II”にすると点灯し、エンジンを始動すると1分間あたりのエンジン回転数を示します。



アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。

限界回転数……………6,000rpm



知識

- 表示部に液晶を採用しているため、極低温時にメーターの応答性が遅くなることがあります。

オド／トリップメーター

オドメーター

エンジンスイッチが“II”のとき、走行した累計をkmで示します。

トリップメーター

エンジンスイッチが“II”のとき、“TRIP A”または“TRIP B”が表示され、区間距離をkmで示します。

例えば、

“TRIP A”で出発からの距離を測りながら、

“TRIP B”で給油してから距離を測るといったことができます。

トリップメーターの表示切り換え

→71ページ

トリップメーターのリセットのしかた

→72ページ



知識

- 走行距離が1999.9kmを超えると0 kmに戻ります。
- 画面表示を任意区間モードにしているときは、任意の区間走行距離が表示されます。

任意区間モード →73ページ

水温計

エンジンスイッチを“II”にすると点灯し、エンジン冷却水の温度を示します。



アドバイス

- 赤いマークが点灯した場合はオーバーヒートのおそれがあります。ただちに安全な場所に停めてエンジンを冷やしてください。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となります。
オーバーヒートしたとき
→178ページ

燃料計

エンジンスイッチを“II”にすると点灯し、燃料の残量を示します。

“E”に近づいたら早めに補給してください。

燃料補給について →46ページ

モーター駆動動作表示(ASST)

走行中にモーターアシストの状態を示します。

減速エネルギー回生動作表示(CHRG)

IMAバッテリーへの充電の状態を示します。

IMAバッテリー残量表示

IMAバッテリーの残量を示します。

減速時の車輪の回転力でモーターを発電機として動かし、IMAバッテリーに自動的に充電します。



知 識

- 通常は中央付近を示します。
次のようなときは、残量表示が下がることがありますが、故障ではありません。
 - ・ 登坂や連続加速により、IMAバッテリーを消費したとき。
 - ・ 12Vバッテリーを交換したときや、12Vバッテリーの端子を外したとき。
 - ・ IMAバッテリー制御システムが残量の誤差を補正したときなど。
- 走行すると自動的に充電され、しばらくすると中央付近を示すようになります。



イルミネーション コントロール

メーター表示の明るさが、車幅灯点灯時と消灯時にそれぞれ6段階に調節できます。



エンジンスイッチが“II”のとき、スイッチを押して明るさを調節します。

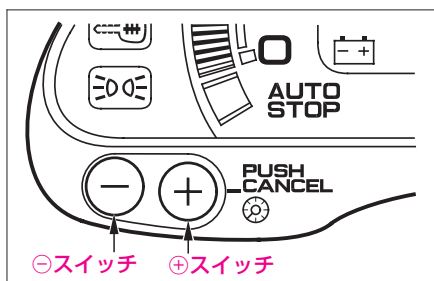
明るくするとき…

⊕スイッチを押します。

暗くするとき……

⊖スイッチを押します。

車外の明るさに応じてお好みで調節してください。

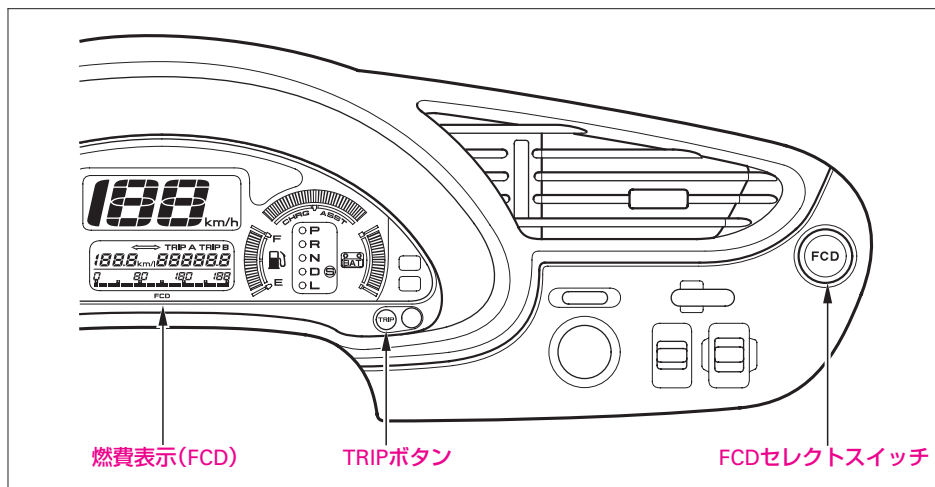


知 識

- 車幅灯点灯時に⊕スイッチを約1秒以上押し続けると、車幅灯点灯時の減光が解除されます。また、次の動作をしたときは、解除前の設定に戻ります。
 - ・⊖スイッチを押したとき
 - ・再度、エンジンスイッチを“II”にしたとき
 - ・再度、車幅灯を点灯したとき

燃費表示(FCD)

エンジンスイッチを“II”にすると点灯し、消費される燃料から燃費を計算し、瞬間燃費、平均燃費などを表示します。

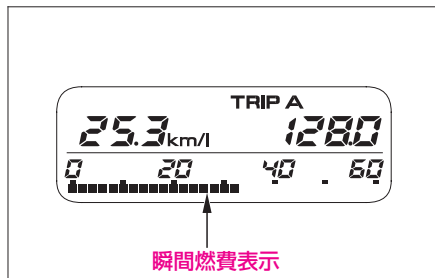


瞬間燃費表示

エンジンスイッチを“II”にしてからの瞬間燃費を約0.2秒ごとに更新し、バーグラフにkm/lで表示します。

また、トリップ連動モードのときは、表示を消すことができます。

表示の消しかた →72ページ

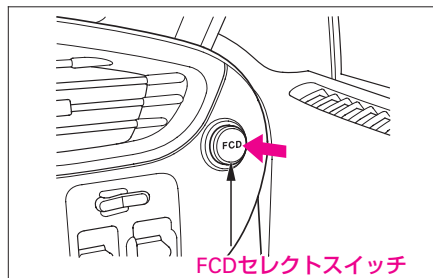


モードの切り換え

画面の表示を、トリップ連動モードと任意区間モードに切り換えることができます。



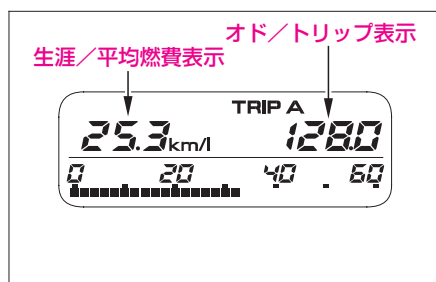
FCDセレクトスイッチを短く押すごとに切り換わります。





トリップ連動モード

オドメーターまたはトリップメーター (TRIP A、TRIP B) と、連動した平均燃費を表示します。



知識

- 表示される燃費値は、測定方法やタイヤの状態などにより、差が出る場合があります。

生涯燃費／平均燃費表示

生涯燃費表示

オドメーターに連動し、走行距離の累計での平均燃費を約1分間ごとに更新して、km/lで表示します。

オドメーター →67ページ

平均燃費表示

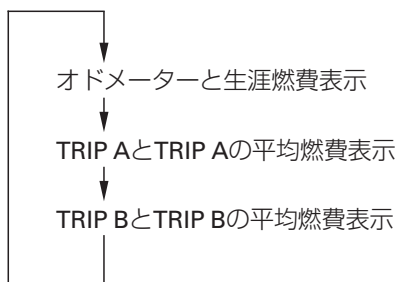
トリップメーター (TRIP A、TRIP B) に連動し、区間距離での平均燃費を約1分間ごとに更新して、km/lで表示します。

トリップメーター →67ページ

表示の切り換え



TRIP ボタンを短く押すごとに、表示が切り換わります。



トリップ表示と平均燃費表示のリセットのしかた



TRIPボタンを、約1秒押します。
この場合、表示されている方だけ(例えば、“TRIP AとTRIP Aの平均燃費表示”が表示されていれば“TRIP AとTRIP Aの平均燃費表示”だけ)がリセットされます。

生涯燃費表示のリセットのしかた (停車中に操作できます。)



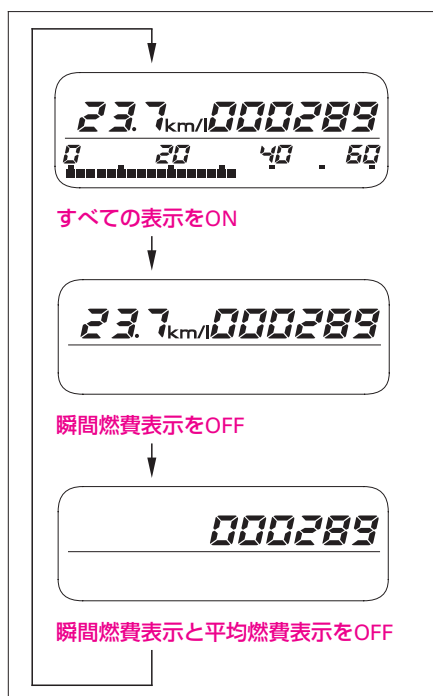
- ①生涯燃費が表示中に、TRIPボタンを約5秒以上押し続けます。
- ②生涯燃費表示が点滅しますので、一度指を離し、点滅中に再度TRIPボタンを約5秒以上押し続けます。

表示の消しかた

停車中に操作できます。
画面表示を、好みに応じて「…“すべての表示をON”→“瞬間燃費表示をOFF”→“瞬間燃費表示と平均燃費表示をOFF”…」の順に消すことができます。



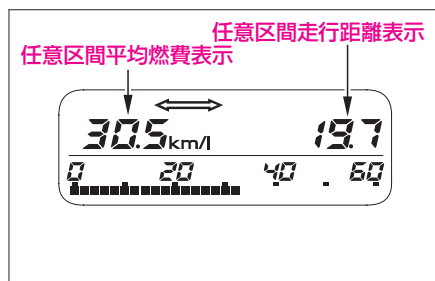
FCDセレクトスイッチを約3秒以上押し続けるごとに切り換わります。





任意区間モード

任意区間の距離とその区間の平均燃費を表示します。



知識

- 表示される燃費値は、測定方法やタイヤの状態などにより、差が出る場合があります。

任意区間走行距離表示

リセットしてからの走行距離をkmで表示します。

知識

- 走行距離が1999.9kmを超えると0 kmに戻ります。

任意区間平均燃費表示

任意区間走行距離に連動して、平均燃費を約1分ごとに更新して、km/lで表示します。

任意区間平均燃費表示と任意区間走行距離表示のリセットのしかた



FCDセレクトスイッチを、約1秒以上押し続けます。

表示灯

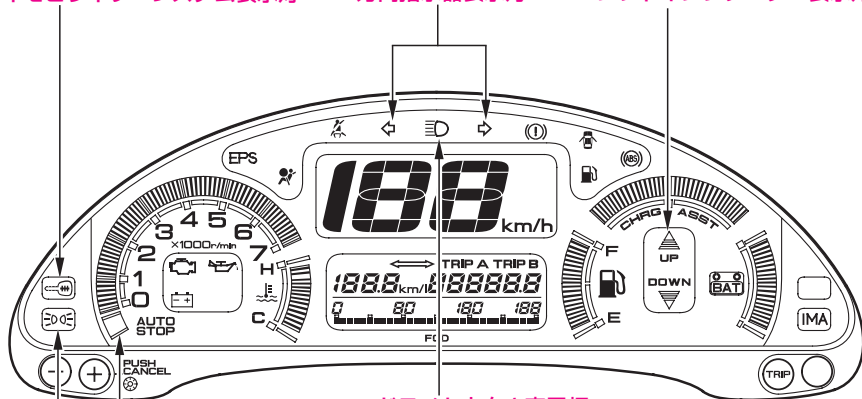
イラストは代表例を掲載しています。

マニュアル車

イモビライザーシステム表示灯

方向指示器表示灯

シフトインジケータ表示灯



ヘッドライト上向き表示灯

オートアイドルストップ表示灯

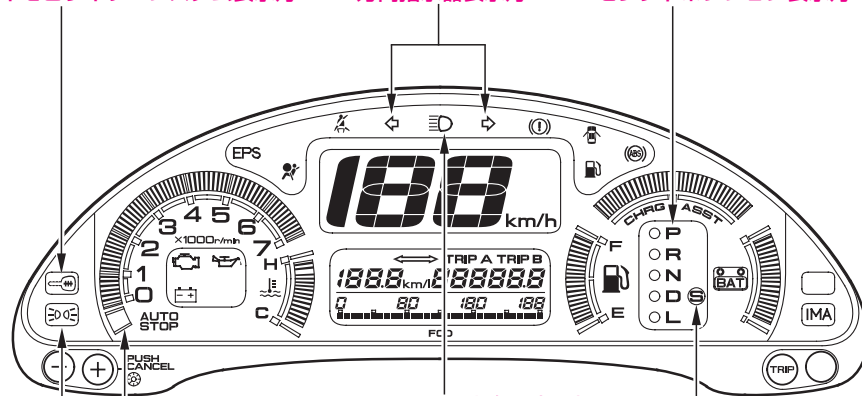
ライト点灯表示灯

オートマチック車

イモビライザーシステム表示灯

方向指示器表示灯

セレクトポジション表示灯



ヘッドライト上向き表示灯

オートアイドルストップ表示灯

ライト点灯表示灯

Sモード表示灯



表示灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

表示灯	タイプ	
	オートマチック車	マニュアル車
 方向指示器表示灯	○	○
 ヘッドライト上向き(ハイビーム)表示灯	○	○
 ライト点灯表示灯	○	○
 セレクトポジション表示灯	○	
 Sモード表示灯	○	
 イモビライザーシステム表示灯	○	○
 オートアイドルストップ表示灯	○	○
 シフトインジケーター表示灯		○

○：標準装備



方向指示器表示灯

方向指示器のランプの点滅状態を表示します。

知識

- 電球が切れたときや、ワット(W)数の違った物を使ったときは、表示灯の点滅周期が異常になります。

電球(バルブ)の交換 →190ページ

電球(バルブ)のワット数
→228ページ



ヘッドライト上向き(ハイビーム)表示灯

ヘッドライトが上向きのときに点灯します。



ライト点灯表示灯

ライトスイッチが“OFF”以外のときに点灯します。



セレクトポジション表示灯 (トランスミッション警告灯兼用)

オートマチック車

使用中のセレクトレバー位置が表示されます。

トランスミッションが異常のときには、“D”の表示灯が点滅します。

トランスミッション警告灯 →85ページ



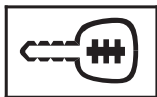
Sモード表示灯

オートマチック車

Sモードのときに点灯します。

エンジンスイッチを“II”にしたときに点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。

モード切り換えスイッチ →112ページ



イモビライザーシステム表示灯

エンジンスイッチにキーを差し込んで“II”にすると、数秒間点灯してから消灯します。点灯中は車両とキーとの電子照合を行っています。

点滅したときは

システムがキーの信号を認識していないので、エンジンを始動することはできません。そのときは、エンジンスイッチを“0”へ回しキーを抜いてから、もう一度エンジンスイッチに差し込み“II”にしてください。

エンジンスイッチを“II”から“I”または“0”へ回したときにも、イモビライザーシステム表示灯が数回点滅します。

イモビライザーシステム →50ページ



アドバイス

- エンジンスイッチを“II”にしても表示灯が点灯しないときや、頻繁に表示灯の点滅を繰り返す場合は、システムの異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。



オートアイドルストップ表示灯

信号待ちなどの停車時に、オートアイドルストップシステムが作動し、自動的にエンジンが停止したときに点灯または点滅します。

オートアイドルストップシステムについて

マニュアル車 →103ページ

オートマチック車 →118ページ



シフト・インジケーター表示灯

マニュアル車



シフトアップが必要な時に点灯します。
経済走行をするための目安としてお使いください。



上り坂を走行中に速度を維持するため、
あらかじめシフトダウンを促すために点
灯します。
下り坂などでエンジンブレーキのための
シフトダウンを促すものではありません。

知 識

- シフトダウンするときは、速度範囲に従ってください。

速度範囲 →101ページ

- シフトインジケーターの表示を、
好みに応じて消すことができます。
①エンジンスイッチを“0”にしま
す。
②FCDセレクトスイッチを押しな
がら、エンジンスイッチを“II”
にし、そのまま5秒押し続けま
す。

表示させるときは、再度上記の操
作をおこないます。

2.車を運転するときに

表示灯

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

警告灯

イラストは代表例を掲載しています。

エレクトリックパワーステアリング(EPS)警告灯 ブレーキ警告灯

PGM-FI警告灯

シートベルト非着用
警告灯

ドア/テールゲート開閉警告灯

ABS警告灯

充電警告灯

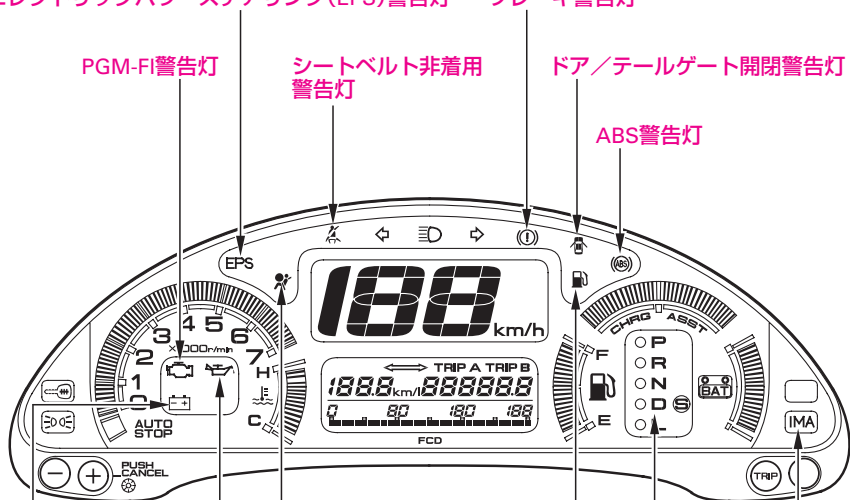
油圧警告灯

燃料残量警告灯

IMAシステム警告灯

SRSエアバッグシステム警告灯

トランスミッション警告灯

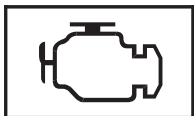




警告灯はタイプ等により、装備の有無があります。下表の装備一覧をご覧ください。

警告灯		タイプ	
		オートマチック車	マニュアル車
	PGM-FI警告灯	○	○
	充電警告灯	○	○
	油圧警告灯	○	○
	エレクトリックパワー ステアリング(EPS)警告灯	○	○
	ブレーキ警告灯	○	○
	シートベルト非着用警告灯	○	○
	ドア/テールゲート開閉警告灯	○	○
	燃料残量警告灯	○	○
	トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯兼用)	○	
	IMAシステム警告灯	○	○
	SRSエアバッグシステム警告灯	○	○
	アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯	○	○

○：標準装備



PGM-FI警告灯

エンジン制御システムが異常のときに点灯します。

エンジン各気筒の失火状態を検知したときに点滅します。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、高速走行を避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

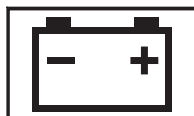
点滅したときは

- ①走行中に点滅した場合は、枯草などの可燃物のない安全な場所に停車し、10分間以上エンジンを止めて、冷えるまでお待ちください。
- ②エンジン再始動後、警告灯が消灯しないときや再び点滅するときは、触媒装置保護のため、急加速、急減速などの無理な運転を避け、50km/h以下の速度で、最寄りのHonda販売店まで走行し点検を受けてください。



アドバイス

- 警告灯が点滅した状態で運転は続けないでください。
触媒装置を焼損することがあります。



充電警告灯

12Vバッテリーの充電系統が異常のときに点灯します。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、電気の消費を減らすため、エアコンスイッチ、リヤデフロスタースイッチを“OFF”にして、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

知 識

- 次のような場合には12Vバッテリーへの充電を停止することにより、警告灯が点灯することがあります。
 - ・オートアイドルストップシステムが作動し、自動的にエンジンが停止した状態が長時間続いたとき。エンジンが再始動し、警告灯が消灯すれば正常です。



油圧警告灯

エンジン回転中、エンジン内部を潤滑しているオイルの圧力が低下すると点灯します。



点灯したときは

エンジン回転中に点灯した場合は、ただちに安全な場所に停車してエンジンを止め、エンジンオイル量を点検してください。

エンジンオイルが減っていないのに点灯しているときや、エンジンオイルを補給しても点灯するときは、ただちにHonda販売店へご連絡ください。



アドバイス

- 点灯したまま走行しないでください。エンジンが破損するおそれがあります。



知識

- オートアイドルストップシステムが作動し、エンジンが自動的に停止したときは、警告灯は点灯しません。

EPS

エレクトリックパワーステアリング (EPS) 警告灯

EPSが異常のときに点灯します。



点灯したときは

運転中に点灯したとき(安全な場所に停車してからエンジンを再始動し、その後走行中に消灯していれば正常です。)は、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。



知識

- 警告灯が点灯しているときは、パワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が重くなります。
- 停車中または極低速でハンドル操作をくり返したときなどシステムの温度が上昇すると、システム保護のためパワー装置のはたらきを制限するので、ハンドル操作が徐々に重くなります。
システムの温度が下がると復帰します。
システム保護がはたらくような使いかたを連続的にくり返すと、システム破損の原因となります。



ブレーキ警告灯

パーキングブレーキが完全に解除されていないときやブレーキ液量がいちじるしく減少しているときに点灯します。



点灯したときは

走行中点灯したときやパーキングブレーキを解除しても消灯しないときは、

- ①ブレーキ液量を点検します。
- ②下限より下がっていたらただちにHonda販売店へご連絡ください。
ブレーキ液量が下限以下になっていないのに点灯するときや、パーキングブレーキをかけても点灯しないときは、お早めにHonda販売店で点検を受けてください。



シートベルト非着用警告灯

エンジンスイッチを“II”にすると、運転席シートベルトを着用するまでシートベルトリマインダー(非着用警報装置)が作動し、点灯し続けます。

また、エンジンスイッチを“II”にしたときや走行したときは、運転席シートベルトを着用するまで、数秒間ブザーが鳴ります。

(ブザーが鳴っている間は、警告灯が点滅します。)

知 識

- 運転席シートベルトを着用していない場合でも、停車すると、ブザーは止まります。また、走行しているときでも一定回数を超えると、ブザーは止まります。
- **オートマチック車**
セレクトレバーをⅡに入れたときは、後退位置警報装置のブザーが鳴り、シートベルト非着用警告ブザーは鳴りません。



ドア／テールゲート開閉警告灯

ドア、テールゲートが完全に閉まっていないときに点灯します。



ドア、テールゲートを完全に閉めてください。



燃料残量警告灯

燃料タンク内のガソリン残量が約 4 ℓ 前後になったときに点灯します。

燃料の補給 →46ページ



トランスミッション警告灯 (セレクトポジション表示灯兼用)

オートマチック車

トランスミッションが異常のときに点滅します。



点滅したときは

運転中に点滅した場合は、急発進、急加速を避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。



IMAシステム警告灯

IMA制御システムが異常のときに点灯します。



点灯したときは

運転中に点灯した場合は、高速走行を避けて、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。



SRSエアバッグシステム警告灯 (エアバッグシステムとシートベルトシステム警告灯兼用)

SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。

SRSエアバッグシステム警告灯

→131ページ

シートベルトプリテンショナー警告灯

→133ページ



アンチロックブレーキシステム (ABS)警告灯

ABSが異常のときに点灯します。

→135ページ

警告灯の電球切れの点検

エンジンスイッチを“II”にしたとき、下記の警告灯類が点灯するのが正常です。点灯しないときは、Honda販売店へご連絡ください。

- 油圧警告灯
(エンジン始動後消灯)
- ブレーキ警告灯
(パーキングブレーキが解除されているときは数秒後消灯)
(パーキングブレーキをかけているときは完全に解除すると消灯)
- 充電警告灯
(エンジン始動後消灯)
- トランスミッション警告灯
(数秒後消灯)
- PGM-FI警告灯
(数秒後消灯)
- SRSエアバッグシステム警告灯
(約 6 秒後消灯)
- アンチロックブレーキシステム
(ABS)警告灯
(数秒後消灯)
- IMAシステム警告灯
(数秒後消灯)
- エレクトリックパワーステアリング
(EPS)警告灯
(エンジン始動後消灯)

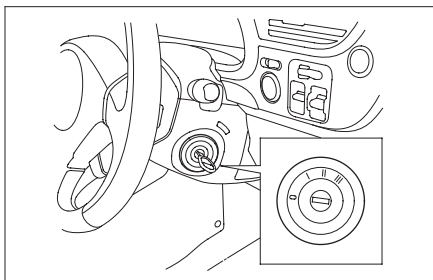
2.車を運転するときに

警告灯



スイッチの使いかた

エンジンスイッチ



0

キーを抜き差しする位置です。

I

エンジンをかけずにラジオなどのアクセサリを使用するときの位置です。

II

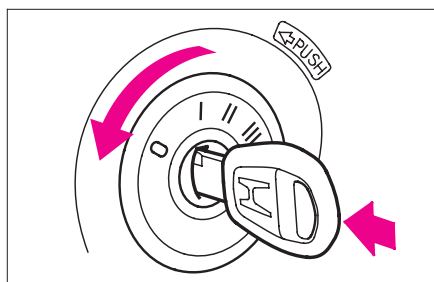
運転するときの位置です。

III

エンジン始動位置です。始動したら、キーから手を離してください。自動的に“II”に戻ります。

キーを抜くとき

- ・オートマチック車は、セレクトレバーをⅡに入れます。
- ・“I”でキーを押し込んで“0”まで回してキーを抜きます。



知 識

- キーを抜くとハンドルがロックされます。
- オートマチック車**
セレクトレバーがⅡ以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。

“0”から“I”にキーが回らないとき (ハンドルロックの解除)

ハンドルを左右に回しながらキーを回せば容易に回ります。



⚠ 警告

- 走行中はエンジンスイッチを“Ⅰ”または“0”にしないでください。マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされ、思わぬ事故につながります。

🎓 知識

- エンジンを止めた状態で“Ⅰ”または“Ⅱ”のまま、長時間放置しないでください。
12VバッテリーおよびIMAバッテリー容量が低下し、エンジンがかからなくなることがあります。
- 車から離れるときは、バッテリー保護のため必ず“0”にしてください。

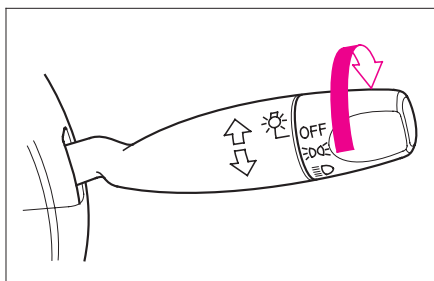
●キー抜き忘れ警告ブザー

エンジンスイッチが“Ⅰ”または“0”でキーを差し込んだまま車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りキーの抜き忘れを知らせます。

ライトスイッチ

●ライトの点灯・消灯

エンジンスイッチの位置に関係なく次のように点灯、消灯します。



スイッチの位置	DOGS	ID
ヘッドライト	—	点灯
計器類照明灯 車幅灯・尾灯 番号灯	点灯	点灯

ライト類が点灯すると、メーター内の表示灯が点灯します。

ライト点灯表示灯 →76ページ

🎓 知識

- エンジンが止まっている状態で、ライト類を点灯したままにしないでください。バッテリー(12V)あがりの原因となります。

●ライト消し忘れ警告ブザー

ライトを点灯したままエンジンスイッチからキーを抜いて、車を離れようとしたとき(運転席ドアを開けたとき)、ブザーが鳴りライトの消し忘れを知らせます。



●ヘッドライトの上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)の切り換え

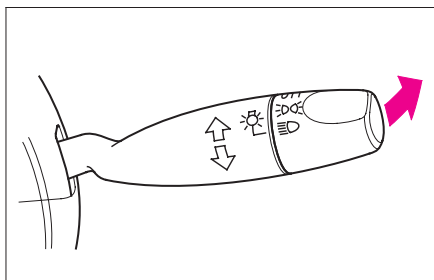
レバーを前方へ押すと上向きになります。
戻すと下向きになります。

上向きのときは、メーター内の表示灯が点灯します。

ヘッドライト上向き(ハイビーム)

表示灯

→76ページ

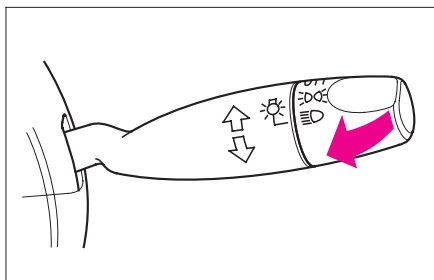


知 識

- 対向車のあるときや市街地走行など、上向きが不適切なときは下向きにします。

●追越合図(パッシング)

レバーを手前に引いている間、上向きが点灯します。



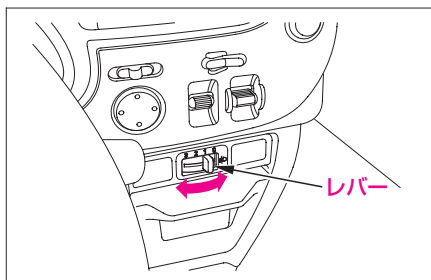
●ヘッドライトレベリングレバー

エンジンスイッチが“II”のとき、ヘッドライトの照らす方向(光軸)を下向きに調節することができます。

乗員や荷物が多いときなど、ヘッドライトが通常より上を向いているときは、ヘッドライトの光軸を下向きにしてください。



光軸の調節はレバーを動かして行います。



光軸の調整は、乗員の人数や荷物の量に応じて下記の表を目安にレバーの位置を調節してください。

《レバーの位置の目安》

乗員やカーゴスペースの積載状況	レバーの位置
運転席のみ乗車時	0
運転席と助手席に乗車時	1
運転席と助手席に乗車時でかつカーゴスペース満載時	2
運転席のみ乗車時でかつカーゴスペース満載時	3

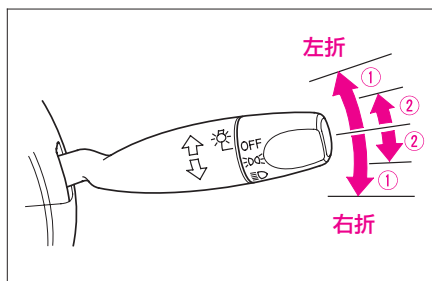


知 識

- レバーの位置の0と1、2と3については光軸は同じです。
- 車検などで光軸調整をするときは、レバーを“0”の位置に戻してから行ってください。

方向指示器(ウィンカー)スイッチ

エンジンスイッチが“II”のとき使えます。ふだんは①の位置で使います。この位置ではハンドルの切り角が小さいときには戻らない場合もあります。戻らないときは手で戻してください。車線変更などでは②の位置に軽く手で押さえながら使います。

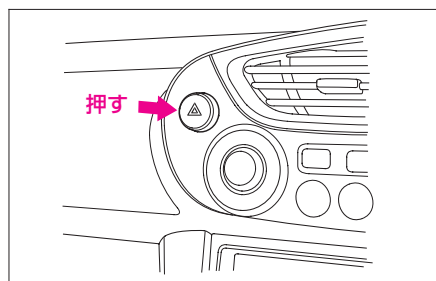




非常点滅表示灯(ハザード)スイッチ

スイッチを押すとすべての方向指示器のランプが点滅します。

故障でやむをえず路上駐車するときに使います。

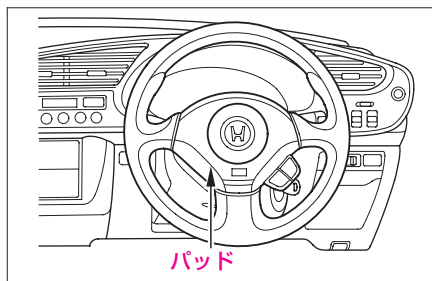


知 識

- 非常時にのみお使いください。
完全充電の新しい12Vバッテリーでも約2時間以上使うと12Vバッテリー容量が低下し、エンジンの始動ができなくなります。

ホーンスイッチ

ハンドルのパッドを押すとホーンが鳴ります。



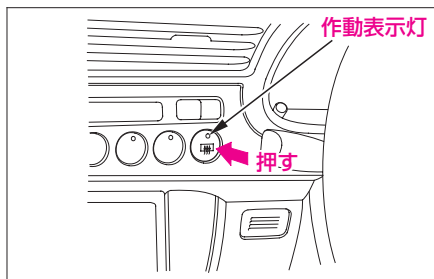
リヤデフロスタースイッチ

リヤガラスを暖め、曇りを取るができます。



エンジンスイッチが“II”のときスイッチを押すと“ON”になり、同時に作動表示灯が点灯します。もう一度スイッチを押すと“OFF”になり、作動表示灯は消灯します。

また、この装置は“ON”のままであっても、約25分経過後自動的に“OFF”になります。



知 識

- 下記の条件をすべて満たしたときは、車両各部の暖機向上のためリヤデフロスタースイッチが自動的に“ON”になります。この時、作動表示灯は、点灯しません。

- ・ 外気温が低いとき
- ・ エンジン水温が低いとき
- ・ エンジンスイッチが“II”のとき
- ・ エアコンスイッチが“OFF”以外のとき

また、約25分経過すると自動的に“OFF”になります。

ただし、約25分経過しても水温が高くなると“OFF”になりません。

- リヤガラスの内側に電熱線が装着されています。電熱線は傷つきやすいので清掃のときは電熱線に沿ってやわらかい布でふいてください。また、手荷物などで傷つけないようにしてください。



ワイパー／ウォッシャー スイッチ

⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。
ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

🎓 知識

- 空ぶきをしないでください。ガラス面に傷をつけたり、ブレード(ゴム部)を傷めたりします。
- ウォッシャー液が出ないときはウォッシャースイッチを切ってください。
ウォッシャー液がないまま動かすとポンプの故障の原因となります。
- 寒冷時、ブレード(ゴム部)がガラス面に張りつくことがありますのでデフロスターを使ってフロントガラスを暖めてください。
凍りついたまま動かすとブレード(ゴム部)を傷めたり、ワイパーモーターの故障の原因となります。

デフロスター →144ページ

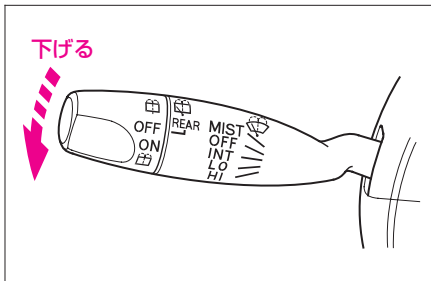
🎓 知識

- ワイパーを作動中にガラスに雪などがたまりワイパーが停止したときは、安全な場所に停車してワイパースイッチを“OFF”、エンジンスイッチを“0”または“1”にしてワイパーが作動できるように雪などの障害物を取り除いてください。
- ワイパーモーターには、保護機能としてブレーカーを内蔵しています。
モーターの負荷が大きい状態が続いたときなどには、ブレーカーが作動し、一時的にモーターが止まることがあります。
数分ほどすると、ブレーカーが復帰して通常通り使用できるようになります。

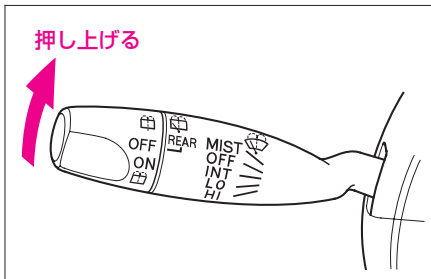
エンジンスイッチが“II”のとき使えます。

●フロントガラス

ワイパースイッチ



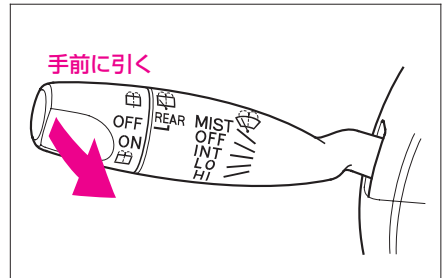
- OFF …………… 停止
INT(間欠) …………… 雨量の少ないとき
LO(低速) …………… 普通雨量のとき
HI(高速) …………… 雨量の多いとき



- MIST ……………
レバーを押し上げている間、高速で作動します。
霧や小雨のときなどに使うと便利です。

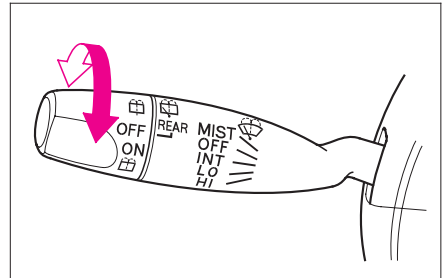
ウォッシャースイッチ

レバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射します。



●リヤガラス

注文装備



- OFF …………… 停止
ON …………… ワイパーが作動します。
 …………… スイッチを回している間、ウォッシャー液が噴射します。

2.車を運転するときに

スイッチの使いかた



マニュアル車の運転のしかた

エンジンのかけかた

⚠ 警告

- 12Vバッテリーのバッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動をしないでください。
12Vバッテリーが破裂するおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠ 注意

- エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

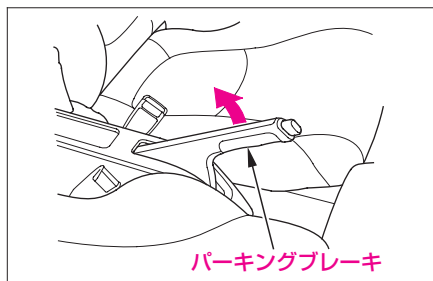
🚗 アドバイス

- 排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は、排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ずHonda販売店で点検を受けてください。

- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認します。

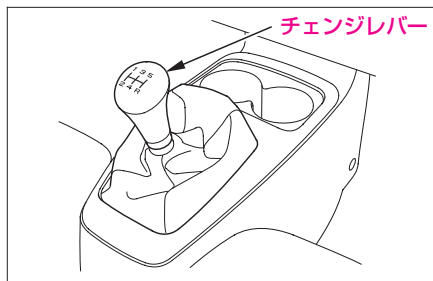
パーキングブレーキの操作

→100ページ



- ② チェンジレバーをN(ニュートラル)にしてください。

チェンジレバーの操作 →101ページ





- ③ブレーキペダルをしっかりと踏み、クラッチペダルもいっばいに踏み込みます。
- ④アクセルペダルを踏まずに、エンジンが始動するまでスターターを回してください。



・クラッチ・スタートシステム

思わぬ事故を防ぐため、クラッチペダルをいっばいに踏み込まないとスターターが回らないようになっています。

知識

- 消費電力の大きいライト類、エアコン、リヤデフロスターのスイッチは“OFF”にした方が始動は容易になります。
- バッテリーあがりを防ぐため、スターターは連続して15秒以上回さないでください。15秒回してもエンジンが始動しなかったときは、一度キーを“I”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。

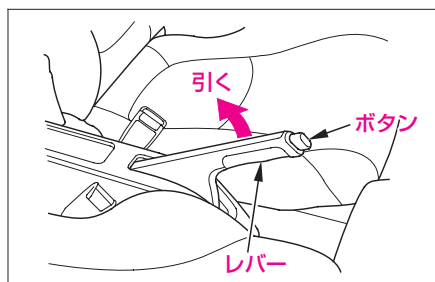
知識

- 周囲の電波状態などによりエンジンが始動できないことがあります。
イモビライザーシステムについて
→50ページ
- エンジンスイッチを“II”にした直後(イモビライザーシステム表示灯点灯中)は、エンジンが始動できないことがありますので、表示灯が消灯するのを確認してから、スターターを回すことをおすすめします。
イモビライザーシステム表示灯
→77ページ
- エンジンがあたたまっていると始動に時間がかかることがあります。アクセルペダルを半分程度踏み込んだまま、スターターを回してください。エンジンが始動したらアクセルペダルを徐々に戻してください。
- エンジン始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転が高くなりますが、自動的に適正回転に下がります。

パーキングブレーキ

かけるとき

ボタンを押さずにレバーをいっぱいに引きます。



後輪ブレーキが効きます。

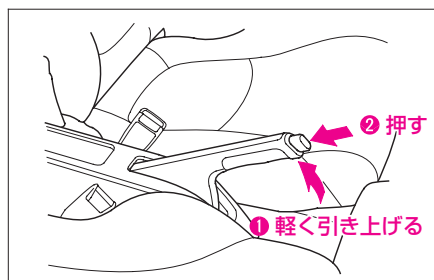
知 識

- 駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

寒冷時のパーキングブレーキの
取り扱い →214ページ

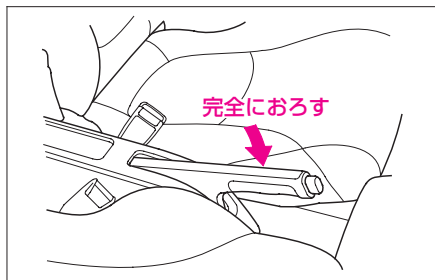
解除するとき

- ①レバーを軽く引き上げながら、ボタンを押します。





- ②ボタンを押したまま、レバーを下に完全におろします。

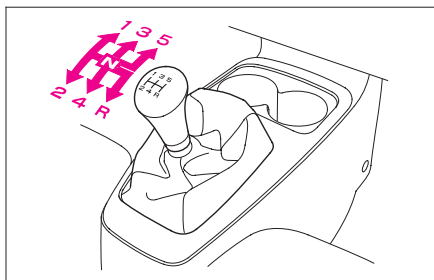


⚠ 注意

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。
ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

チェンジレバーの操作

●チェンジレバー



変速するときは、クラッチペダルをいっぱいに踏み込んで、チェンジレバーを確実に操作します。

Rに入れるとき

誤操作を防ぐために、5 からRへは直接入れられません。一度Nへ戻してからRに入れてください。



アドバイス

- 車が完全に止まらないうちはRに入れないでください。
トランスミッション破損の原因となります。

●速度範囲

エンジンを過回転させないために、下表の各チェンジレバー位置での速度範囲を参考に、シフトダウンしてください。

レバーの位置	速度範囲
1	0 ～50km/h
2	20～100km/h
3	35～150km/h
4	45km/h～
5	50km/h～



注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。シフトダウンする際の車速には十分注意してください。

アドバイス

- エンジン故障の原因となりますので、限界回転数以上(レッドゾーン)に入らないように運転してください。特に高速走行時、変速(シフトダウン)するときには注意してください。
限界回転数……………6,000rpm

知識

- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。
- エンジンの回転をあやまって限界回転数以上(レッドゾーン)で運転した場合、エンジン保護装置により、燃料供給が停止されます。そのとき、軽い衝撃を感じる場合がありますが、異常ではありません。

オートアイドルストップシステムについて

この車には燃費向上のため、信号待ちや渋滞時などに、エンジンが自動的に停止するオートアイドルストップシステムが装備されています。

●エンジンが停止するとき

減速時

下記の条件を満たすと、システムが作動し自動的にエンジンが停止します。

- ・ブレーキペダルを踏み込んでいる
- ・速度が30km/h以下、エンジン回転数が1,000rpm以下、クラッチペダルをいっばいに踏み込む

走行後の停車時

走行後の停車時に、下記の動作をするとシステムが作動し自動的にエンジンが停止します。

- ・クラッチペダルをいっばいに踏む
- ・チェンジレバーをN(ニュートラル)の位置にする

知 識

- 次の場合、エンジンは停止しません。
 - ・チェンジレバーが、1またはR(リバース)の位置のとき
 - ・エアコンの“AUTOスイッチ”または“フロントデフロスタースイッチ”をONにしているとき(エアコンを使用しシステムを作動させたいときは、“ECONスイッチ”をONにしてください。) オートエアコン →140ページ
 - ・エンジン水温が低いとき
 - ・エンジン始動直後
 - ・IMAバッテリーの残量が少ないとき
 - ・電気負荷が大きいとき
 - ・外気温が低いとき
- エンジン再始動後に再度チェンジレバーをN(ニュートラル)に戻すと1回だけシステムが作動します。
- システムが作動しエンジンが停止しているときは、車から離れないでください。12VバッテリーおよびIMAバッテリーの容量が低下し、エンジンの再始動ができなくなることがあります。車から離れるときは、エンジンスイッチを必ず“0”にしてください。

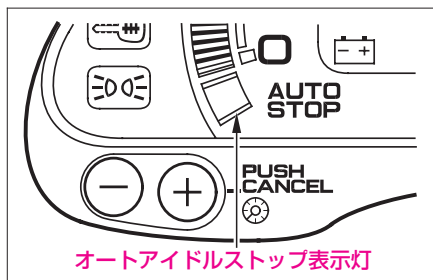


●オートアイドルストップ表示灯

オートアイドルストップシステムが作動すると、メーター内のオートアイドルストップ表示灯が点灯します。

表示が点灯しているときに、クラッチペダルから足を離すと、表示灯が点滅に変わります。

クラッチペダルをいっばいに踏み込むと表示灯は、点滅から点灯に変わります。



●オートアイドルストップ作動中警告ブザー

表示灯が点灯または点滅しているときに運転席ドアを開けると、ブザーが鳴り（ピーッピーッの繰り返し）、同時に表示灯が点滅し、オートアイドルストップシステムが作動していることを知らせます。

●エンジンが再始動するとき

クラッチペダルをいっばいに踏み込んでチェンジレバーを1またはR(リバース)の位置に入れると、エンジンが自動的に再始動します。

また、クラッチペダルをいっばいに踏み込んでいて、チェンジレバーがN(ニュートラル)の位置でも、アクセルペダルを踏んだときは、エンジンが再始動します。

知 識

- クラッチペダルをいっばいに踏み込んでいないと、エンジンは再始動しません。クラッチペダルをいっばいに踏み込んでください。
- クラッチペダルをいっばいに踏み込んでチェンジレバーを2、3、4、5の位置に入れてもエンジンは再始動します。
- 減速時に自動的にエンジンが停止している間、ブレーキペダルから足を離すとエンジンは再始動します。

オートマチック車の運転のしかた

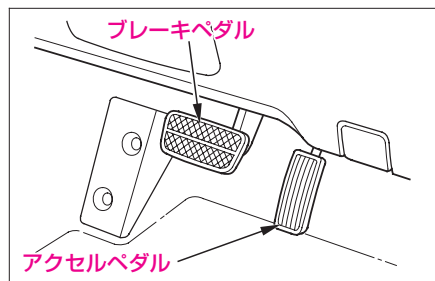
オートマチック車は、クラッチ操作とギヤの切り換えを自動化したもので、その分、操作の負担が軽くなり、運転が楽になりますが、運転の基本を十分理解し、正しく操作する習慣をつけてください。

知識

- 法定速度を守って走行してください。
- 1,000km走行するまではエンジンや駆動系の保護のため急発進、急加速を避け控えめな運転をしてください。

エンジンをかける前に

正しい運転姿勢をとり、右足でアクセルペダルとブレーキペダルが確実に踏めるか確認します。



知識

- ペダルの踏みまちがいを防ぐため、ペダルの位置を実際に踏んでみて足におぼえさせておくことが重要です。
また、不慣れな左足では、適切なブレーキ操作ができません。
- 車を少し移動させるときにもペダルが確実に踏めるように、正しい運転姿勢をとりましょう。



エンジンのかけかた

⚠ 警告

- 12Vバッテリーのバッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動をしないでください。
12Vバッテリーが破裂するおそれがあります。
- 車庫や屋内などの換気の悪いところでは、エンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

⚠ 注意

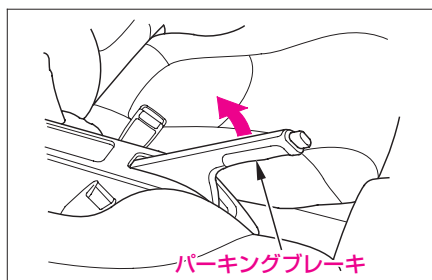
- エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

🚗 アドバイス

- 排気音が変わったり、車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は、排気系や燃料系の異常が考えられますので、必ずHonda販売店で点検を受けてください。

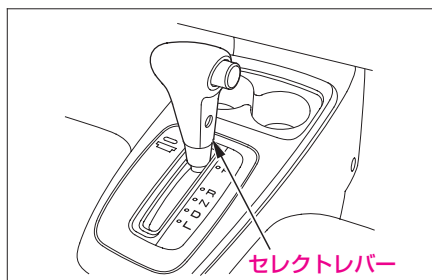
- ① パーキングブレーキがかかっていることを確認します。

パーキングブレーキの操作 →109ページ



- ② セレクトレバーがPの位置にあることを確認してください。

セレクトレバーの操作 →110ページ



📖 知識

- Nでも始動できますが、安全のため駆動輪が固定されるPで行ってください。

- ③ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- ④アクセルペダルを踏まずに、エンジンが始動するまでスターターを回してください。



知識

- 消費電力の大きいライト類、エアコン、リヤデフロスターのスイッチは“OFF”にした方が始動は容易になります。
- バッテリーあがりを防ぐため、スターターは連続して15秒以上回さないでください。15秒回してもエンジンが始動しなかったときは、一度キーを“I”に戻して10秒以上待ってから再始動してください。

知識

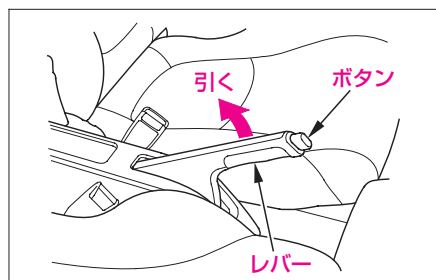
- 周囲の電波状態などによりエンジンが始動できないことがあります。
イモビライザーシステムについて
→50ページ
- エンジンスイッチを“II”にした直後(イモビライザーシステム表示灯点灯中)は、エンジンが始動できないことがありますので、表示灯が消灯するのを確認してから、スターターを回すことをおすすめします。
イモビライザーシステム表示灯
→77ページ
- エンジンがあたたまっていると始動に時間がかかることがあります。アクセルペダルを半分程度踏み込んだまま、スターターを回してください。エンジンが始動したらアクセルペダルを徐々に戻してください。
- エンジン始動後は、エンジン制御システムの働きによりエンジン回転が高くなりますが、自動的に適正回転に下がります。



パーキングブレーキ

かけるとき

ボタンを押さずにレバーをいっぱいに引きます。



後輪ブレーキが効きます。

知 識

- 駐車するときは、車が動き出さないように必ずパーキングブレーキをかけてください。

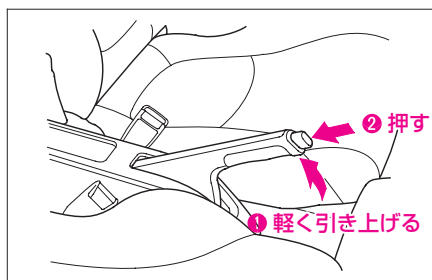
寒冷時のパーキングブレーキの

取り扱い

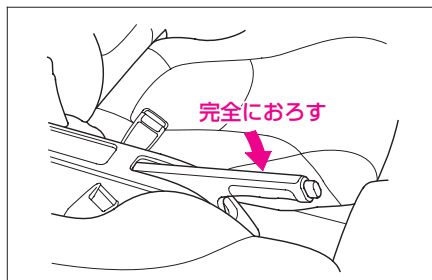
→214ページ

解除するとき

- ① レバーを軽く引き上げながら、ボタンを押します。



- ② ボタンを押したまま、レバーを下に完全におろします。



⚠ 注意

- パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください。ブレーキが過熱し効きが悪くなるおそれがあります。

セレクトレバーの操作

●それぞれの位置のはたらき



パーキング

駐車およびエンジンを始動する位置。
キーを抜く位置。



知 識

- セレクトレバーがP以外のときは、エンジンスイッチが“0”まで回らないので、キーを抜くことができません。



リバース

車を後退(バック)させる位置。
ブザーが鳴り、セレクトレバーがRに入っていることを
運転者に知らせます。



ニュートラル

中立位置。
(エンジン始動できますが、安全のためRで行ってください。)



ドライブ

通常の走行をする位置。

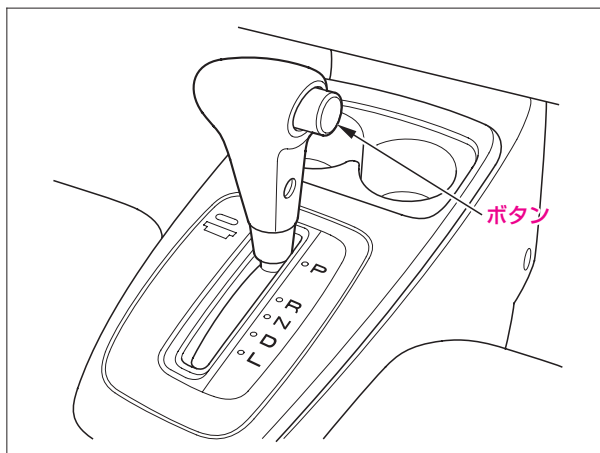
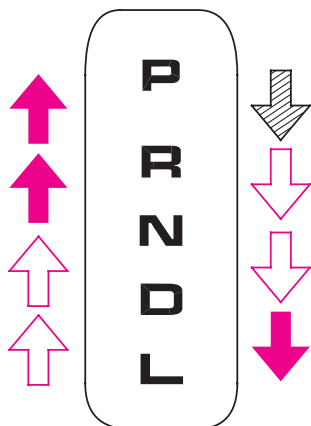


□ー

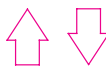
エンジンブレーキが必要なときに使う位置。



●セレクトレバーの動かし方



ブレーキペダルを踏んだまま、ボタンを押してレバーを操作します。



ボタンを押さずにレバーを操作します。



ボタンを押してレバーを操作します。

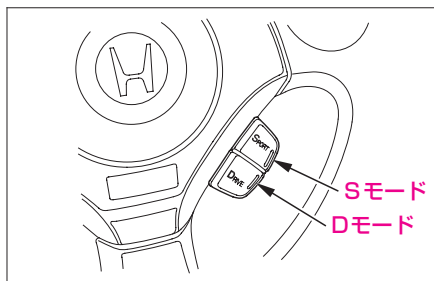
知 識

- セレクトレバーの操作は誤操作防止のため各位置ごとに節度をつけ、確実に行ってください。
- のときは、ボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- エンジンスイッチが“1”または“0”のときは、ブレーキペダルを踏んでもから他の位置に切り換えられません。
- いつもボタンを押して操作すると意に反してに入れてしまうおそれがあります。

の操作は、ボタンを押さずに動かす習慣をつけてください。

●モードの切り換え

セレクトレバーがHのときに、ハンドルのモード切り換えスイッチを押すとモードの切り換えができます。



各モードは、それぞれ次のようなときに使用します。

- S (SPORT)モード
……上り坂、下り坂に使う位置
- D (DRIVE)モード
……通常の走行をする位置

Sモードにすると高回転領域を有効に使用できます。同時に、メーター内のSモード表示灯が点灯します。

Sモード表示灯 →76ページ

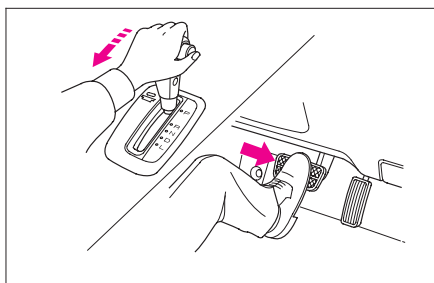
🎓 知 識

- Sモードのときにエンジンスイッチを“I”にすると、自動的にDモードになります。



発進

- ①右足でブレーキペダルを踏んだまま、セレクトレバーを前進はD、後退はRに入れる。



⚠ 注意

- アクセルペダルを踏んだまま、セレクトレバーを操作しないでください。急発進して思わぬ事故の原因になります。

- ②レバーの位置を目で再確認。
 ③パーキングブレーキを解除する。
 ④ブレーキ警告灯が消灯したことを確認。
 (→84ページ)
 ⑤ブレーキペダルを徐々に離して、アクセルペダルをゆっくりと踏む。

🎓 知識

- セレクトレバーをD/R以外に入れると、クリーブ現象により、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。ブレーキペダルを踏んでいてください。
- エンジン始動直後は、自動的にエンジンの回転が上がリ、クリーブ現象が強くなりますので、ブレーキペダルはしっかり踏んでいてください。
- セレクトレバーボタンを押したままブレーキペダルを踏んだ場合、レバーの操作ができないことがあります。先にブレーキペダルを踏んでください。
- オートマチック車は、発進時の速度をアクセル操作のみで調節するので、アクセル操作は慎重に行ってください。

知識

- 万一、ブレーキペダルを踏んでも回から他の位置に切り換えられないときは、エンジンスイッチからキーを抜き、シフトロック解除穴にキーを差し込み、押しながらレバーを操作してください。



坂道での発進

セレクトレバーの位置を目で確認し、

- ・ パーキングブレーキをかけたままブレーキペダルから足を離し、
- ・ アクセルペダルをゆっくり踏んで、
- ・ 車が動き出す感触を確認しながら、
- ・ パーキングブレーキを解除して発進。

知識

- ホンダマルチマチック車は、燃費向上や停車時の振動およびブレーキ踏力の低減のため、前進時はブレーキペダルを踏んでいるときのクリープ力を弱く設定しています。ただし、状況によりクリープ力が変化します。
坂道での発進は必ずパーキングブレーキを併用し、車が後退しないように先にブレーキペダルを離してアクセルペダルに踏みかえてから、パーキングブレーキを解除してください。

坂道発進補助ブレーキシステム

坂道発進時には、ブレーキペダルから足を離しても一時的にブレーキ力を保持し車を下がりにくくする、坂道発進補助ブレーキシステムが装備されています。



走行

走行中はセレクトレバーをDにしないでください。

知 識

- Dにするとエンジンブレーキが全く効かなくなるため思わぬ事故の原因になります。
またDにしても燃費の差はほとんどありません。

通常走行



上り坂走行 下り坂走行



⚠ 注意

- 滑りやすい路面では、急激なエンジンブレーキがタイヤのスリップを招くことがあります。
シフトダウンする際の车速には、十分注意してください。
- フットブレーキを使いすぎると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあります。長い下り坂や急な下り坂では、必ずエンジンブレーキを併用してください。

エンジンブレーキ →24ページ

通常走行

セレクトレバーをDにして走行します。アクセルペダルの踏み加減と走行速度により、低速から高速まで自動的に変速されます。

・モード切り換え

Dのときに、Sモードにすると高回転領域を有効に使用できます。

→112ページ

急加速したいとき

アクセルペダルをいっぱい踏み込むと、キックダウンして急加速します。

上り坂走行

坂の勾配に応じ、Sモードにするか、セレクトレバーをDにしておくと、より力強い走行ができます。

下り坂走行

下り坂をDのまま走行すると、エンジンブレーキの効きが弱く、速度が出すぎてしまうことがあります。このようなときには、Sモードにしてエンジンブレーキを使用してください。

Sモードのままで速度が出すぎるときは、セレクトレバーをDにし、さらに強いエンジンブレーキを使用してください。

停車

①②のままブレーキペダルをしっかりと踏んでおく。

必要に応じてパーキングブレーキをかける。

条件により、オートアイドルストップシステムが作動します。

オートアイドルストップシステムについて →118ページ

アドバイス

- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏んだり、上り坂で②③以外に入れた状態で、アクセルをふかしながら車を停止させたりしないでください。
トランスミッションが過熱し、故障の原因となります。

知 識

- 上り坂での停車はクリープ現象で前へ進もうとする力よりも車が後退しようとする力の方が大きくなり、車が後退することがあります。ブレーキペダルを踏み、パーキングブレーキをかけてください。
- セレクトレバーが②③以外でエアコンスイッチが入っている場合などは、エンジン回転数が断続的に高くなりクリープ現象が強まります。ブレーキペダルを特にしっかりと踏み込んでください。



②停車時間が長くなるときはセレクトレバーをNに入れる。

⚠ 注意

- 停車中、空ぶかしをしないでください。
万一、セレクトレバーがP/N以外
のとき、思わぬ急発進の原因にな
ります。

🎓 知 識

- 停車後、再発進するときは、思い
違いのないようセレクトレバーが
Pにあることを確認してください。
- セレクトレバーがNでもエンジン
が冷えているときは、トランスミ
ッションオイルの粘性により車が
わずかに動き出すことがあります
ので、ブレーキペダルをしっかりと
踏み、必要に応じてパーキング
ブレーキをかけてください。

オートアイドルストップシステムについて

この車には燃費向上のため、信号待ちや渋滞時などに、エンジンが自動的に停止するオートアイドルストップシステムが装備されています。

●エンジンが停止するとき

セレクトレバーをDにして15km/h以上で走行したあとに、ブレーキペダルを踏んだまま停車(約10km/h以下)するとオートアイドルストップシステムが作動し、自動的にエンジンが停止します。

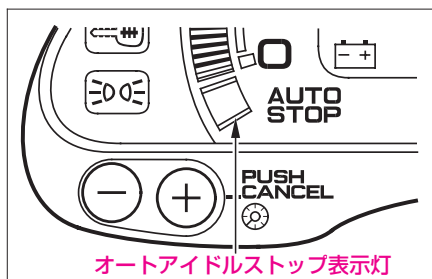
知 識

- 次の場合はエンジンは停止しません。
 - ・ セレクトレバーをR、Nまたは、Sモードで停車したとき
 - ・ エアコンの“**AUTO**スイッチ”または、“フロントデフロスタースイッチ”を**ON**にしているとき(エアコンを使用し、システムを作動させたいときは、“**ECON**スイッチ”を**ON**にしてください。)
- オートエアコン →140ページ
- ・ エンジン水温が低いとき
 - ・ エンジン始動直後
 - ・ ミッションオイルの温度が低いとき
 - ・ IMAバッテリーの残量が少ないとき
 - ・ 電気負荷が大きいとき
 - ・ 外気温が低いとき
 - ・ 急制動(パニックブレーキ)で停車したとき
- オートアイドルストップ状態からのエンジン再始動後に、15km/h以上で走行しなかったときは、再度ブレーキペダルを踏むと1回だけエンジンが停止します。



●オートアイドルストップ表示灯

オートアイドルストップシステムが作動すると、メーター内のオートアイドルストップ表示灯が点灯します。



●オートアイドルストップ作動中警告ブザー

表示灯が点灯しているときに運転席ドアを開けると、ブザーが鳴り同時に表示灯が点滅に変わり、オートアイドルストップシステム状態のままであることを知らせます。

●エンジンが再始動するとき

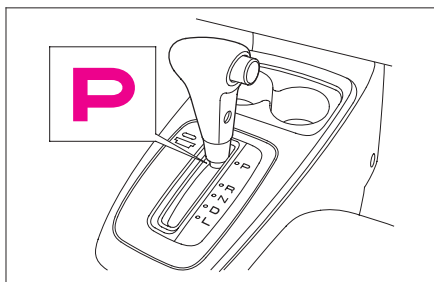
ブレーキペダルを離すと、エンジンが自動的に再始動します。

知 識

- セレクトレバーをPから、R、N、Dに動かしたときは、ブレーキペダルを踏んでいてもエンジンが再始動します。
- アクセルペダルを踏んだときは、セレクトレバーがPでブレーキペダルを踏んでいてもエンジンが再始動します。

駐車

- ①車を完全に止める。
- ②ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキをかける。
- ③セレクトレバーをPに入れる。



🎓 知識

- 駐車の際は、セレクトレバーが必ずPに入っていることを確認してください。セレクトレバーがPのときは、駆動輪が固定されるため、車が動き出す心配がなく安全です。

- ④エンジンを止める。

⚠️ 注意

- エンジンをかけたままにしておくと、万一、セレクトレバーがP以外に入っていたとき、クリープ現象で車がひとりでに動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み急発進するおそれがあります。

🚗 アドバイス

- 車が完全に止まらないうちにPに入れないでください。トランスミッション破損の原因となります。

🎓 知識

- 環境保護のため駐車時にはエンジンを止めましょう。



ほかに気をつけたいこと

⚠ 注意

- セレクトレバーは正しい位置で使用してください。
坂道などで、前進(□、□)の位置にしたまま惰性で後退したり、後退(□)の位置にしたまま前進したりすると、エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドル操作が重くなり、思わぬ事故の原因となるおそれがあります。

車を少し移動させるとき

このような場合でも、正しい運転姿勢をとり、ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

車を後退させるとき

この場合、体をうしろにひねった姿勢になり、ペダルの操作がしにくくなります。ブレーキペダルは確実に踏めるよう注意してください。



3

安全装備

●SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムの

しくみ 124

作動するとき 126

作動しないとき 127

SRSエアバッグシステムの

効果を十分に発揮させる

ために 128

お子さまを乗せるときは 129

取り扱いについて 130

●シートベルト

プリテンショナー

シートベルトプリテンショナー

のしくみ 132

取り扱いについて 133

●アンチロックブレーキシステム (ABS)

ABSのしくみ 134

運転のしかた 134

取り扱いについて 135

●その他の安全装備 136

SRSエアバッグシステム (運転席／助手席用シートベルト補助乗員保護装置)

SRSエアバッグシステムのしくみ

●SRSエアバッグシステムとは

前方向からの衝突により、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和する装置です。

**SRSエアバッグシステムはシートベルトに代わるものではありません。
必ず、シートベルトを着用してください。**

⚠ 警告

- SRSエアバッグシステム装備車であっても、必ずシートベルトを着用してください。
シートベルトを正しく着用し、正しい乗車姿勢をとらないと衝突などのときSRSエアバッグの効果が十分に発揮されず、重大な傷害や死亡などの危険性が高くなります。

*SRS：サプリメンタルレストレイントシステム(Supplemental Restraint System)の略でシートベルトの補助拘束装置の意味

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃(正しくシートベルトを着用していてもハンドルに顔面があたり、けがをするような場合)を感知するとシステムが作動し、SRSエアバッグが膨らんで運転者および助手席同乗者の顔面への衝撃を緩和します。

⚠ 注意

- SRSエアバッグが膨らんだ直後は、SRSエアバッグ構成部品に触れないでください。
構成部品が熱くなっているため、やけどなど思わぬけがをすることがあります。



知識

- 車体が衝撃を十分に吸収できた場合、システムは作動しません。
- SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため、**SRSエアバッグ**との接触によりすり傷、やけど、打撲などを受けることがあります。
- 膨らんだ**SRSエアバッグ**はすぐにしぼみます。視界を妨げません。
- SRSエアバッグが膨らむと白煙が出ますが、火災ではありません。また、人体への影響もありません。ただし、残留物(カスなど)が目や皮膚などに付着したときには、できるだけ早く水で洗い流してください。
皮膚の弱いかなどは、まれに皮膚を刺激することがあります。
- SRSエアバッグは一度膨らむと再使用できません。
Honda販売店で交換してください。

運転席用SRSエアバッグシステム

作動時



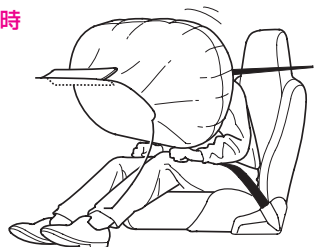
作動後



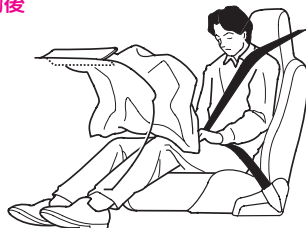
助手席用SRSエアバッグシステム

助手席用**SRSエアバッグシステム**は、同乗者がいなくても作動します。

作動時



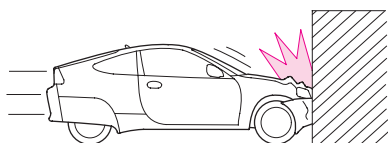
作動後



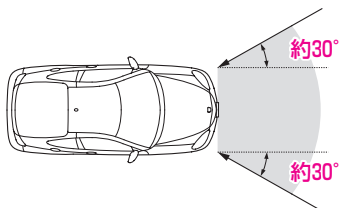
作動するとき

次のような場合に作動します。

20～30km/h以上の速度で、きわめて厚い固定されたコンクリートの壁に真正面から衝突したときと同等か、それ以上の衝撃を受けたとき



車両の前方左右約30度以内の方向から強い衝撃を受けたとき

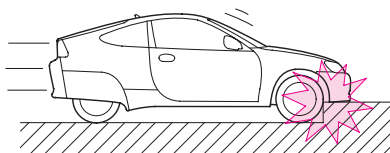


知識

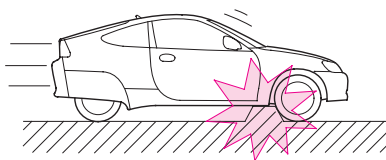
- 衝撃を吸収できる物(車やガードレールのように変形する物)に衝突した場合、SRSエアバッグが作動するときの速度(車速)は高くなります。

次のような場合、車両下部に強い衝撃を受けたとき作動することがあります。車両に衝撃を受けないように十分に速度を落とし障害物をさけて走行してください。

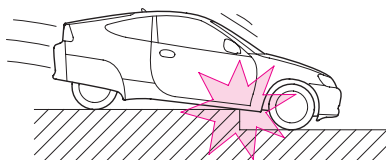
縁石などに衝突したとき



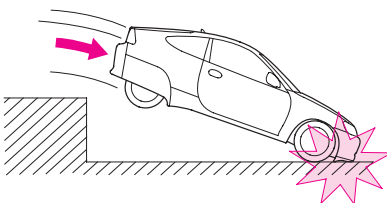
突起物などに衝突したとき



深い穴や溝などに落ちたとき



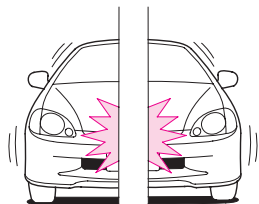
高いところから落ちたとき



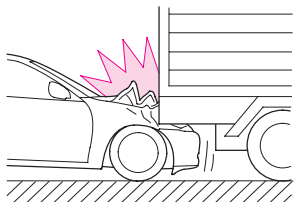


衝突の位置、衝撃の度合い、角度によって、作動しないことがあります。

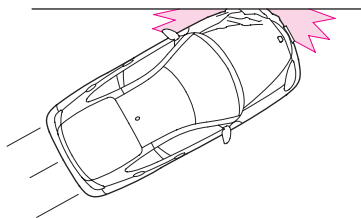
電柱、立木などへの衝突



トラックなどへの潜り込み



部分的な衝突や斜め方向からの衝突



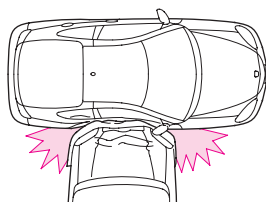
知 識

- 車体の部位によって衝撃の吸収度合いが異なりますので、損傷状態の大小とSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

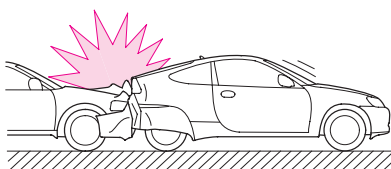
作動しないとき

シートベルトだけで乗員を保護できるような低い速度での衝突や次のような場合、乗員保護の効果が無いので作動しません。

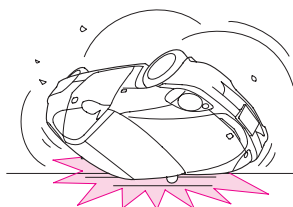
横方向からの衝突



後部からの衝突



横転または転覆



知 識

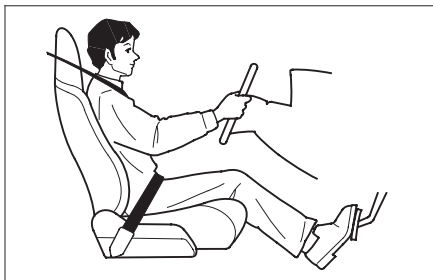
- 事故の状況、形態によっては、SRSエアバッグが作動することがあります。

SRSエアバッグシステムの効果を十分に発揮させるために

●正しい乗車姿勢で

運転席

正しい運転姿勢（シートに深く腰かけた状態で、背もたれから背を離すことなくペダルを十分に踏み込み、ハンドルが楽に操作できる状態）がとれる範囲で、シートを後ろに下げます。

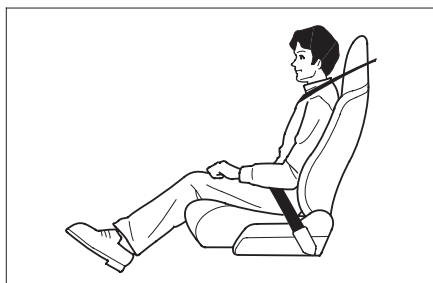


⚠ 警告

- ハンドルに顔や胸などを近づけていると、SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。

助手席

シートを後ろに下げて深く腰かけ、背中を背もたれから離さないようにします。



⚠ 警告

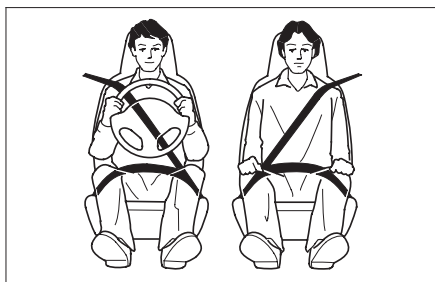
- インストルメントパネルに顔や胸などが近づかないようにシートを後ろに下げてください。また、インストルメントパネルに手や足を置かないでください。

SRSエアバッグが膨らむ際、強い衝撃を受け、重大な傷害を受けるおそれがあります。



●シートベルトは必ず着用

このシステムは、シートベルトと併用することでその効果を発揮します。必ず、シートベルトを着用してください。



お子さまを乗せるときは

お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。

正しく着用できない小さなお子さまは、体格に合わせてチャイルドシートをお使いください。

●チャイルドシートの取り付けについて

⚠ 警告

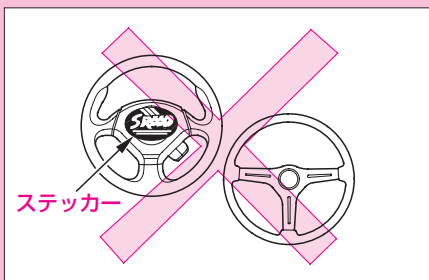
- 助手席には乳児用シートを取り付けないでください。また、幼児用シートを後ろ向きに取り付けないでください。**SRS**エアバッグが膨らむ際、乳児用シートや、幼児用シートの背面に強い衝撃を受け、重大な傷害を受けたり、死亡するおそれがあります。

- ・やむをえず幼児用シートを前向きに取り付ける場合は、**SRS**エアバッグから遠ざけるため、シートを一番後ろに下げてください。
- ・乳児用シート、幼児用シート（後ろ向き装着）が必要なお子さまと一緒に乗るときは、これらのシートを取り付けられる別の車をお使いください。

取り扱いについて

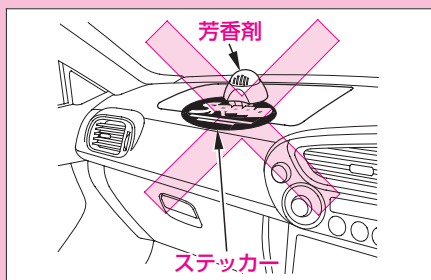
⚠ 注意

- **SRSエアバッグ**の取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱うと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。
- ハンドルを交換したり、パッドにステッカー類を貼ったりすると正常に機能しなくなります。



- インstrumentパネル上面にステッカー類を貼ったり、アクセサリや芳香剤など物を置かないでください。
フロントガラスにアクセサリなどを取り付けたり、ルームミラーにワイドミラーを取り付けたりしないでください。

また、**SRSエアバッグ**と乗員との間にテレビなどの用品を取り付けたり、物を置いたりしないでください。
正常に機能しなくなったり、作動時にこれらの物が飛ぶことがあります。



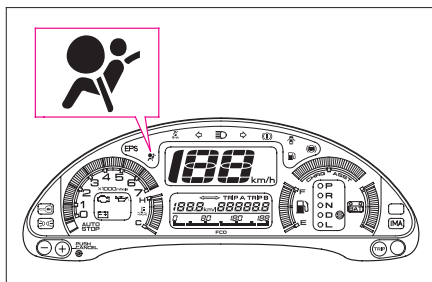


知識

- ハンドルまわり、インストルメントパネルまわりやセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよびダッシュボード周辺の板金塗装および修理をする場合は、SRSエアバッグシステムに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずHonda販売店にご相談ください。
- SRSエアバッグシステム装備車を廃棄するときは必ずHonda販売店にご相談ください。正しく取り扱わないとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。
- サスペンションの改造をしないでください。車高やサスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながります。(Honda純正品を除く)

●SRSエアバッグシステム警告灯

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
必要なときにSRSエアバッグが膨らまないおそれがあります。

シートベルトプリテンショナー

シートベルトプリテンショナーのしくみ

●シートベルト プリテンショナーとは

前方向からの衝突により、シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高める装置です。

SRSエアバッグシステムと同じ条件で作動します。

SRSエアバッグシステム →124ページ

●どのように作動するか

エンジンスイッチが“II”のとき、前方向からの衝突により、センサーが一定以上の衝撃を感知するとシステムが作動し、シートベルトを瞬間的に引き込み、シートベルトの拘束効果をいっそう高めます。



⚠注意

- シートベルトを着用するときは、必ず次のことを守りください。守らないとプリテンショナーが十分に効果を発揮しません。

- ・シートベルトを正しく着用してください。

シートベルト →58ページ

- ・正しい運転(乗車)姿勢をとってください。

正しい運転姿勢 →52ページ

🎓知識

- シートベルトプリテンショナーは一度作動すると、再使用できません。作動すると、シートベルトを引き出すことも巻き取ることもできなくなります。Honda販売店で交換してください。

なお、シートベルトを着用していなくても作動しますので、助手席側も同時に交換してください。



取り扱いについて

⚠ 注意

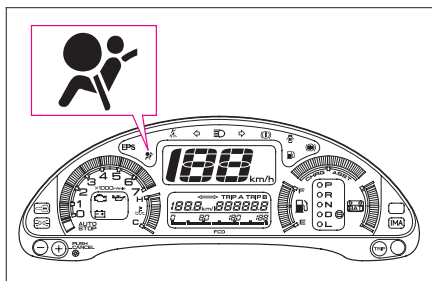
- シートベルト引き込み装置の取り外し、分解などはしないでください。
不適切に扱うと誤って作動したり、正常に機能しなくなります。

🎓 知識

- シートベルト引き込み装置やセンターコンソール付近の修理、オーディオ等用品の取り付けおよび修理をする場合は、プリテンショナーに影響を及ぼすおそれがありますので、必ずHonda販売店にご相談ください。
- シートベルトプリテンショナー装備車を廃棄するときは、必ずHonda販売店にご相談ください。正しく取り扱わないとプリテンショナーとSRSエアバッグシステムが思いがけなく作動することがあります。

● SRSエアバッグシステム警告灯 (エアバッグシステムとシートベルトシステム警告灯兼用)

メーター内に組み込まれており、SRSユニットがシステムの異常を検出すると点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたときに約6秒間点灯して消えるのが正常です。

🚗 アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・ 運転中に点灯したとき
 - ・ エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは約6秒経過しても消灯しないとき
必要なときにシートベルトが引き込まれないおそれがあります。

アンチロックブレーキシステム (ABS)

ABSのしくみ

●ABSとは

急制動や滑りやすい路面で制動するとき、車輪のロックを防止することで車両の姿勢を安定させ、ハンドルの効きを確保しようとする装置です。

●作動について

- ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが作動しているときの現象で異常ではありません。そのまま、ブレーキペダルを強く踏み続けてください。



- 低速(車速約10km/h以下)ではABSは作動せず、普通のブレーキと同じ作動になります。

📖 知識

- エンジン始動後、最初の発進時に、エンジンルームからモーター音等が聞こえることがありますが、これはシステムの動作チェックをしている音で異常ではありません。

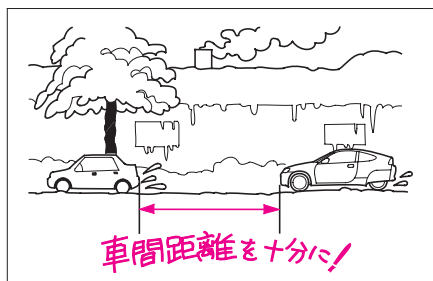
運転のしかた

- この装置は制動距離を短くするためのものではありません。ABSを装備していない車両と同様に、路面が滑りやすくなるほど長い制動距離が必要になります。

また、ABSが作動した状態でも車両の姿勢やハンドルの効きには限界がありますので、ハイドロプレーニング現象が起こりやすい雨天時の高速走行などにおいても過信せず、安全運転に心がけてください。

- 悪路、砂利道、深い新雪などの路面では、ABSの装備されていない車両に比べて制動距離が長くなることがあります。

このような道路条件では速度は控えめにして車間距離を十分にとって運転してください。





取り扱いについて

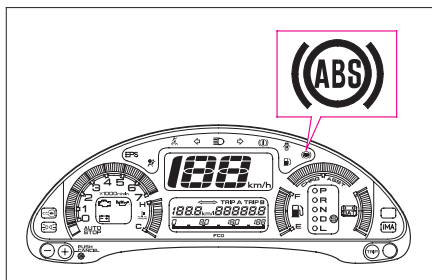


知識

- タイヤは必ず四輪とも同一指定サイズのものをお使いください。サイズ(外径)の異なるタイヤを混用すると、ABSが正常に機能しなくなることがあります。

●アンチロックブレーキシステム (ABS) 警告灯

メーター内に組み込まれており、ABSが異常のときに点灯します。



エンジンスイッチを“II”にしたとき点灯し、数秒後に消灯するのが正常です。また、運転中に数秒間点灯してもすぐ消灯し、その後走行中に点灯しなければ正常です。



アドバイス

- 警告灯が次のような状態になったときは、システムの異常が考えられますので、すみやかにHonda販売店で点検を受けてください。
 - ・運転中に点灯したとき
 - ・エンジンスイッチを“II”にしても点灯しないとき、あるいは数秒経過しても消灯しないとき
 なお、この場合でも通常のブレーキとしての性能は確保されています。(ABSとしての作動はしません)

その他の安全装備

ほかに、次のような安全装備を採用しています。

●シフトロック装置

セレクトレバーの誤操作防止を助けます。
(→29ページ)

●ハイマウントストップランプ

ストップランプを高い位置にも設置し、後方から見えやすくしています。

●シートベルトリマインダー (非着用警報装置)

シートベルトの未着用をランプとブザーで知らせ、ベルトの着用を促します。
(→60ページ)

●ブレーキアシスト

緊急制動時に、より大きい制動力を発生させ運転者のブレーキ操作を補助する装置です。
ブレーキペダルを強く踏み込んだときに、ブレーキがより強く効くようになります。

●ドアビーム

側面から外力が加わったときに、ドアの変形を抑える効果があります。

●ロールオーバーバルブ

車が転倒したとき、燃料タンクからの燃料流出を防止します。

●難燃性材料使用の内装

フロアカーペットやシートなどには、燃え広がりにくい素材を採用しています。

●リヤワイパー

注文装備

雨天時の後方視界の確保に効果があります。

(→96ページ)

4

ドライブを快適にする装備

●エアコン

吹き出し風の調節 139

オートエアコン 140

●オーディオ

上手な使いかた 146

アンテナ 149

●室内装備品

室内灯 150

マップランプ 150

カーゴルーム照明灯 151

小物入れ 151

アクセサリースOCKET 152

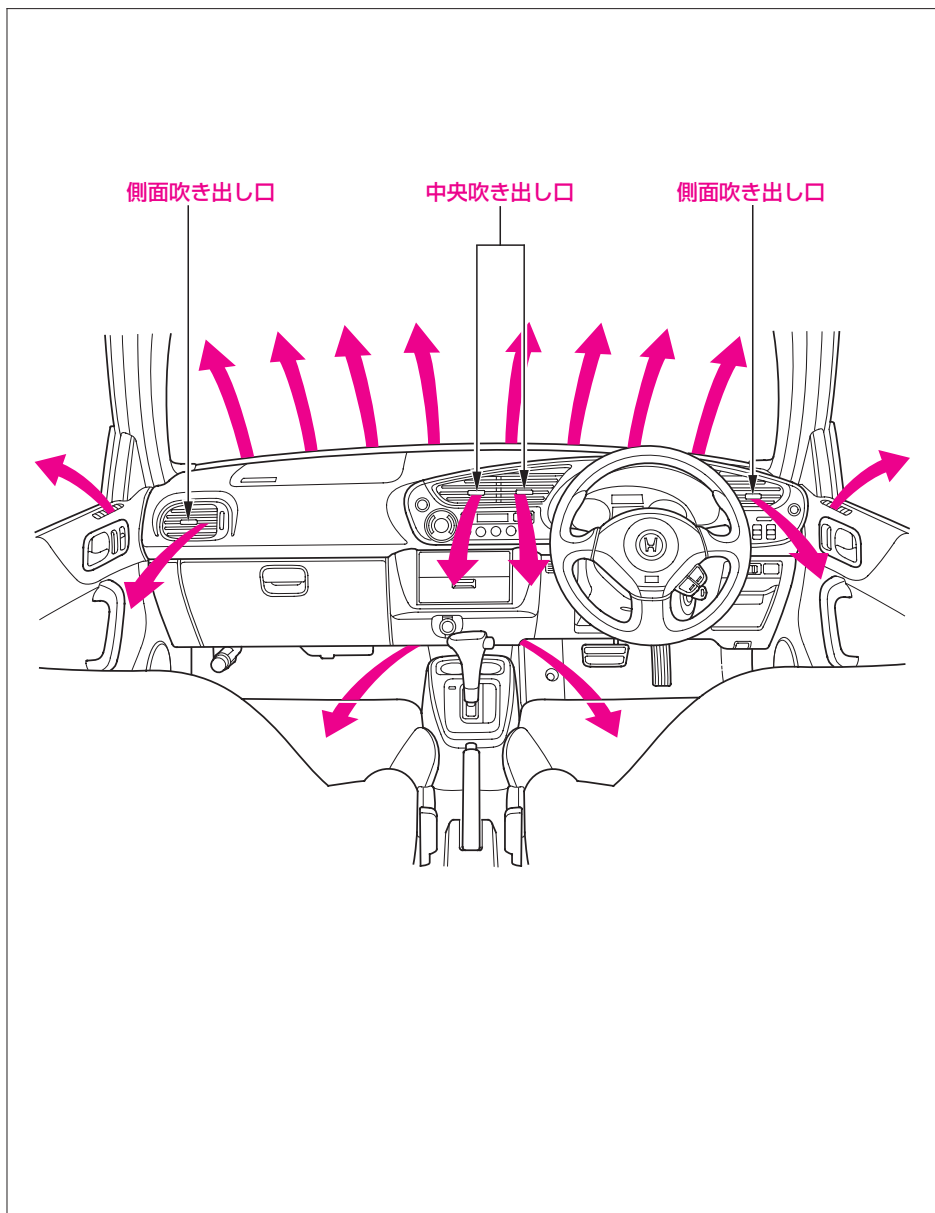
サンバイザー 153

カップホルダー 153

カーゴフック 154

パーソナルボックス 154

エアコン

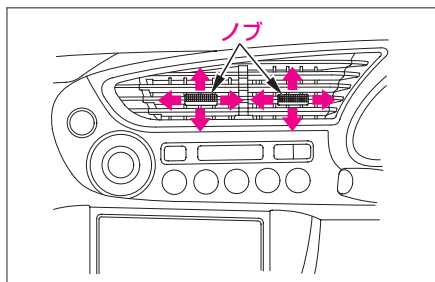




吹き出し風の調節

ノブを上下または左右に動かして、吹き出し風の向きを調節します。

中央吹き出し口

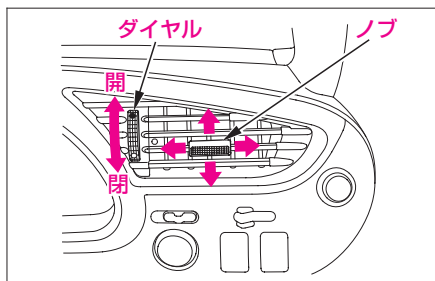


側面吹き出し口

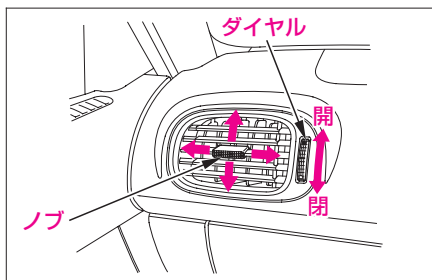
側面の吹き出し口の開閉は、ダイヤルで行います。

送風が必要なときは、ダイヤルを“開”のほうに回します。

・運転席側



・助手席側



知識

- 側面ガラスが曇ったときは、吹き出し風がガラスに直接当たるよう両側の吹き出し口の向きを調節すれば、より早く曇りを取ることができます。

オートエアコン

●オートエアコンを使うとき

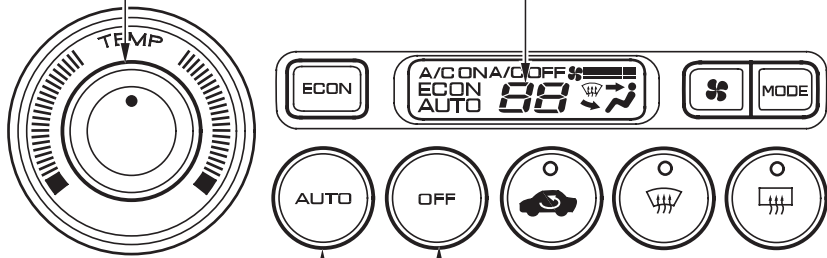
エンジンをかけた状態で使います。

温度調節ダイヤル

ダイヤルを回して温度を調節します。
温度を上げるとき…右へ回します。
温度を下げるとき…左へ回します。

温度表示

設定温度を表示します。
表示温度は室温設定時の目安となります。



AUTOスイッチ

スイッチを押すと、オートエアコンが作動します。(表示部に“**AUTO**”が点灯)
風量、吹き出し口や内外気の切り換え、エアコンの“ON/OFF”などが自動制御されます。

OFFスイッチ

スイッチを押すとエアコン、ファンの作動が停止します。



通常の使いかた

- ①AUTOスイッチを押します。
- ②温度調節ダイヤルで室内の温度を設定します。

停止するときは“OFF”スイッチを押します。

知 識

- AUTOスイッチを押してオートエアコンを作動させているときは、オートアイドルストップシステムは作動しません。
オートアイドルストップシステムを作動させるときは、ECONスイッチを押してください。

ECONスイッチ →142ページ

オートアイドルストップシステムについて

マニュアル車 →103ページ

オートマチック車 →118ページ

- 外気温によっては、冷風の吹き出しを防ぐため、オートエアコン作動後一定時間ファンが回転しないことがあります。
- 希望温度に設定したら、温度調節ダイヤルをむやみに動かさないでください。設定温度への到達時間が長くなることがあります。
- 長時間、冷風を直接体に当てないでください。冷やしすぎは健康上良くありません。
- 炎天下に駐車していたときは、窓を開けて熱気を追い出しながら、冷房を開始してください。

●マニュアルで使うとき

ECON(エコノ)スイッチ

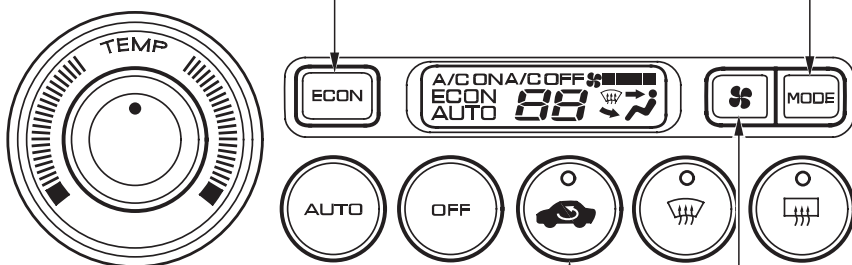
スイッチを押すと表示部に“ECON”が点灯し、オートアイドルストップシステムの作動条件を満たしたときに、エンジンとエアコンが停止します。また、スイッチを押すたびにエアコンの“ON”“OFF”が切り換わります。

表示部に、“A/C ON”“A/C OFF”が表示されます。

冷房や除湿暖房をするときは“ON”にします。

MODEスイッチ

スイッチを押すたびに吹き出し口が切り換わり(右ページ参照)、それぞれの表示灯が点灯します。



内外気切り換えスイッチ

スイッチを押して外気導入(表示灯消灯)と内気循環(表示灯点灯)を切り換えます。

トンネルや渋滞地域などで汚れている外気を室内に入れたくないときは、内気循環にします。

ファンスピード切り換えスイッチ

スイッチを押すたびに切り換わり、それぞれの表示灯が点灯します。

最強	■ ■ ■ ■ ■
強	■ ■ ■ ■ ■
中	■ ■ ■ ■ ■
弱	■ ■ ■ ■ ■
風量	表示灯



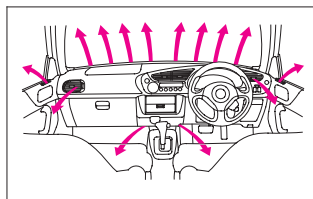
各スイッチを組み合わせることで使うことができます。

“AUTO”（自動）で使用中でも押したスイッチの機能が優先されます。このとき“AUTO”の作動表示灯は消えますが、押したスイッチの機能以外は自動制御されます。

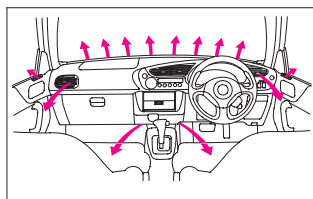
“AUTO”（自動）に戻すときは、AUTOスイッチを押します。

MODEスイッチ

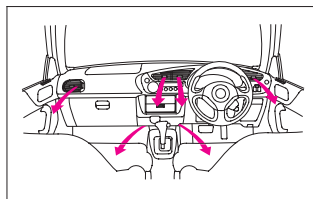
足元への送風と窓ガラスの曇りを取りたいとき



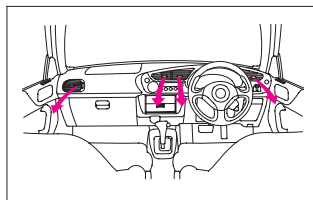
足元に送風したいとき



上半身、足元に送風したいとき



上半身に送風したいとき

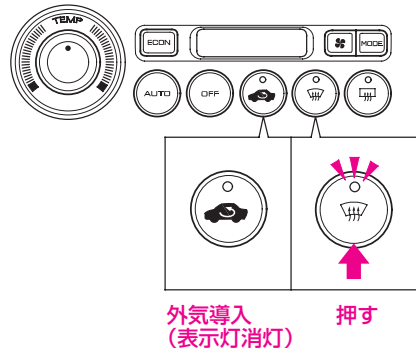
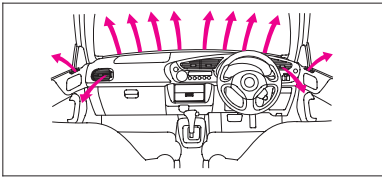


●前面／側面ガラスの霜や曇りを取りたいとき(デフロスター)

フロントデフロスタースイッチを押します。

フロントデフロスタースイッチ

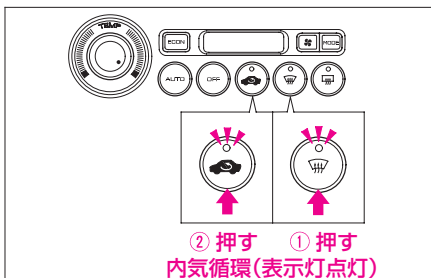
ガラスの曇り取りなどに使用します。スイッチを押すと自動的にエアコンが作動し、外気導入に切り換わります。また、吹き出し口が前面および側面ガラスに切り換わります。フロントデフロスタースイッチを入れたら、オートアイドルストップシステムは作動しません。



知識

- デフロスタースイッチを入れているときは、設定温度を最大冷房付近にしないでください。冷風が前面ガラスにあたるとガラスの外側が曇ることがあり、視界の妨げになります。

急速に霜を取りたいとき



知識

- 内気循環で使い続けると車内の湿気で窓ガラスが曇り、視界の妨げになります。一度霜を取った後は外気導入で使ってください。



●エアコンを常用しないとき

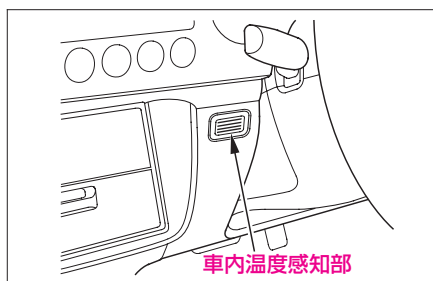
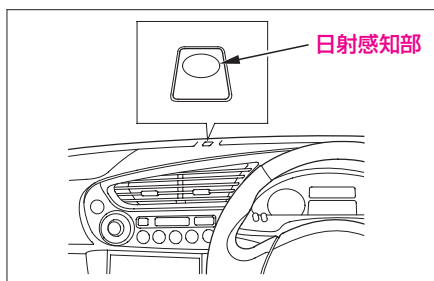
装置各部のオイルをさらさないために、ときどきエンジンを低回転させた状態で数分間冷房または除湿暖房をしてください。

知 識

- 室内の温度が低い場合は、エアコンが作動しないことがあります。このような場合には、内気循環で室内を暖めてからECONスイッチを押して“A/C ON”にすると作動します。

●温度感知装置

オートエアコンには、温度感知装置などのセンサーがついています。日射感知部や車内温度感知部の上に物を置いたり、水をかけたりしないでください。車内温度が設定温度とずれることがあります。



●エアクリンフィルター

エアコンには、花粉・空気中のちり・ほこり・粉じん等を集じんするエアクリンフィルターが取り付けられています。

エアクリンフィルターの交換は、通常1年または15,000kmごとに、Honda販売店で行ってください。

ただし、使用条件により異なりますので粉じんの多い場所などでは、早めの交換をおすすめします。

- ・エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときなどは、フィルターの目詰まりが考えられます。

Honda販売店で点検を受けてください。

知 識

- グローブボックスの内側に交換時期が記載してあります。

オーディオ

上手な使いかた

知識

- 運転中の音量は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では安全運転の妨げとなります。また、運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。
- 車内や車の近くで携帯電話や無線機を使うとオーディオに雑音が入ることがあります。

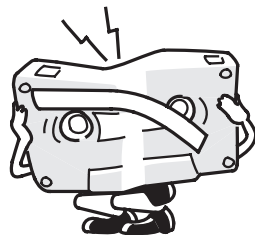
●ラジオについて

ラジオの受信については、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により最適な受信状態を維持することが困難な場合があります。

●カセットについて

次のようなカセットテープは、故障の原因になりますので、ご使用はお避けください。

- ・ラベルがはがれかけていたり変形したカセットテープを使用すると、回転不良を起こしたりテープが取り出せなくなる場合があります。



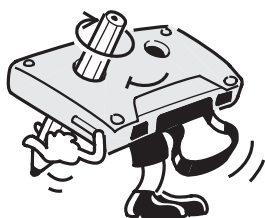
- ・120分以上のテープは非常に薄いため、伸びたり、プレーヤーに巻き付いたりする場合があります。

カセットテープは、変形したり録音が消えてしまわないようにほこり、直射日光や磁気のあるものの近くを避けてケースに入れ保管してください。





カセットテープは、プレーヤーにテープが巻き込まれたりしないように鉛筆などでたるみをとってから差し込んでください。



音が歪んだり高音が出にくくなった場合は、市販のクリーニングテープなどでプレーヤーの手入れをしてください。

●CD/MDについて

ディスクの変形を避けるため、直射日光や高温多湿を避けてケースに入れ保管してください。

悪路走行などで激しく振動した場合、音とびすることがあります。

寒いときや雨降りのときは、プレーヤー内部に露(水滴)が生じ、正しく作動しなくなることがあります。その場合、ディスクを取り出し、換気または除湿をしてからお使いください。

CD

ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、音とびなどをすることがあります。

下記マークのついていないディスクおよび円形以外のディスクは使えません。

・オーディオトラック

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

・MP3/WMAトラック(ファイル)

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
Recordable

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
ReWritable

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
Recordable

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO
ReWritable

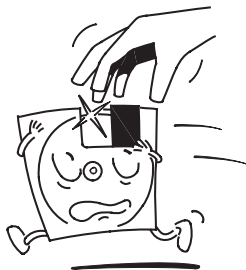
🎓 知 識

- ディスクは必ず円形のものをお使いください。円形以外のディスクを使用すると故障の原因となります。

MD

シャッターを無理にあけないでください。
こわれることがあります。

また、ディスクの信号面は直接手で触れないでください。指紋等の汚れが付くと、
音とびなどをすることがあります。

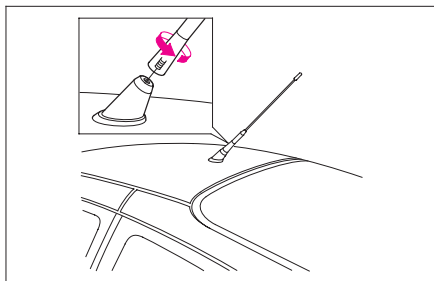




アンテナ

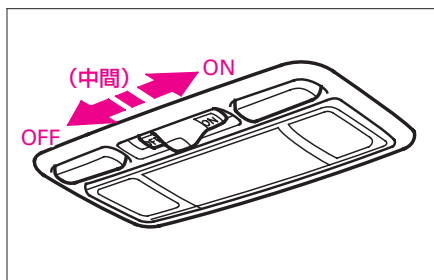
●センターアンテナ

自動洗車機を使う場合や屋根の低い場所などでは、アンテナを外してください。



室内装備品

室内灯



“ON”

ドア、テールゲートの開閉に関係なく点灯します。

(中間)

ドア、テールゲートを開けると点灯し、閉めると消灯します。
また、キーレスエントリーを使って解錠したときにも点灯し、その後消灯します。

“OFF”

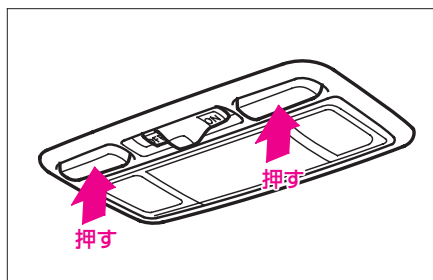
ドア、テールゲートの開閉に関係なく消灯します。



知 識

- 点灯中に運転席ドアを施錠したときはすぐ消灯します。

マップランプ

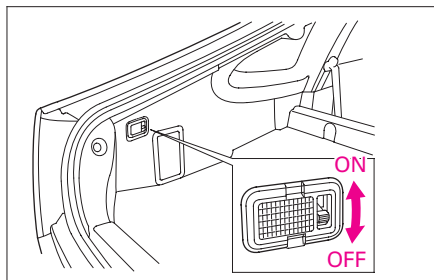


スイッチを押すと点灯し、もう一度押すと消灯します。

夜間、車を止めて地図などを見るときに便利です。



カーゴルーム照明灯



“ON”

ドア、テールゲートを開けると点灯し、閉めると消灯します。

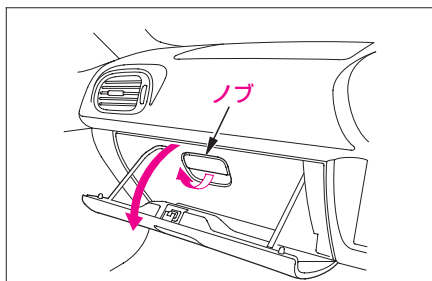
“OFF”

ドア、テールゲートの開閉に関係なく消灯します。

小物入れ

●グローブボックス

ノブを引くと開きます。

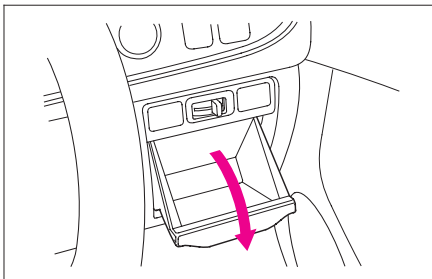


⚠ 警告

- 走行中は、グローブボックスのフタを必ず閉めてください。グローブボックスのフタが開いていると、衝突したときなどにフタにぶつかったり、内部の物がとび出したりして思わぬ事故につながります。

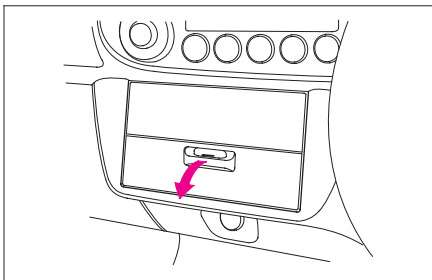
●コインポケット

フタを下げると開きます。小銭を入れておくと有料道路の料金所などで便利です。



●ラジオポケット

フタを下げると開きます。



アクセサリースOCKET

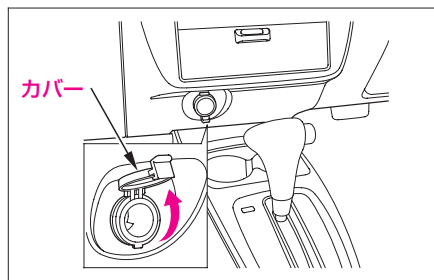
エンジンスイッチが“I”または“II”のときだけ使えます。



カバーを開けて使用します。

Honda純正の電気製品の電源を取り出すのに使用します。

(消費電力120W [12ボルト、10アンペア] まで使用できます。)



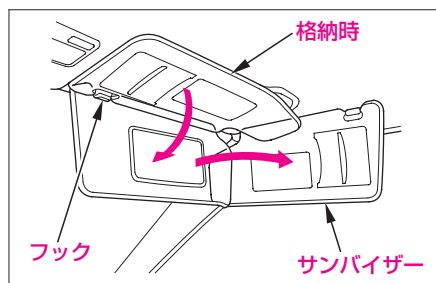
知 識

- Honda純正品以外の電気製品の電源を取り出さないでください。バッテリーあがりやアクセサリースOCKETの損傷の原因となります。
- バッテリーあがりを防ぐため、エンジンがかかっている状態でご使用ください。
- シガレットライターは差し込まないでください。発熱するおそれがあります。
- アクセサリースOCKETを使わないときは、異物の侵入を防ぐためカバーを閉めてください。



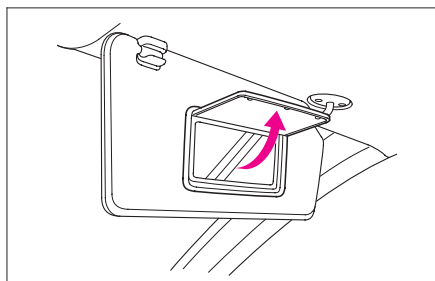
サンバイザー

サンバイザーを横にするときは、フックから外して行います。



●バニティミラー(化粧鏡)

運転席のサンバイザーに鏡があります。お化粧のときなどに便利です。



カップホルダー

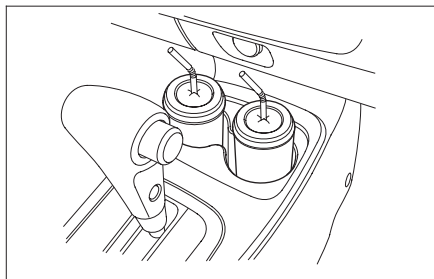
カップなどを置くときに使います。

⚠ 注意

- オーディオやスイッチなどの電装品に飲み物などをこぼさないように注意してください。故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあります。万一、電装品に飲み物をこぼしたときは、Honda販売店にご相談ください。

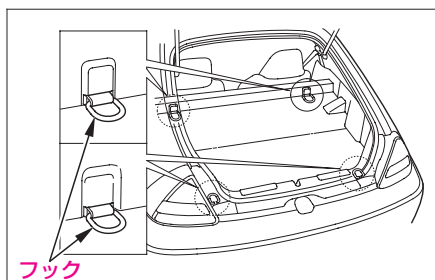
🎓 知識

- ドアの開閉や走行中の振動、車の動きなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物などはやけどのおそれがありますので注意してください。



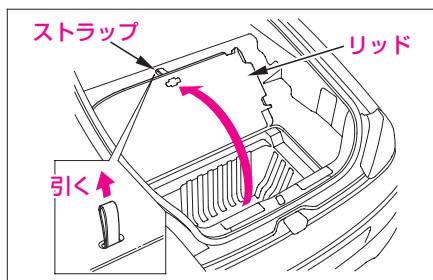
カーゴフック

荷物を固定するときに使います。



パーソナルボックス

ストラップを引いて、リッドを開きます。



知 識

- パーソナルボックスのふたの上に
乗ったり、重い物を置くなど無理
な力かけないでください。破損
などの原因となります。

5

万一のとき

●工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所	156
工具の種類	157
発炎筒について	157

●故障したとき

踏切で動けなくなったとき	158
高速道路で故障したとき	158
道路で動けなくなったとき	159
故障の修理について	159

●事故が起きたとき

●けん引

けん引されるとき (ロープによるけん引)	162
動けなくなったとき	165

●パンクしたとき

ジャッキの取り扱い	166
応急用スペアタイヤ	168
パーソナルボックスの収納	169
リヤホイールスカート	170
タイヤ交換	172

●オーバーヒートしたとき

	178
--	-----

●電気系統が異常のとき

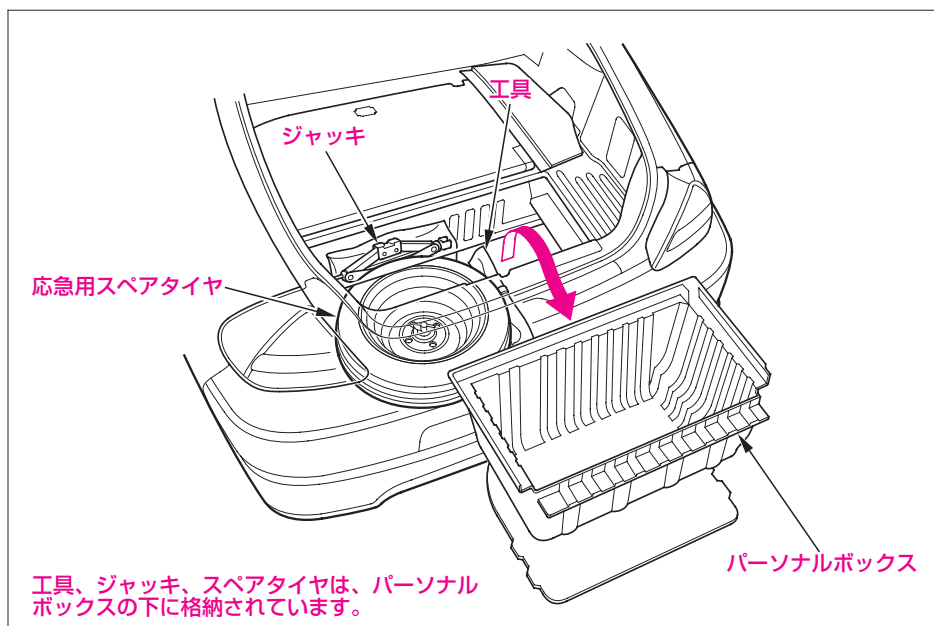
バッテリー(12V)	
あがりのとき	180
ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき	182

* 全国のHonda販売店およびJAFの電話番号は別冊の「サービス網一覧」に記載してあります。

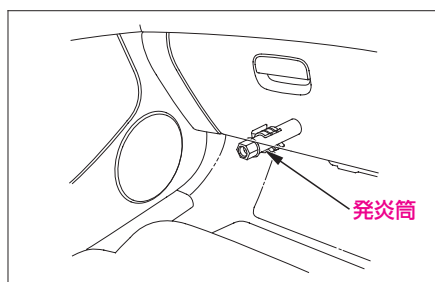
工具・スペアタイヤ・発炎筒

格納場所

●工具・スペアタイヤ



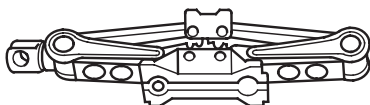
●発炎筒



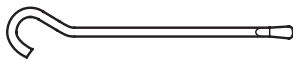
発炎筒は助手席足元にあります。



工具の種類



ジャッキ

ホイールナットレンチ
(兼ジャッキハンドル)アイボルト
(けん引用)

ジャッキハンドルバー

知 識

- 工具の種類、ジャッキ、発炎筒の使いかたなどは万一のとき困らないようあらかじめ確かめておきましょう。
- スペアタイヤ、ジャッキは走行中動かないように、所定の位置にしっかり固定してください。
- 高速道路で故障などにより停止するときは、停止表示器材による表示義務がありますので、停止表示板などを常時携帯するようにしましょう。

発炎筒について

高速道路、踏切などの危険な場所で故障したときに使います。発炎筒に記載されている次のことをよく読んであらかじめ確認しておいてください。

- ・ 使いかた
- ・ 使用上の注意
- ・ 発炎時間
- ・ 有効期限

警告

- ガソリンなどの燃えやすい物のそばでは使わないでください。火災や爆発のおそれがあります。

注意

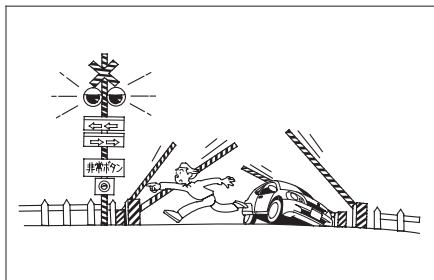
- お子さまにいじらせないでください。いたずらなどにより発炎筒が発火して思わぬ事故ややけどの原因になります。
- 発炎筒を使うとき顔や身体に向けてやけどなどをすることがあるのでやめください。
- トンネル内では視界を悪くするので使用しないでください。トンネル内では非常点滅表示灯を使ってください。

故障したとき

車を路肩に停め、非常点滅表示灯を点滅させます。必要に応じて停止表示板(または停止表示灯)、発炎筒を使い、後続する車に故障車とわかるようにします。

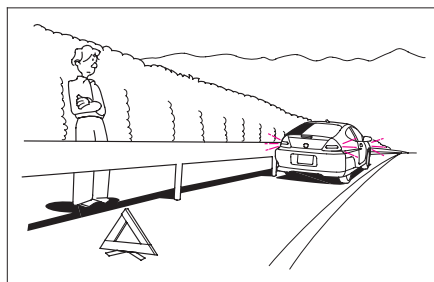
踏切で動けなくなったとき

脱輪などで踏切内で動けなくなったときは、踏切の非常ボタンを押してください。非常ボタンがわからず、緊急を要するときは、発炎筒で合図をしてください。



高速道路で故障したとき

車を路側帯に寄せ、非常点滅表示灯を点滅させ、車両後方に停止表示板(または停止表示灯)を置いて表示してください。法律で義務づけられています。

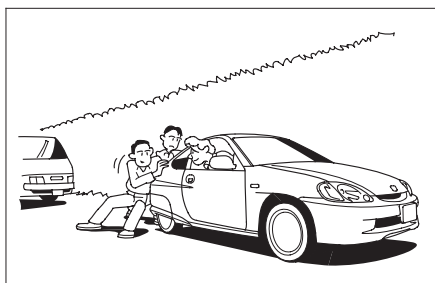


人は車からおりて、安全な場所に避難してください。



道路で動けなくなったとき

一般道路で動けなくなったときは、付近の人に安全な場所まで押してもらってください。



知識

- マニュアル車、オートマチック車ともにスターターを回して車を動かすことはできません。

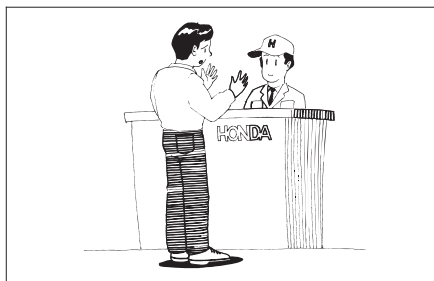
クラッチ・スタートシステム

マニュアル車

→99ページ

故障の修理について

Honda販売店へお申しつけください。



お持ちこみいただければ、簡単なものはその場で修理いたします。長くかかるものは、予定をお知らせします。

お持ちこみのむずかしいときには電話でご連絡ください。

遠出などのときは全国どこでもHonda販売店へご連絡ください。

Honda販売店およびJAFの電話番号については別冊の「サービス網一覧」をご覧ください。

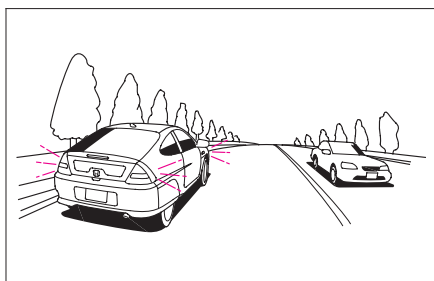
事故が起きたとき

あわてずに次の処置をとります。
「インサイトを正しく理解していただくために」の「事故が起きたとき」も合わせてお読みください。

→15ページ

1 事故の続発を防ぐ。

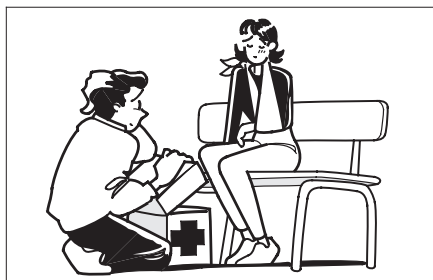
他の交通の妨げにならないような安全な場所(路肩、あき地など)に車を移動させ、エンジンスイッチを“0”にします。



2 負傷者がいる場合は、応急手当を行う。

医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行います。

この場合、とくに頭部に傷などがあるときは、そのままの姿勢で動かさないようにしますが、後続事故の心配があるときは安全な場所に移動させます。



知 識

- 外傷がなくても医師の診断を受けましょう。後になってから後遺症が出るおそれがあります。



3 警察へ連絡する。

事故が発生した場所、状況、負傷者や負傷の程度などを警察官に報告し、指示を受けます。



4 相手方、事故の状況をメモする。

5 ご購入された販売店や保険会社へ連絡する。

けん引

けん引は専門業者に依頼し、できるだけ四輪または前輪を持ち上げて行ってください。



アドバイス

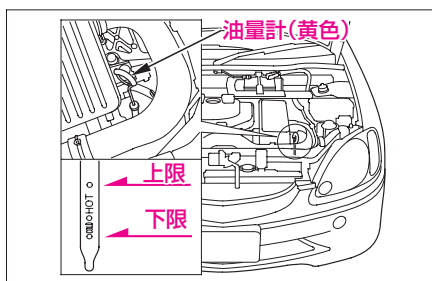
- 車輪が動かないときなど動力伝達装置に異常があると思われるときは、必ず四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。

けん引されるとき (ロープによるけん引)

やむをえず四輪を接地させてロープでけん引を行う場合は、次の方法で行ってください。

① オートマチック車

トランスミッションオイルの量が目盛りの上限と下限の間にあるかを点検します。



下限より下がっている場合は、四輪または前輪を持ち上げてけん引してください。

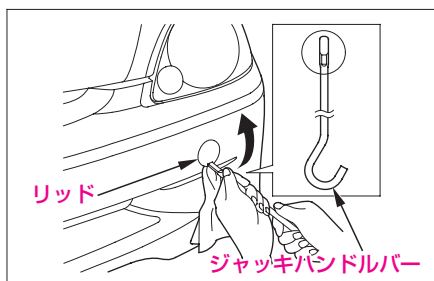


- ②カーゴルームのパーソナルボックスの下から工具袋を取り出します。

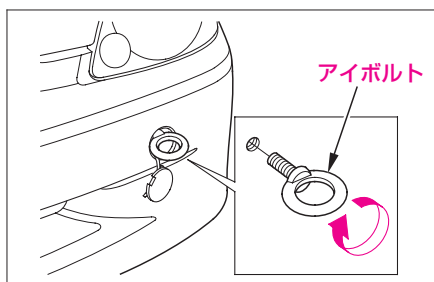
格納場所 →156ページ

- ③工具袋からジャッキハンドルバーとアイボルトを取り出します。

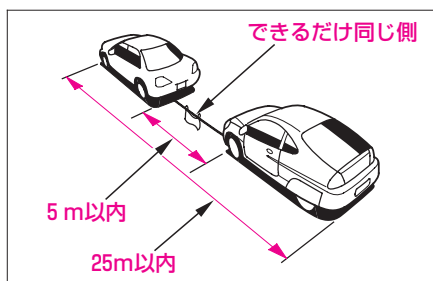
- ④ジャッキハンドルバーの先でリッドを開けます。



- ⑤アイボルトがガタつかない程度まで手で締めつけてから、ジャッキハンドルバーなどをかけて確実に締めつけます。



- ⑥ロープをアイボルトにかけ、ロープ中央部に白い布(0.3m平方以上)を付けます。



- ⑦エンジンをかけます。

エンジンがかからないときは、エンジンスイッチを“Ⅰ”または“Ⅱ”にします。

- ⑧チェンジレバーまたはセレクトレバーをN(ニュートラル)にします。

- ⑨パーキングブレーキを解除し、けん引されます。けん引中は、前の車の制動灯に注意してロープをたるませないようにしてください。

- ⑩ **オートマチック車**

速度30km/h以下、走行距離80km以内でけん引してください。

アドバイス

- アイボルトにロープをかけるときは、車体の破損・変形を防ぐために次のことに気をつけてください。
 - ・アイボルトは確実に取り付けてください。
 - ・アイボルト以外のところにロープをかけないでください。
 - ・けん引時にアイボルトに大きな衝撃が加わるような運転をしないでください。
 - ・けん引ロープはできるだけ伸縮性のあるロープを使用してください。

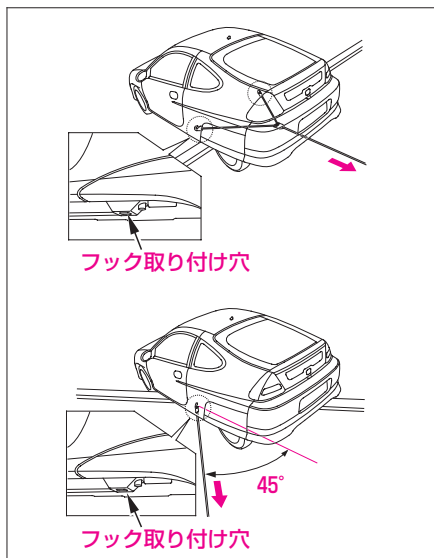
知識

- エンジンが停止している状態でのけん引は、次のことに気をつけてください。
 - ・ブレーキの倍力装置がはたらかなくなるので、ブレーキの効きが悪くなります。
 - ・パワーステアリングのパワー装置がはたらかなくなるので、ハンドル操作が重くなります。
 - ・マニュアルトランスミッション車は、エンジンスイッチを“0”にするとキーが抜けることがあり、ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり、事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂では、ブレーキ部の温度が上がりブレーキが効かなくなるおそれがあります。レッカー車にけん引してもらってください。



動けなくなったとき

脱輪などして後方へ引き出す場合は、フック取り付け穴を使用します。



知識

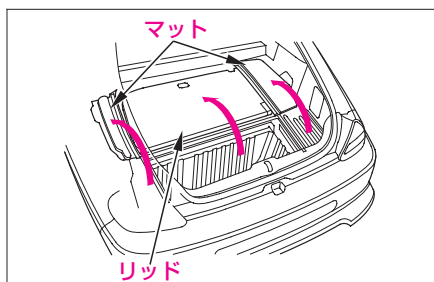
- 他車のけん引には、使用しないでください。

パンクしたとき

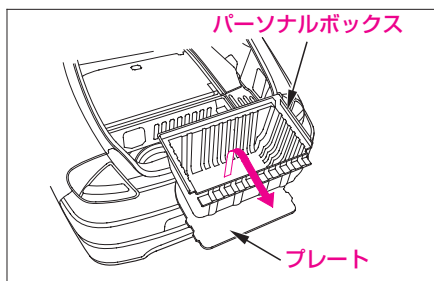
ジャッキの取り扱い

●ジャッキの取り出しかた

- ① パーソナルボックスのリッドを開け、
両端のマットをめくります。



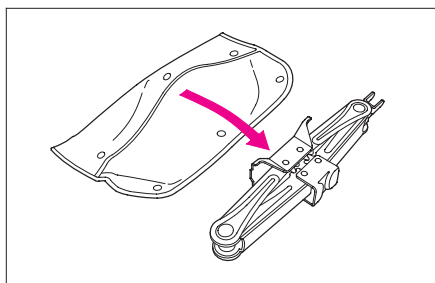
- ② パーソナルボックスとプレートを取り
出します。



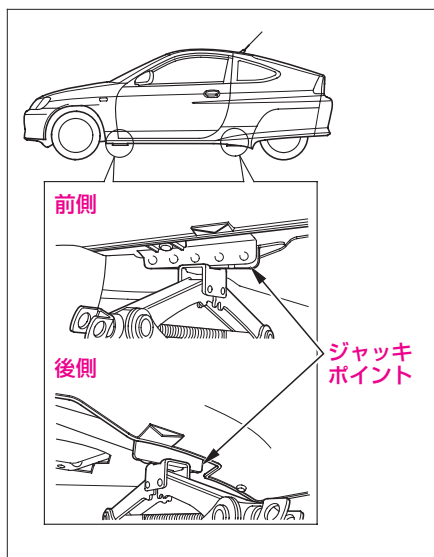
- ③ ジャッキをジャッキ袋から取り出しま
す。

ジャッキ使用後はジャッキ袋へ入れ、
格納します。

格納場所 →156ページ



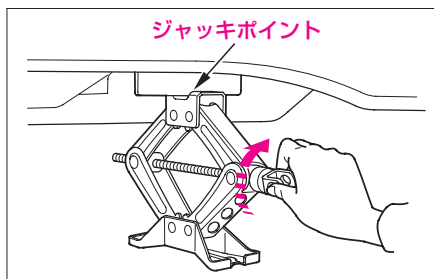
●ジャッキをかける位置



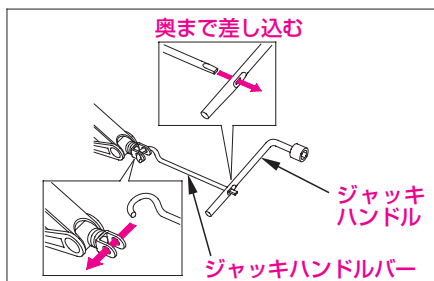


●ジャッキのかけかた

- ①地面が固い平らなところに車を停めます。
- ②パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。
- ③ジャッキを地面に置き、手で回してジャッキの溝がジャッキポイントに入るまで上げます。



- ④ジャッキハンドルとジャッキハンドルバーを使って、タイヤと地面が少し離れるまで車体を上げます。



⚠警告

- 車がジャッキだけで支えられているときは、不安定な状態にあるので車の下に入ったりしないでください。
- 万一、ジャッキが外れると、思わぬ事故につながります。

⚠注意

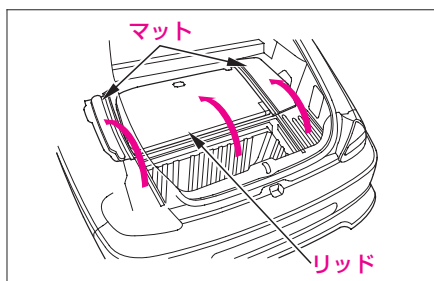
- ジャッキを使うときは安全のため、次のことを必ず守ってください。
 - ・エンジンをかけたままにしない。
 - ・地面が固い平らなところ以外では使用しない。
 - ・指定された位置以外にかけない。
 - ・人や荷物をのせたままにしない。
 - ・ジャッキの上や下に物をいれたりしない。
 - ・タイヤ交換やタイヤチェーン着脱以外には使用しない。

🎓知識

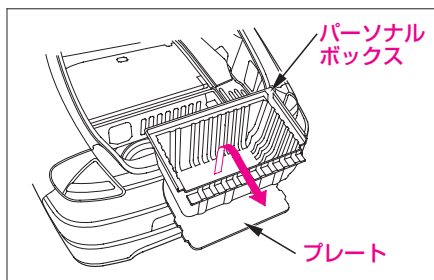
- この車に搭載されているジャッキをお使いください。他のジャッキでは支えられる重量(呼荷重)が不足したり、形状が合わないことがあります。

応急用スペアタイヤ

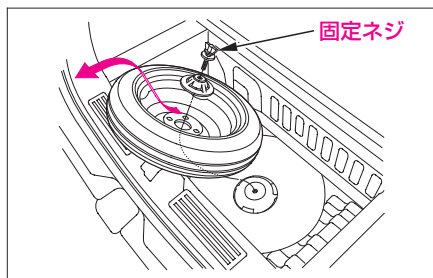
- ① パーソナルボックスのリッドを開け、
両端のマットをめくります。



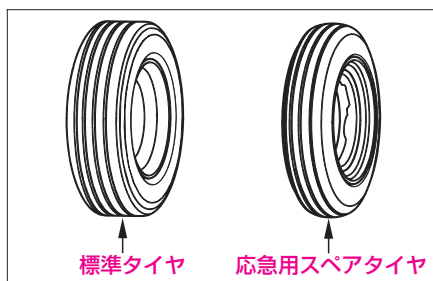
- ② パーソナルボックスとプレートを取り
出します。



- ③ 固定ネジを外して取り出します。



応急用スペアタイヤは、タイヤがパンクしたときの応急用としてのみに使うタイヤです。





お使いになるときは次のことを守りください。

知識

- 空気圧はときどき点検し、指定空気圧でお使いください。

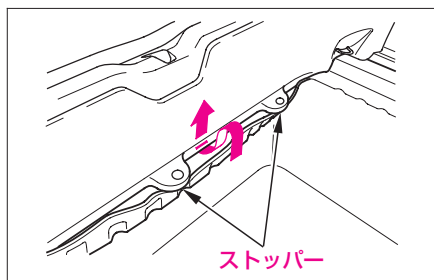
指定空気圧：

420 kPa (4.2 kgf/cm²)

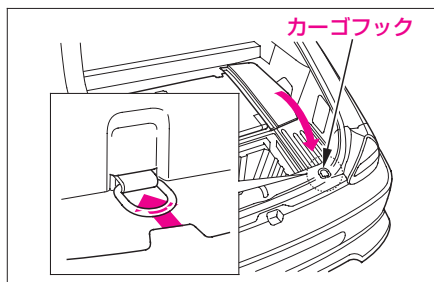
- 応急用スペアタイヤを装着したときは、100km/h以下で走行し、できるだけ早く標準タイヤに交換してください。
- 応急用スペアタイヤは標準タイヤと比べて直径が小さいため車高が低くなります。突起物など乗り越えるときは、車の下にひっかけないように注意してください。
- この応急用スペアタイヤとホイールはこの車の専用品です。他のタイヤやホイールと組み合わせたり、他の車に使わないでください。
- 応急用スペアタイヤにはタイヤチェーンは装着できません。チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これにタイヤチェーンを装着してください。

パーソナルボックスの収納

パーソナルボックスを元に戻すときはリッドが確実に閉まるようにしっかりと押し込んでください。また、ストッパー周辺にすき間ができないよう、図のように内側に入れてください。



両端のマットを元に戻すときはカーゴフックの下に入れてください。



知識

- 標準タイヤを収納するときは、確実にパーソナルボックスを収納できません。

リヤホイールスカート

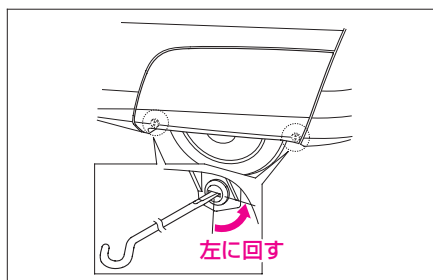
⚠ 注意

- リヤホイールスカートを外したときは、けがをするおそれがありますので車体に手などがあたらないように注意してください。

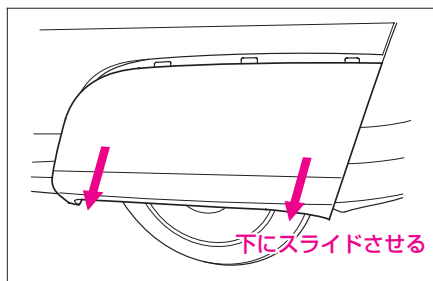
●外しかた

- ①カーゴルームのパーソナルボックスの下から、工具袋を取り出します。
格納場所 →156ページ
- ②工具袋からジャッキハンドルバーを取り出します。

- ③リヤホイールスカート下側のネジを、ジャッキハンドルバーの先でゆるめま



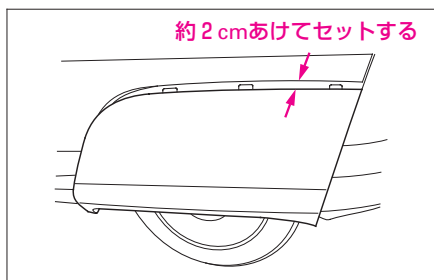
- ④リヤホイールスカートを、下側にスライドさせて外します。



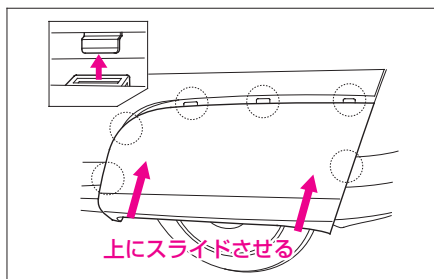


●取り付けかた

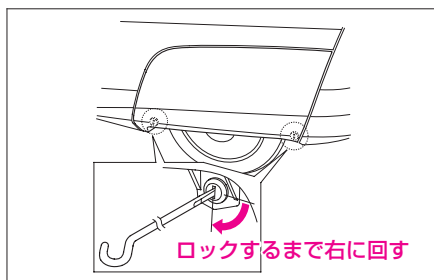
- ①リヤホイールスカートの上部を約2 cm開けて、車体にセットします。



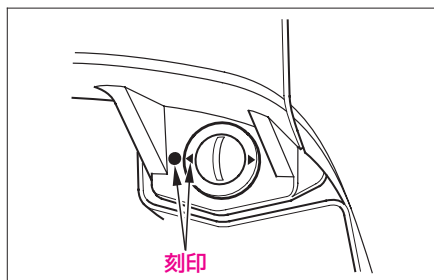
- ②バンパーと平行に、上側にスライドさせます。



- ③リヤホイールスカート下側のネジを、ジャッキハンドルバーの先でロックするまで回します。



- ④刻印の位置を確認します。



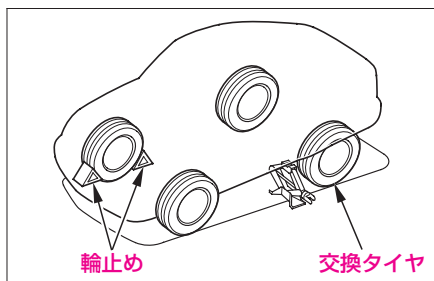
🎓 知識

- 走行中は、リヤホイールスカートを必ず取り付けてください。また、取り付けたときは、リヤホイールスカートが確実に固定されていることを確認してください。
- リヤホイールスカートを取り外すときは、地面に落ちて傷が付かないように手でささえてください。

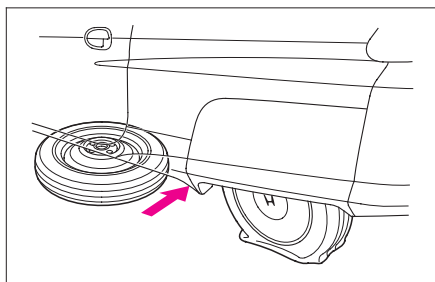
タイヤ交換

1 はじめに

- ①車を地面が固く平らで安全な場所に止め、工具類、応急用スペアタイヤを取り出します。
- ②パーキングブレーキを十分にかけ、交換するタイヤと対角線上にあるタイヤの前後に石などで輪止めをします。



- ③応急用スペアタイヤは交換するタイヤ近くの車体の下にホイール表面を上にして置きます。



- ④後輪タイヤを交換するときは、リヤホイールスカートを外します。
リヤホイールスカート →170ページ

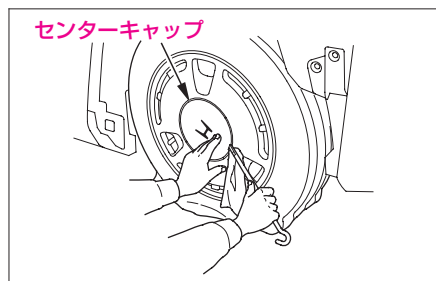


2 ジャッキで車体を上げる

①ジャッキをセットします。

→166ページ

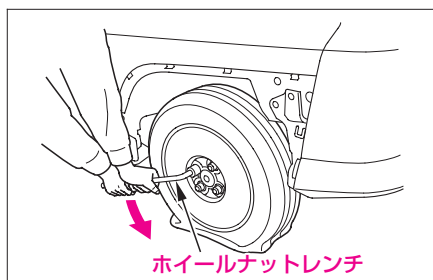
②センターキャップを外します。



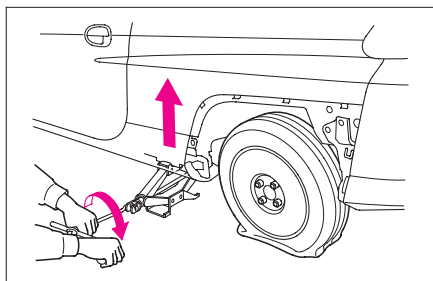
知 識

- ホイールやセンターキャップを傷つけないようにジャッキハンドルの先端に布等を巻いてください。
- センターキャップを取り外すときは、地面に落ちて傷つかないように手でささえてください。

③ホイールナットをホイールナットレンチで少し(約1回転)ゆるめます。

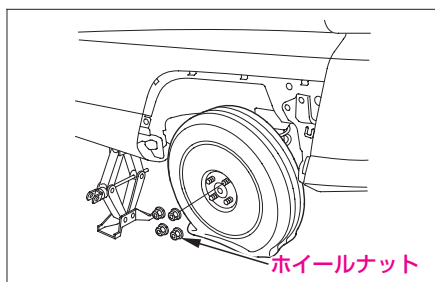


④タイヤと地面が少し離れるまでジャッキで車体を上げます。



3タイヤを交換する

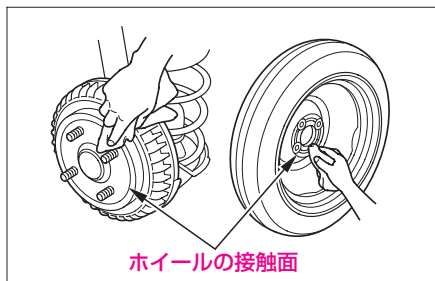
- ①ホイールナットを外し、タイヤを外します。



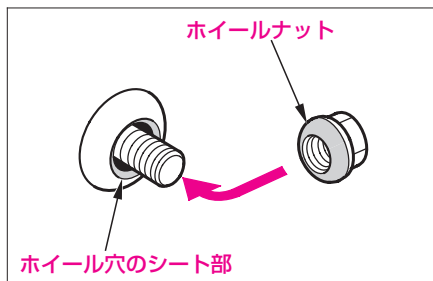
知識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

- ②応急用スペアタイヤのホイールの接触面のよごれをふき取ります。



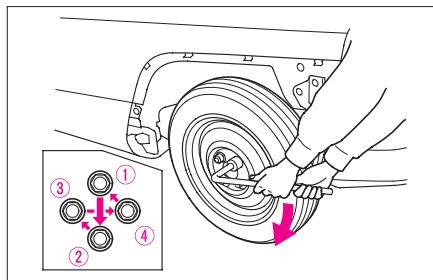
- ③応急用スペアタイヤを取り付けます。
④ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



- ⑤ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかり締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク：

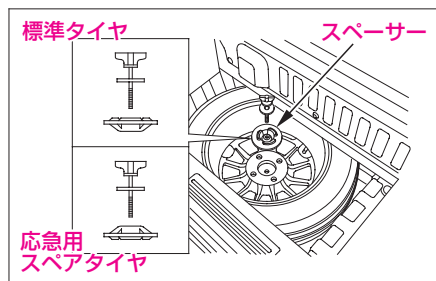
98－118 N・m (10.0－12.0 kgf・m)





4 標準タイヤを収納する

パンクした標準タイヤをしまい、スペーサーを、応急用スベアタイヤを固定していたときとは逆向きにして固定します。

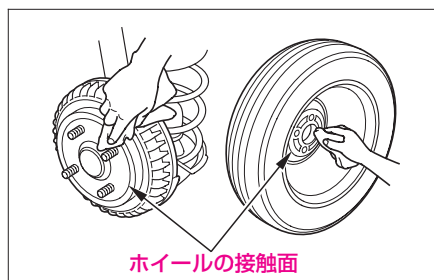


知識

- 標準タイヤを収納するときは、確実にパーソナルボックスを収納できません。

5 標準タイヤを取り付けるときは

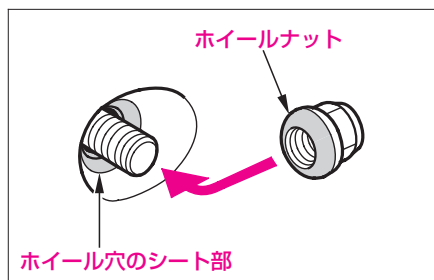
- ① 標準タイヤのホイールの接触面のよこれをふき取ります。



知識

- タイヤを地面に置くときは、ホイール表面を上にして置いてください。
下にして置くと、ホイールに傷がつくおそれがあります。

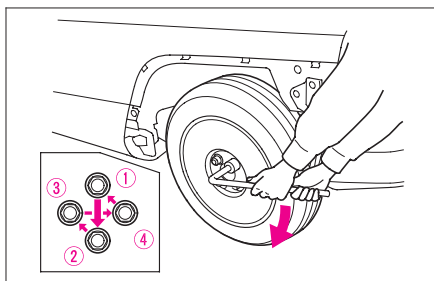
- ② ホイールナットがホイール穴のシート部に軽く当たり、ホイールがガタつかない程度までホイールナットを締めます。



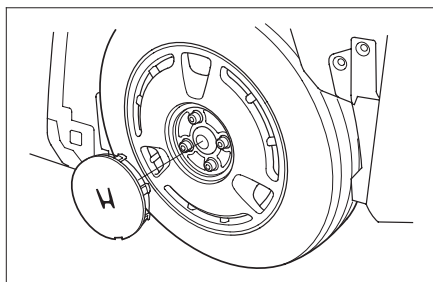
- ③ジャッキをおろし、図の番号順に2～3度にわたり、ホイールナットをしっかり締め付けます。

ホイールナット締め付けトルク：

98－118 N・m (10.0－12.0 kgf・m)



- ④センターキャップを取り付けます。



- ⑤後輪タイヤを交換したときは、リヤホイールスカートを取り付けます。

リヤホイールスカート →170ページ



知識

- この車専用のホイールをお使いください。
専用以外のホイールを使うと走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずHonda販売店にご相談ください。
- レンチを足で踏んだり、パイプなどを使って必要以上に締め付けしないでください。
トルクがかかりすぎることがあります。
- パンク修理、タイヤの摩耗、リムの変形などでホイールバランスが狂うことがあります。車体の振動などの異常を感じたらHonda販売店で点検を受けてください。
- タイヤ交換は安全のため、地面の固い平らな場所で、他の交通に十分注意して行ってください。必要に応じて停止表示板、非常点滅表示灯を使ってください。
- 必ず同一指定サイズ、同一種類のタイヤを使ってください。指定サイズ以外のタイヤや種類の異なるタイヤを使うと安全性を損ないます。
- 応急用スペアタイヤの空気圧は使うときに調整してください。
やむをえず、未調整のまま走る場合は、速度を控えめにしてください。
タイヤの空気圧 →231ページ
- パンク修理などでホイールを取り付け直したときには、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。

オーバーヒートしたとき

次のようなときは、オーバーヒートです。

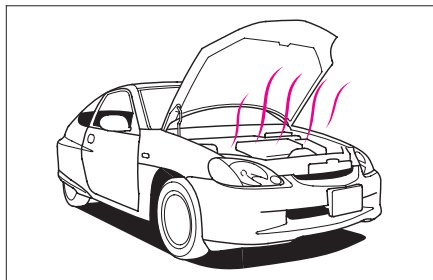
- ・水温計の赤いマークが点灯したり、エンジンの力が急に落ちる。
- ・エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている。

⚠ 警告

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、ボンネットを開けないでください。
蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。
- エンジンが十分に冷え、水温が下がるまでラジエーターキャップを外さないでください。
冷却水には圧力がかかっているため、蒸気や熱湯がふき出し、やけどなどの重大な傷害を受けるおそれがあります。

●処置のしかた

- ①車を安全な場所に停めます。
- ②エンジンをかけたままボンネットを開けて風通しをよくします。

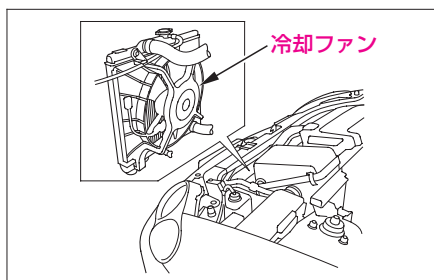


🎓 知識

- エンジンルームから蒸気が出ているときは、エンジンを止めます。
蒸気が出なくなってからボンネットを開け、エンジンをかけてください。



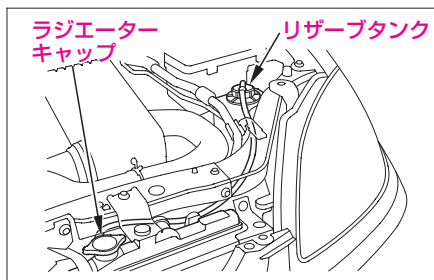
- ③冷却ファンの作動を確認し、水温計の表示が“C”の方に下がってきてからエンジンを止めます。
冷却ファンが作動していないときはすぐにエンジンを止めてください。



アドバイス

- 冷却ファンが作動していない場合は、故障が考えられますので、Honda販売店へご連絡ください。

- ④エンジンが冷えてから、冷却水量、ホースなどからの水漏れを点検します。



- ⑤冷却水量が不足していたらラジエーターとリザーブタンクに冷却水を補給します。冷却水がない場合は、応急的に水を補給します。



アドバイス

- エンジンが熱いときに冷却水を入れないでください。急に冷たい冷却水を入れると、エンジンが損傷するおそれがあります。
冷却水はエンジンが冷えてからゆっくりと入れてください。

- ⑥なるべく早くHonda販売店で点検を受けてください。

電気系統が異常のとき

バッテリー(12V)あがりのとき

次のようなときは、12Vのバッテリーあがりです。

- ・スターターが回らないか、回っても回転が弱くエンジンがかからない。
- ・ライトがいつもより極端に暗かったり、ホーンの音が小さい。

●処置のしかた

安全のため、押しがけはしないでください。

救援車の12Vのバッテリーを利用してエンジンを始動させます。

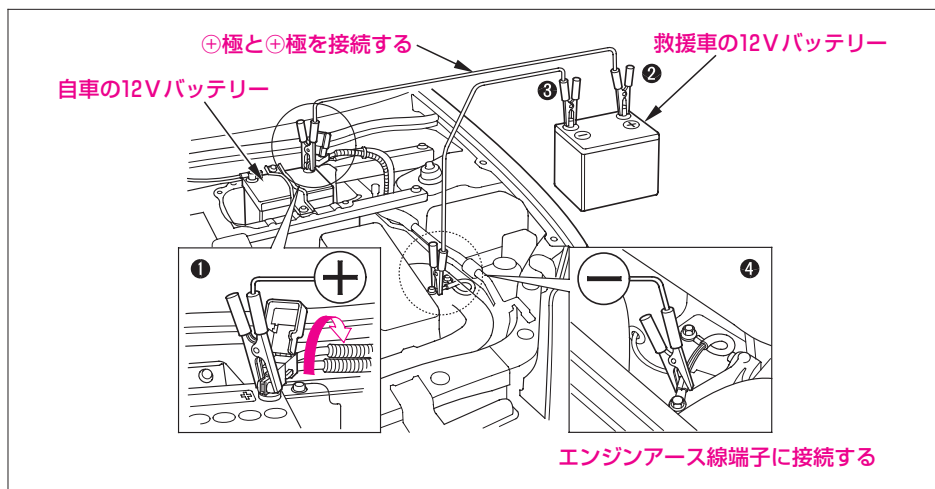
①ブースターケーブルを次の順番でつなぎます。

1 本目

- ①自車の12Vバッテリーの⊕端子
- ②救援車の12Vバッテリーの⊕端子

2 本目

- ③救援車の12Vバッテリーの⊖端子
- ④自車のエンジンのアース線端子



②救援車のエンジンを始動し、回転数を少し高めにします。

③自車のエンジンをかけます。

④ブースターケーブルをつないだときと逆の順番で外します。

⑤Honda販売店や最寄りのガソリンスタンドなどで点検を受けてください。



⚠ 警告

- 12Vのバッテリーを取り扱うときは次のことを必ず守ってください。
12Vのバッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ 12Vバッテリーのバッテリー液が不足しているときは、エンジンの始動または充電を行わないでください。
 - ・ 火気を近づけないでください。
 - ・ 帯電した身体で12Vバッテリーに触れないでください。
 - ・ 換気に十分注意し、換気の悪い場所では充電を行わないでください。
 - ・ 12Vのバッテリーを充電するときは、すべてのキャップを外してください。
- ブースターケーブルをつなぐときは次のことを必ず守ってください。火花が出て、12Vのバッテリーから発生する可燃性のガスに引火すると爆発のおそれがあります。
 - ・ 自車の12Vバッテリーの⊖端子に直接ケーブルをつながないでください。
 - ・ ⊕端子と⊖端子を間違えないでください。
 - ・ ケーブルの先端どうしを接触させないでください。
- 12Vバッテリーのバッテリー液は希硫酸です。目や皮ふに付くとその部分が侵されますので十分注意してください。
万一、付着したときはすぐに多量の水ですくなくとも5分間以上洗浄し、飲み込んだときはすぐに多量の飲料水を飲んでください。応急処置後は、専門医の診察を受けてください。

🎓 知識

- 12Vバッテリーのバッテリー液が不足しているときは、使用しないでください。
12Vバッテリー内部の劣化の進行が促進するおそれがあります。
- ブースターケーブルのクリップは、エンジン始動時などの振動で外れたりしないように確実に固定してください。また、ブースターケーブルが冷却ファンやベルトに巻き込まれないように十分気をつけてください。
- 救援車には、12Vのバッテリーを装着している車を使用してください。
- 12Vバッテリー交換などでバッテリーケーブルを取り外すと、ラジオにセットされた周波数が消去されます。また、12Vバッテリーを取り付けた後は運転席パワーウィンドーのオート作動ができなくなります。その場合は、オート作動の機能を復帰させてください。

パワーウィンドーはさみ込み防止機構 →49ページ

ライト類が点灯しないとき、 電気装置が作動しないとき

バッテリーがあがっていないときは、ヒューズ切れや電球(バルブ)切れが考えられます。

- ① エンジンスイッチを“0”の位置にします。
- ② ヒューズが切れていないかを点検します。
 - ・ 故障の状況から点検すべきヒューズをヒューズボックスの表示と取扱説明書で確認し、点検します。
- ③ 必要に応じて、ヒューズや電球を交換します。

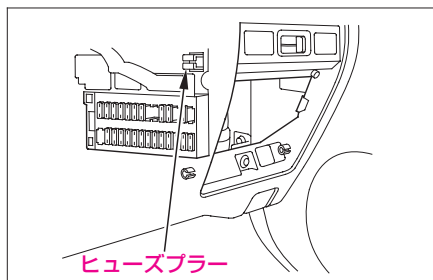
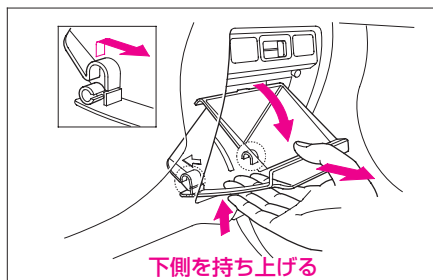
●ヒューズの点検、交換

運転席足元のヒューズボックス

ヒューズを点検するときは、コインポケットを外して点検します。

・外しかた

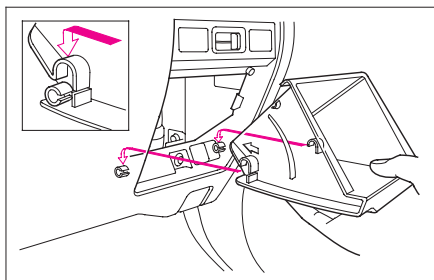
- ① コインポケットを開けます。
- ② 下側を持ち上げながら手前に引いて外します。





・取り付けかた

- ① 下側を押し込み、両側のピンをポケットの溝にセットします。



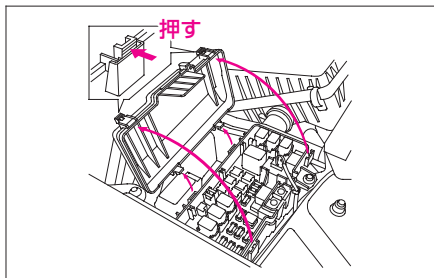
- ② コインポケットを閉めます。

・各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1	SRS	SRSエアバッグシステム	10A
2	SRS	SRSエアバッグシステム/ フューエルポンプ	15A
3		フロントワイパー/ ウォッシャー	20A
4		ECU	7.5A
5		ターンライト	7.5A
6		メーター	7.5A
7		イグニッション コイル	15A
8	AS 	パワーウィンドー 助手席	20A
9		スタータースIGNAL	7.5A
10	DR 	パワーウィンドー 運転席	20A
11		オーディオ	7.5A
12		アクセサリー ソケット	10A
13	—	—	—

	表示	装備	容量
14	—	—	—
15		スモールライト	10A
16		エアコン/ リモコンミラー	7.5A
17	—	—	—
18		バックアップ	7.5A
19		インテリアライト	7.5A
20		オーディオ	10A
21	—	—	—
22		ドアロック	15A
23		テールゲートロック	7.5A
24	IMA	IMA	7.5A
25		ヘッドライト レベリング	7.5A
26		リヤワイパー/ ウォッシャー	10A
27		バックライト	7.5A
		スペアヒューズ	

エンジンルーム内のヒューズボックス

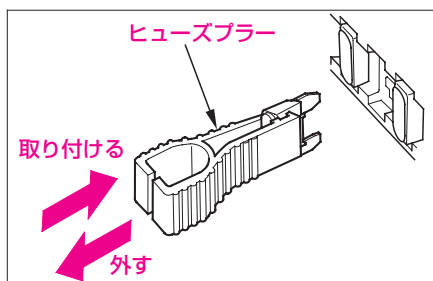


・各ヒューズの装備と容量

	表示	装備	容量
1		イグニッション	50A
2		バッテリー	80A
3		ABSモーター	30A
4		ハザード	10A
5		IMAファン	15A
6		ホーン/ストップ	10A
7		フューエルポンプ	15A
8		左側ヘッドライト	15A
9		—	—
10		右側ヘッドライト	15A
11		クーリングファン	30A
12		ヒーターモーター	40A
13		リヤデフロスター	30A
14		ABSユニット	20A
15		EPS	40A
16		バックアップ/ ACC	30A
17		パワーウィンドー	40A
18	IMA	IMA	7.5A
19		コンデンサーファン	20A
		スペアヒューズ	

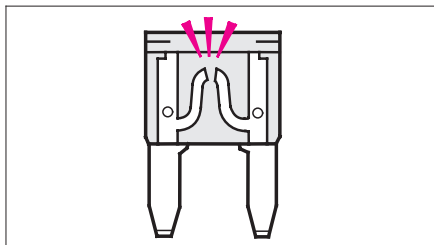
ヒューズの外しかた

備え付けのヒューズプラーでヒューズを外します。





ヒューズが切れているとき



ヒューズボックスの表示に従い規定容量のヒューズに交換します。

 アドバイス

- 規定容量のヒューズ以外の物は絶対に使わないでください。配線コードなどを焼損させる原因となります。

 知識

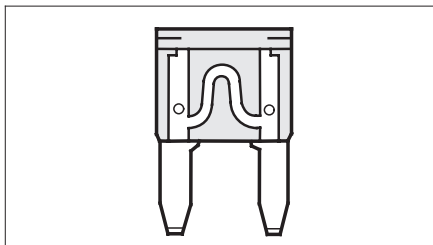
- オーディオのヒューズが切れると、ラジオにセットされた周波数が消去されます。
- 運転席パワーウィンドーのヒューズが切れると、ヒューズを交換した後も運転席パワーウィンドーのオート作動ができなくなります。その場合は、オート作動の機能を復帰させてください。

パワーウィンドー

はさみ込み防止機構 →49ページ

- 交換しても、またヒューズが切れる場合は、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。

ヒューズが切れていないとき



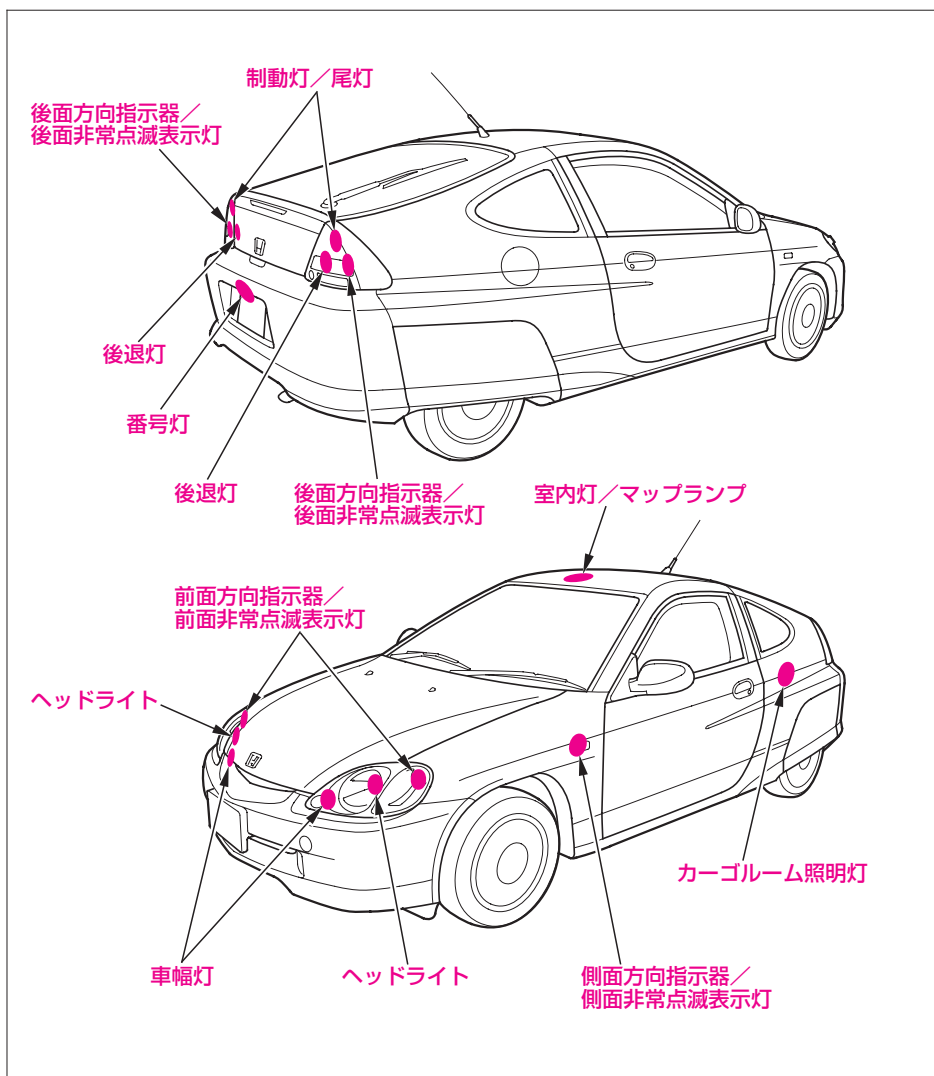
- ライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。

 知識

- 電球が切れていない場合は、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。
- ライト類以外の電気装置が作動しないときは、電気系統の異常が考えられますので、Honda販売店で点検を受けてください。

●電球(バルブ)の交換

ヒューズが切れていないのにライト類が点灯しないときは、電球切れが考えられます。電球を点検し、切れているときは交換してください。





知 識

- ランプ本体やレンズを外すときは、ボディに傷を付けないように注意してください。
- 電球を交換するときはワット(W)数の違う物を使わないでください。

電球のワット数 →228ページ

- ハロゲンバルブはガラス球内部の圧力が高いため、落としたり、物をぶつけたり、傷をつけたりすると破損してガラスがとび散ることがあります。

取り扱いには十分に注意してください。

また、ハロゲンバルブの電球の表面に手などが、触れないようにしてください。使用時電球が高温になるため、油などが付着すると寿命が短くなります。触れた場合は、中性洗剤の薄い水溶液を柔らかい布に含ませてよくふき取ってください。

- レンズを取り付けるときは、ネジを締めすぎないようにしてください。レンズを破損するおそれがあります。
- ヘッドライト、制動灯などのランプは、雨天走行や洗車などの使用条件によりレンズ内面が一時的に曇ることがあります。これはランプ内部と外気の温度差によるもので、雨天時などに窓ガラスが曇るのと同様の現象であり、機能上の問題はありません。

ただし、レンズ内面に大粒の水 droplet がついているときやランプ内に水がたまっているときは、Honda販売店にご相談ください。

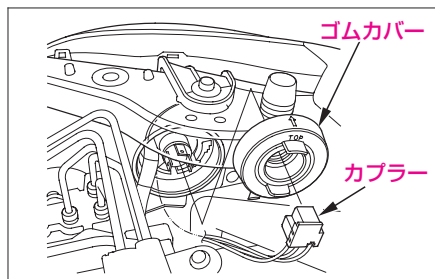
ヘッドライト

ハロゲンバルブを使用していますので、
取り扱いに注意してください。

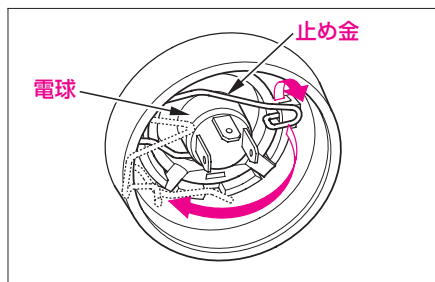
ハロゲンバルブ →187ページ

・右側

- ①カプラーを抜きます。
- ②ゴムカバーを外します。

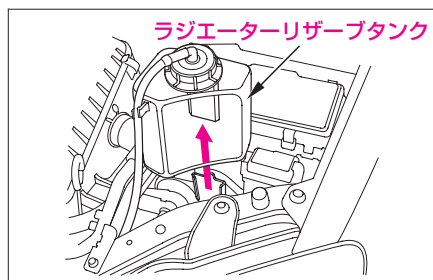


- ③止め金を外し、電球を外します。

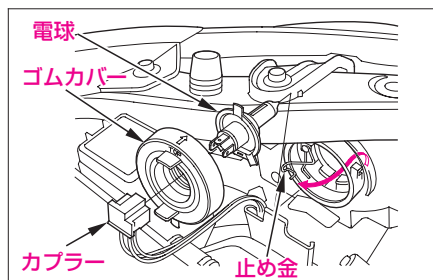


・左側

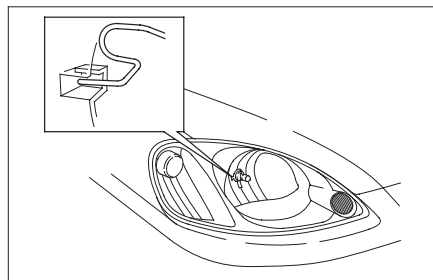
- ①ラジエーターリザーブタンクを引き上げて外します。



- ②カプラーを抜きます。
- ③ゴムカバーを外します。
- ④止め金を外し、電球を外します。



止め金の状態はヘッドライト部の確認窓より確認できます。

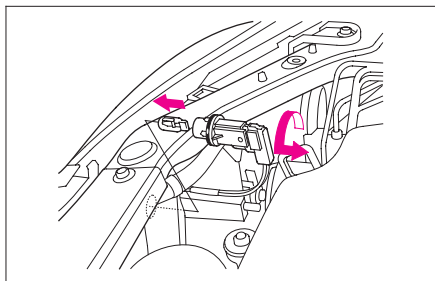




車幅灯

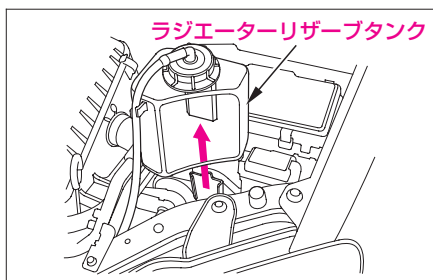
・右側

ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

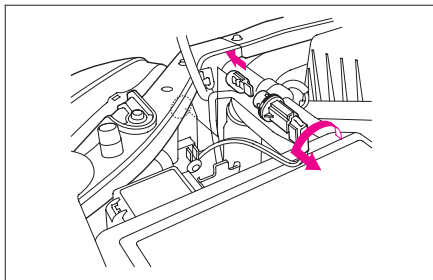


・左側

①ラジエーターリザーブタンクを引き上げて外します。

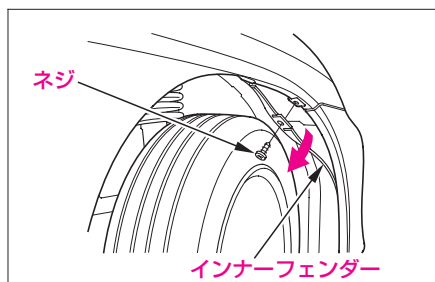


②ソケットを左に回して外し、電球を抜き取ります。

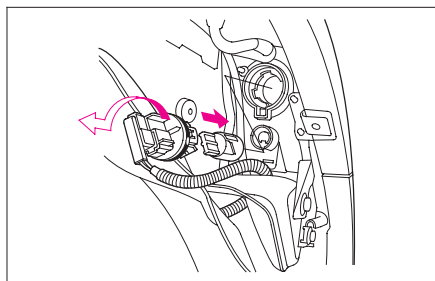


前面方向指示器／前面非常点滅表示灯

- ①交換する側と反対にハンドルをいっぱいに切ります。
- ②ネジを外してインナーフェンダーをめくります。



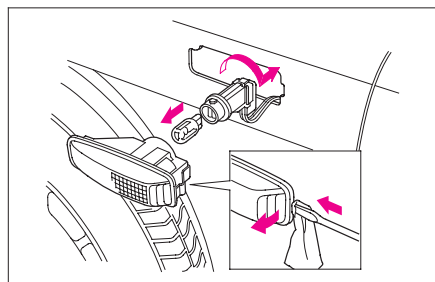
- ③ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。



側面方向指示器／側面非常点滅表示灯

ドライバーの先端に布などを巻き、後方よりスプリングを押しながらランプ本体を外します。

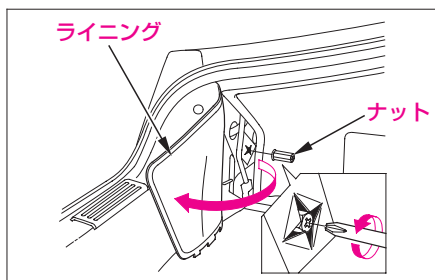
ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。





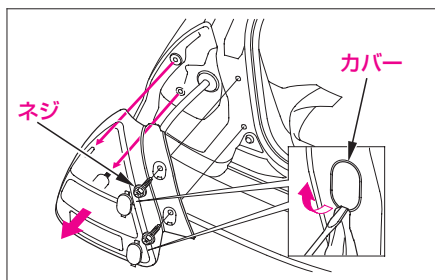
制動灯／尾灯、後面方向指示器／後面非常点滅表示灯、後退灯

① ライニングをめくりナットを外します。

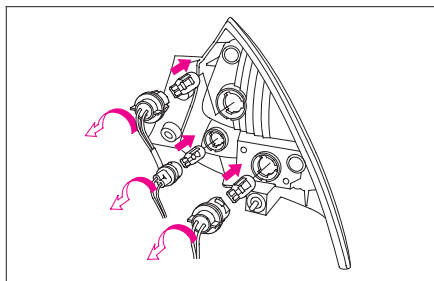


② ドライバーの先端に布などを巻き、カバーを外します。

③ ネジを外し、ランプ本体を外します。

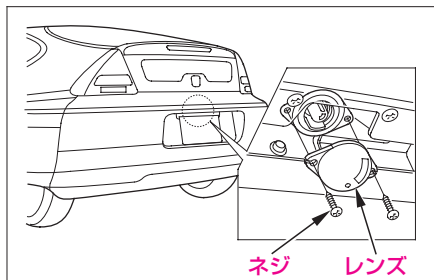


④ ソケットを左へ回して外し、電球を抜き取ります。

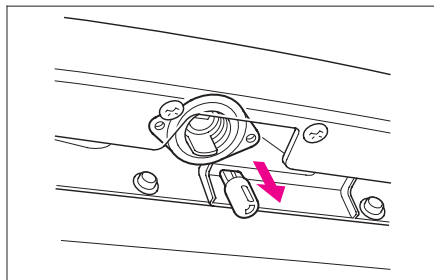


番号灯

①ネジを外し、レンズを外します。

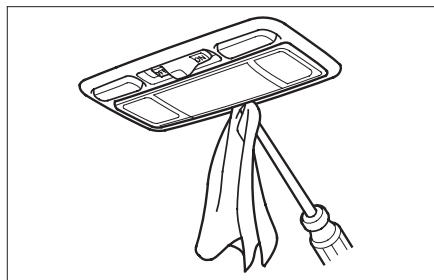


②電球を抜き取ります。

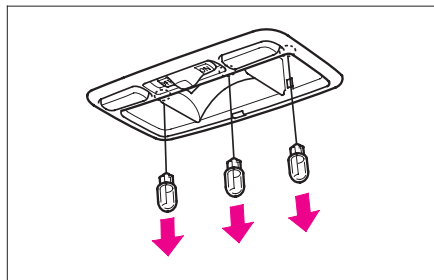


室内灯／マップランプ

①レンズを外します。



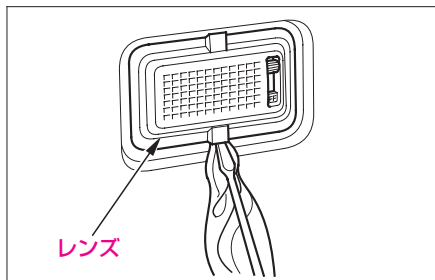
②電球を抜き取ります。



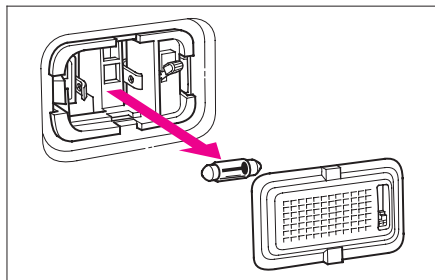


カーゴルーム照明灯

①レンズを外します。



②電球を抜き取ります。



6

車の手入れ

●点検・整備について……196

●日常の手入れ

外装の手入れ……………199

内装の手入れ……………201

タイヤについて……………202

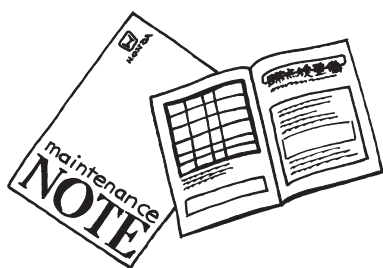
アルミホイールについて……204

●車にあった部品の使用…206

点検・整備について

車は走行するにしたいがい、また時間が経過するとともに部品の劣化や摩耗などが進んでいき、適切な点検整備を行わないと、安全・快適に乗っていただけなくなるばかりか大気汚染や騒音の増加などを引き起こすことがあります。

このようなことから点検整備が必要であり、ドライバー(運転者)は点検整備を実施することが法律でも義務づけられています。



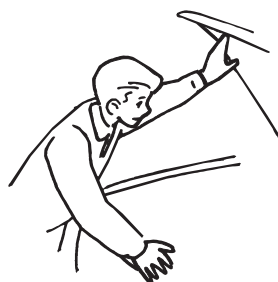
詳しくは、別冊のメンテナンスノートに記載してありますので、よくお読みになり必ず点検整備を行ってください。

●点検整備の種類

日常点検

日常の車の使用状況に応じて、お客様の判断で適時行う点検で、お客様自身で実施が可能な項目となっています。

点検時期の目安としては長距離走行前や洗車時、給油時などに実施します。





法定定期点検

年間走行距離が10,000km程度の標準的な使用を前提に、12か月および24か月毎に実施する点検です。法律で定められているものと、Hondaが指定するものがあります。



その他

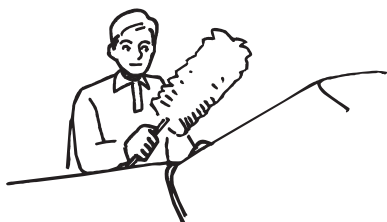
新車時の無料点検や定期交換、厳しい使われかたをしたときの点検整備があります。



日常の手入れ

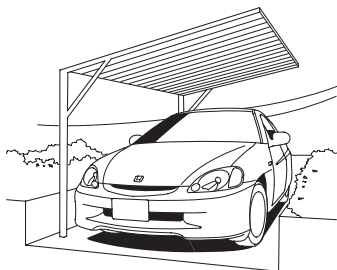
走行後は

- 塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としましょう。
- とび石などによる塗装面の傷は錆の原因となります。見つけたら早めに補修してください。



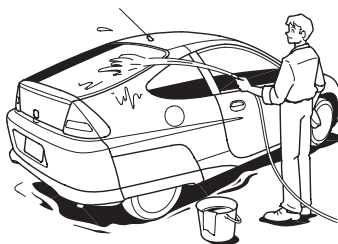
保管、駐車は

- 風通しのよい車庫や、屋根のある場所をおすすめします。



洗車を忘れずに

- 少なくとも月に一度は洗車しましょう。
- 次の場合は、必ず洗車してください。
 - ・ 凍結防止剤を散布した道路を走行したとき、海岸地帯を走行したとき。
錆の原因となるので車体の下回り、フェンダーの内側を念入りに洗ってください。
 - ・ コールタール、ばい煙、鳥のふん、虫、樹液などがついたとき。
化学変化で塗装面にむらができるので、中性洗剤で洗ってから水で完全に流し、必要に応じてポリシングワックス(ワックス乳液)で磨いてください。
ポリシングワックスは、**Honda**純正ケミカル用品をお使いください。



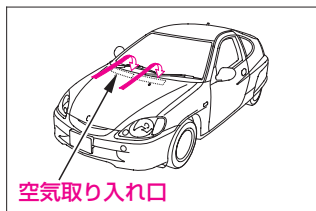


外装の手入れ

●洗車のしかた

- 十分に水をかけながら、下回り、足まわりの汚れを落とします。
- 塗装面は屋根から順に下のほうへ水をかけながら、スポンジかセーム皮のような柔らかい物で洗います。
- 汚れがひどいところは中性洗剤で洗い、さらに水で完全に洗い落とします。
- 水が乾かないうちに拭き取ります。

- ボンネットの裏のインシュレーターには、直接水をかけて洗わないでください。
- 故意に空気取り入れ口やエンジンルーム内の電気部品に水をかけないでください。故障のもとになります。



自動洗車機を使うとき

- ドアミラーを格納して洗車してください。
- センターアンテナは、アンテナを取り外してから洗車してください。
センターアンテナの外しかた
→149ページ
- 自動洗車機のホイール専用ブラシは、リヤホイールスカートに傷がつくおそれがありますので使わないでください。リヤホイールスカートを洗うときは、十分水をかけ、スポンジまたはセーム皮のような柔らかいもので洗ってください。

- 自動洗車機を使うと、ブラシの傷がつき光沢が失われたり、劣化を早めることがあります。

コイン洗車機を使うとき

洗車ノズルと車体の距離を十分に離して洗車してください。
ウィンドーまわりは、特に注意して行ってください。近づけすぎると室内へ水が侵入することがあります。

●ワックスをかけるとき

月に一回程度または水をはじかなくなったときに行います。

洗車したあと、日陰か車体表面が体温以下になっているときにワックスをかけます。

- ワックスは**Honda**純正ケミカル用品をお使いください。



- みがき粉(コンパウンド)入りのワックスは使わないでください。
塗装面に細かい傷が残ることがあります。

●樹脂塗装部品 (バンパーなど)の手入れ

ガソリン、オイル、ラジエーター液、バッテリー液などが付着すると、しみの発生や塗膜がはがれる原因となります。

すみやかに柔らかい布で拭き取ってください。

- 樹脂塗装部品の傷の補修をする場合は、**Honda**販売店にご相談ください。不適當な塗料を使うと塗膜を傷めます。

●ガラスの手入れ

ガラスの油膜を取るときは、ガラスクリーナーをお使いください。

- ガラスクリーナーは**Honda**純正ケミカル用品をお使いください。

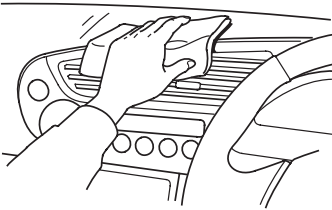
ガラスの清掃をするとき

リヤガラスの内側に電熱線が装着されていますので、これに沿って柔らかい布で拭いてください。



内装の手入れ

- ① 中性洗剤の水溶液を柔らかい布に軽く含ませて、汚れを落とします。
 - ・ 飲食物などをこぼしたときは、すぐに汚れを落としてください。
- ② 真水を含ませた柔らかい布で、残った洗剤分をきれいに拭き取ります。
- ③ 直射日光を避け、風通しのよい日陰で乾燥させます。



- 室内に水をかけないでください。オーディオやスイッチなどの電装品に水がかかると故障の原因となります。

● ケミカル類、 液体芳香剤について

取扱方法や成分を確認の上、取り扱いには十分にご注意ください。

⚠ 注意

- オーディオやスイッチなどの電装品にシリコン系のスプレーを塗布しないでください。故障の原因となったり、車両火災につながるおそれがあります。万一、電装品にシリコン系のスプレーを塗布したときは、Honda販売店にご相談ください。

●ケミカル類、液体芳香剤はその成分によっては、樹脂部品や布材の変色、しみ、ひび割れを起こすことがあります。次のことに注意してください。

- ・ベンジン、ガソリンなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶剤は使わないでください。

また、ケミカル類には、これらの成分が含まれているおそれがあります。

- ・ケミカル類を使用したあとは、必ず乾いた布で軽く拭き取ってください。

また、使用した布はそのまま樹脂部品、布材の上に長時間放置しないでください。

- ・液体芳香剤はこぼさないように、容器を確実に固定してください。

芳香剤の使用にあたっては固形タイプのものでおすすめします。

タイヤについて

タイヤの異常摩耗、亀裂、損傷および指定外の空気圧は、乗り心地、操縦性、タイヤの寿命を損ないます。また、摩耗したタイヤは雨天時の高速走行で通常よりもハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

- ・安全のため、こまめに点検を行ってください。

また、必ず指定サイズ、同一種類のタイヤをお使いください。

⚠ 警告

- 次のようなタイヤは使わないでください。

コントロールを失うことがあり、思わぬ事故につながります。

- ・摩耗限度を超えたタイヤ
- ・指定空気圧に調整されていないタイヤ

タイヤの空気圧

→231ページ

⚠ 注意

- タイヤの空気圧を調整するときは、規定圧力を守ってください。

空気を入れ過ぎると、タイヤが破裂しけがをするおそれがあります。



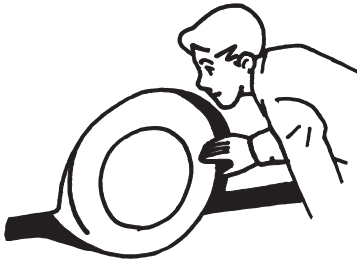
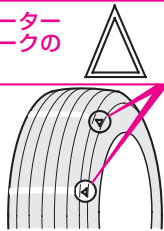
摩耗限界表示 (ウェアインジケーター)

ウェアインジケーターが表れたらタイヤを交換してください。

- ウェアインジケーターは、タイヤの接地面にあり、他の部分より溝が1.6mmだけ浅くなっています。

ウェアインジケーターの位置を示すマークの代表例です

ウェアインジケーターが表われたとき(タイヤの溝がなくなったとき)は交換



●位置交換 (タイヤローテーション)

5,000kmごとにタイヤの位置を交換します。

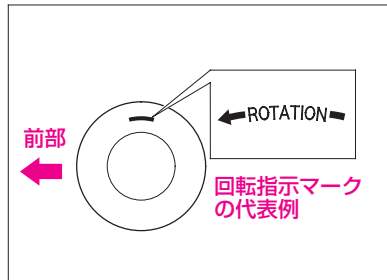
- 同じ位置で長く走ると偏摩耗し、タイヤの寿命を縮めるだけでなく走行性、制動力にまで悪影響を与えます。

- 応急用スペアタイヤは、位置交換に使わないでください。

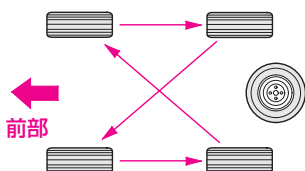
タイヤ回転指示マーク

タイヤの性能上、回転方向が指定されているタイヤには、タイヤ側面に回転指示マークがあります。

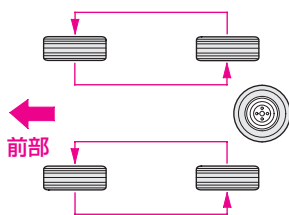
回転指示マークが前部へ向くように取り付けてください。



回転指示マークがないタイヤ
の場合



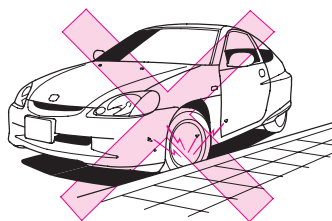
回転指示マークがないタイヤ
の場合



アルミホイール について

アルミホイールは一般的なスチールホイールと取り扱いが異なります。

アルミホイールの特性を維持するため、必ず次のことをお守りください。





●取り扱い

- この車専用のホイールをお使いください。専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。ホイール交換に際しては、必ずHonda販売店にご相談ください。
- パンク修理などでホイールを取り付け直した際には、念のため1,000km走行時にホイールナットのゆるみの有無を点検してください。
- アルミホイールは傷つきやすいので歩道の縁石などに乗り上げたり、すり当てたりすることを避けてください。
- バランスウェイトやバルブはHonda純正のアルミホイール専用部品をお使いください。ホイールに傷をつけたり、機能を損なうことがあります。
- タイヤチェーンを装着するときは、正しく装着してください。ホイールに対して片寄ったり、ゆるかったりするとホイールに傷をつけるおそれがありますので注意して装着してください。

●手入れ

- アルミホイールは、塩分や汚れを嫌いますので、海水や道路凍結防止剤などが付いたときには、スポンジに中性洗剤を含ませ、汚れを早めに落としてください。
- ホイールの光沢を維持するため、時々ワックスがけをしてください。
- アルミホイールは傷つきやすいので、砂入り石鹼や硬いブラシを使わないでください。高速洗車機（ホイール専用ブラシ付きの物）によるホイールの洗浄は避けてください。
- スチーム洗浄などで、熱湯がホイールに直接かからないようにしてください。
光沢を失うおそれがあります。

車にあった部品の使用

車の性能、品質を維持するために、Honda車に最も適したHonda純正部品をお使いください。

純正部品は厳しい検査を実施し、Honda車に適合するように作られています。お求め、装着に際しては、Honda販売店にご相談ください。

- 純正部品には下のマークがついています。



HONDA
GENUINE PARTS

- Honda純正部品以外の車の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。
適正な性能や機能を発揮しなかったり、思わぬ事故のもとになったりすることがあります。
- 車の改造はしないでください。
不正改造は、法律に触れることはもちろん思わぬ事故を起こす場合があります。

7

車との上手なつきあいかた

●積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ	208
運転するとき	210
駐車するとき	214
冬期の手入れ	216

●こんなときは

雨の日の運転	218
夏場の取り扱い	220

●環境にやさしい

省エネドライブを するために	222
-------------------	-----

積雪・寒冷時の取り扱い

運転するまえ

●車に積もった雪や着氷は 取り除く

屋根に積もった雪

走行時に屋根に積もった雪がすべり落ち視界の妨げになるなど危険です。走行する前に取り除いてください。

- ・氷結している部分を無理に取り除くと塗装などを傷めます。氷が溶けてから取り除いてください。



ガラス面の雪や霜

雪や霜を落として視界を確保してください。

- ・プラスチックの板などを使うとガラスに傷をつけずに落とすことができます。

足まわりの着氷

足まわりなどに氷塊が付着している場合は、部品を損傷しないように十分注意して取り除いてください。



●凍結しているとき

ドアの凍結

無理に開けるとドアまわりのゴムがはがれたりするので、お湯をかけて氷を溶かしてから開けてください。

- ・ドアキー穴部には、お湯をかけないでください。凍結すると、キーが差し込めなくなります。



お湯をかけたあとは、凍結防止のために水分をよく拭き取ってください。

ワイパーの凍結(ガラス面が着氷、積雪しているとき)

ワイパーブレード(ゴム部)を損傷したり、モーターの故障となりますので、氷や雪を取り除いてから動かしてください。

寒冷地用ワイパーブレードを装着する際は、Honda販売店にご相談ください。

寒冷時以外は通常のワイパーブレードに戻してください。

●乗車するとき

靴にこびりついた雪をよく落としてから、乗車してください。

- ・ペダル類を操作するときに滑ったり、室内の湿気が多くなりガラスが曇ったりすることがあります。



運転するまえに

ペダル類やハンドルの動きが円滑かどうか確認してください。

運転するとき

- 雪道や凍結路では、たいへん滑りやすくなっているので、速度を落とし車間距離を十分とって運転しましょう。
また、ハンドルやブレーキの操作は特に慎重にしてください。
 - ・ 急加速、急減速、急ブレーキや急ハンドルは横すべりを起こして方向性を失います。



- 冬用タイヤ、タイヤチェーンを装着して走行してください。

チェーンサイズ →212ページ
タイヤチェーンの取り付けかた →212ページ

- ・ 冬用タイヤを装着するときは、四輪とも同じ種類のものに交換してください。
- ・ 地区条例により違いがありますので、その地区の条例に従ってください。

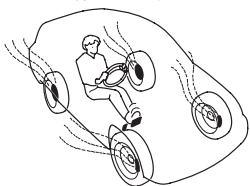
- 冬用タイヤを装着したときには、安全のため高速走行は避けてください。



●ブレーキの効きについて

ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し、ブレーキの効きが悪くなることがあります。

その際には、前後の車に十分注意して、ブレーキペダルを軽く踏みながら低速で走行し、ブレーキのしめりを乾かしてください。



- ブレーキの効きが回復しないときは、ブレーキ系統に異常が考えられますので、ただちにHonda販売店で点検を受けてください。

●ウォッシャー液を噴射するとき

先にデフロスターを使ってフロントガラスを暖めてからウォッシャー液を噴射します。

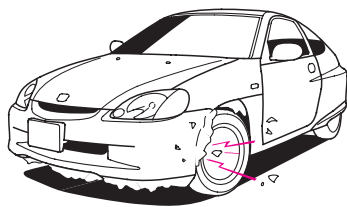
⚠ 注意

- 寒冷時はフロントガラスが暖まるまでウォッシャー液を噴射しないでください。ウォッシャー液が凍りついて視界の妨げとなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●ハンドルのきれについて (タイヤまわりの着氷)

フェンダー裏側に付着した雪が氷結し、次第にたい積してハンドルのきれが悪くなる場合があります。

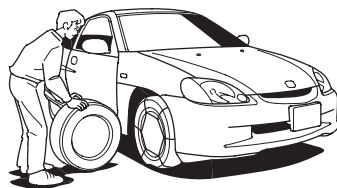
ときどき確認し、着氷が大きくなる前に取り除いてください。



●パンクしたとき (タイヤチェーン装着時)

前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に付け、外した後輪タイヤを前輪に付けてタイヤチェーンを装着します。

- ・応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。



●タイヤチェーンのつけかた

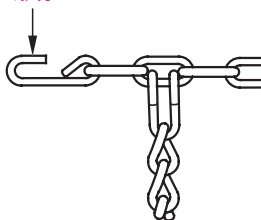
チェーンサイズ

お求めはHonda販売店へお申し付けください。

タイヤサイズ	適合チェーンサイズ
165/65R14 79S	スチールチェーン 45180(新JIS)

スチールチェーンは内側のフック形状が、かぎ形線フックのものをお使いください。

かぎ形線フック



- タイヤチェーンはタイヤに合った適正な物をお使いください。
推奨タイヤチェーン以外の物を使うと、ブレーキ配管やフェンダーなどを破損するおそれがあります。

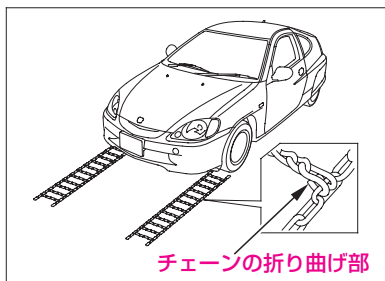
標準的なタイヤチェーンの 取り付けかた

タイヤチェーンは、駆動輪の前輪に装着してください。
後輪には、タイヤチェーンを装着しないでください。

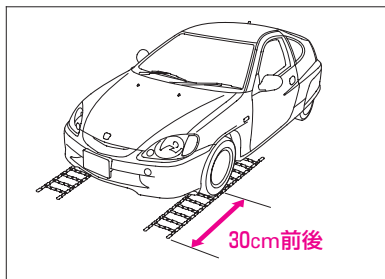


- スチールチェーン以外のタイヤチェーンをご使用になる場合は、タイヤチェーンに付属の取扱説明書にしたがって、正しく取り付けてください。
- タイヤチェーンは平らな所で他の交通に十分注意して取り付けてください。
必要に応じて非常点滅表示灯などを使ってください。
- タイヤチェーンを取り付けたときには、安全のため雪道、凍結路では30km/h以下の速度で運転してください。
なお乾燥路面ではタイヤチェーンを装着したままで走行するのは避けてください。チェーンの摩耗を早めます。
- 応急用スペアタイヤには、タイヤチェーンは装着できません。
チェーン装着時に前輪がパンクしたときは、応急用スペアタイヤを後輪に装着し、外した後輪タイヤを前輪に取り付け、これに標準タイヤ用のタイヤチェーンを装着してください。

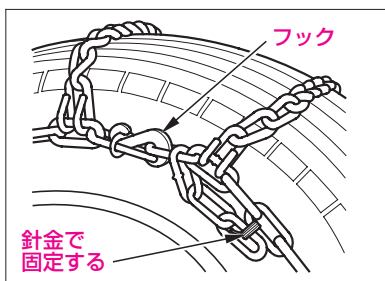
- ① 前輪を直進状態にします。
- ② チェーンの折り曲げ部が下側になるようにしてチェーンを前輪のすぐ前に敷きます。



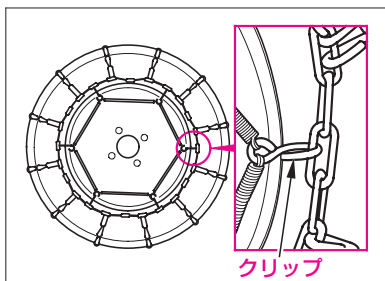
- ③ 先端のフックから30cm前後の位置まで前輪を移動させます。



- ④チェーンをタイヤにまきつけてい
っぱいに引き、内側のフックを先
に連結して次に外側のフックを連
結します。
- ⑤連結してチェーンが余った場合は、
ボディなどに当たるのを防ぐため
に針金で固定します。



- ⑥チェーンバンドのクリップを外向
きにしてチェーンをいっぱいに張
ります。



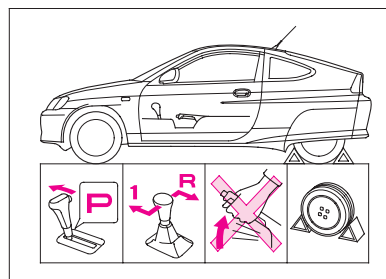
- ⑦試走してチェーンのゆるみ、はず
れなどがなければ確認します。

駐車するとき

パーキングブレーキの凍結を防ぐた
めに、パーキングブレーキは使わな
いください。

マニュアル車はギヤをR(後退)か1
に、オートマチック車はPに入れます。

石などで輪止めをしておきます。





●屋外に駐車するとき

- エンジンの冷えすぎを防ぐために、車の前部を風下や日の当たる方向に向けて停めてください。
 - ・エンジンが冷えすぎると始動しにくくなることがあります。
- 落雪や積雪を避けるために、軒下や樹木の下などには停めないでください。
 - ・車の屋根などがへこむことがあります。
- ワイパーアームは起こしてください。
 - ・雪の重みでアームの取り付け部がこわれることがあります。

●長期間使わないで屋外におくとき

塗装面の保護とドアまわりの凍結を防ぐために、ボディカバーを使ってください。

⚠ 注意

- 格納するとき、エンジン部を毛布で覆ったり、ラジエーターのまわりに段ボールや新聞紙をはさみ込んだりしないでください。
そのまま走行すると、火災のおそれがあります。



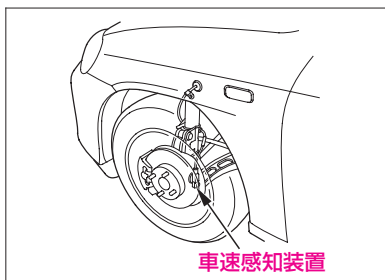
アドバイス

- 長時間走行しないと、IMAバッテリーのバッテリーあがりや寿命を縮めることがあります。月に1度、30分以上走行してください。

冬期の手入れ

●雪道走行後の手入れ

- フェンダー裏側や足まわりに付着した泥、雪は周囲の部品を損傷しないように取り除いてください。足まわり(前、後輪の4か所)に車速感知装置が取り付けられていますので、傷をつけないように特に注意してください。



- 積雪時には道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。錆の原因になりますので、走行後はすぐに洗車してください。特に下回りは念入りに行ってください。

●点検・整備

バッテリーについて

気温が下がると12Vバッテリーの性能が低下し、エンジン始動に支障をきたすことがありますので、液量、比重の確認をし、必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

エンジンオイルについて

冬期はオイルの劣化が激しくなります。冬期に主として短距離、または市街地を運転される方は、早めに交換してください。



冷却水について

冷却水の凍結を防ぐために点検してください。

ウォッシャー液について

ウォッシャー液の凍結を防ぐために、ウォッシャー液の濃度を上げてください。

- 点検方法はメンテナンスノートを参照し、交換はHonda販売店にご相談ください。

こんなときは

雨の日の運転

雨の日は視界が悪くなるうえ、窓ガラスが曇ったり、路面が滑りやすくなるなど悪条件が重なるので通常より注意深い運転が必要です。

- ・急加速、急ブレーキや急ハンドルを避け、晴れの日よりも速度を落とし、車間距離を十分にとって運転しましょう。
- ・ハイドロプレーニング現象に注意しましょう。
- ・雨の降り始めの舗装道路は滑りやすいので特に気を付けましょう。
- ・冠水路などの深い水たまりは走行しないでください。

エンジンの破損や電装品の故障および車両故障につながるおそれがあります。

⚠ 警告

- 滑りやすい路面では、急加速、急ブレーキや急ハンドルは避けてください。
車のコントロールを失い思わぬ事故につながります。

ハイドロプレーニング現象とは

路面が水でおおわれているところを高速で走行したときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になることをいいます。

- ・このような状態になると、ハンドルやブレーキが効かなくなり、非常に危険です。

**● ガラスの曇りをとりたいとき**

ガラスが曇って外が見にくいときは、エアコンのデフロスターを使って曇りをとります。

リヤガラスの曇りは

リヤデフロスタースイッチを押して、曇りをとります。

● ガラスの油膜をとりたいとき

油膜があると、雨の夜は対向車のライトなどが乱反射します。

ガラスクリーナーを使ってガラスの表面をきれいにします。

- ・ ガラスクリーナーはHonda純正ケミカル用品をお使いください。

● ワイパーの拭きむらがあるとき

ワイパーブレードのラバーが傷んでいると、拭きむらが出て視界の妨げとなります。また、ガラス面を傷つけることがありますので、早めに交換してください。

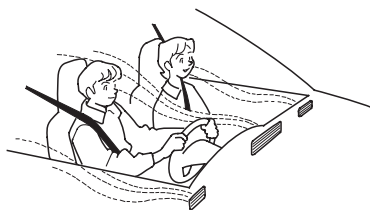


夏の 取り扱い

●エアコンの上手な使いかた

- 冷媒(ガス)が不足していると、冷房性能が低下します。
夏になる前に点検、補充をお願いします。
- 室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。
- エアコンの冷やしすぎは健康上良くありません。

●この車の冷媒は、環境保護のため、新冷媒HFC-134a (R-134a)を使用しています。
補充・交換が必要な場合は、**Honda**販売店にご相談ください。



**●炎天下に駐車するときは**

- ボディーに覆いをかけたり、ハンドルやシートにタオルなどをかけて、室内温度の上昇を抑えましょう。
- フロントガラスにアルミ光沢性の日除けバイザーを使うと、反射光が集光し、インストルメントパネルなどが変色、変形することがあります。

●海から帰ってきたときは

海に出かけた後は車も塩分を浴びています。錆の原因になりますので早めに洗車してください。下回りも念入りに洗いましょう。

●オーバーヒートを防ぐために

冷却水の量が不足しないように、こまめに点検します。

- 走行中、水温計の赤いマークが点灯した場合は、オーバーヒートのおそれがあります。安全な場所に停車してエンジンを冷やしてください。

オーバーヒートしたとき

→178ページ

環境にやさしい省エネドライブをするために

●点検整備をきちんとし、タイヤの空気圧を適正にしましょう。

■適正空気圧で50km走ると50kPa {0.5kgf/cm²} 減

のときに比べてガソリン 150ccの節約。

▲CO₂ 1250g削減(650km/月)



- タイヤの空気圧が低下すると走行抵抗が増加し、燃費に大きく影響します。また、冬用タイヤや幅広タイヤを装着したときも同様に燃費に影響します。

●不必要な荷物は降ろして走行しましょう。

■10kgの荷物を降ろして50km走ると、

ガソリン 15ccの節約。

▲CO₂ 130g削減(650km/月)



●エアコンは少し控えめにしましょう。

室内温度が高いときは、窓を開けて熱気を逃がしてからエアコンをかけましょう。

■エアコンを6分停止して、ガソリン 70ccの節約。

▲CO₂ 1340g削減(3時間/月)



- エアコンは冷媒を循環するため、コンプレッサーをエンジンで駆動しており、エンジンに大きな負荷が発生します。それを補うため、燃料消費が多くなります。

●ヘッドライトやリヤデフロスターは電力を多く消費するため、不必要なときはスイッチを“OFF”にしてください。

- 発電機はエンジンで駆動しており、消費電力が増加すると発電量が増加し、エンジンの負荷が大きくなり、それを補うため、燃料消費が多くなります。

**●空ぶかしはしないようにしましょう。**

■空ぶかしを1回やめて、ガソリン 6 ccの節約。

▲CO₂ 1150g削減(300回/月)

**●長時間停車するときは、エンジンを停止してください。**

また、長すぎる暖機運転をしないようにしましょう。

■5分間のアイドリングを止めて、ガソリン
65ccの節約。

▲CO₂ 420g削減(10回/月)

**●変速位置の選択は、走行速度や坂の勾配に合わせて適切に行ってください。**

- ・オートマチック車は通常はDで走行します。
- ・下り坂で速度が出すぎてしまうときは、オートマチック車はSモードにして、エンジンブレーキを使用してください。Sモードのままで速度が出すぎるときはDにし、さらに強いエンジンブレーキを使います。マニュアル車はギヤを一段ずつ落として、エンジンブレーキを使います。

- 下り坂などでエンジンブレーキを使う目的で、より低速のギヤを有効に使うと、燃料カットの時間が長くなり、燃費が良くなることがあります。

●経済速度について

- ・高速道路では100km/hを80km/hにして燃費10～30%の節約。
- ・一般道路では法定速度(40～60km/h)の範囲で一定走行すると燃費は良くなります。

●オートアイドルストップシステムを作動させると燃費が向上します。

オートアイドルストップシステムについて

マニュアル車 →103ページ

オートマチック車 →118ページ

参考資料＊社団法人日本自動車工業会：「あしたへECO-MOTION」参照

《対象車種2.0L乗用(AT)の燃費=11.7km/l(10・15モード)が計算ベース》

●10・15モード燃費について

10・15モード燃費とは

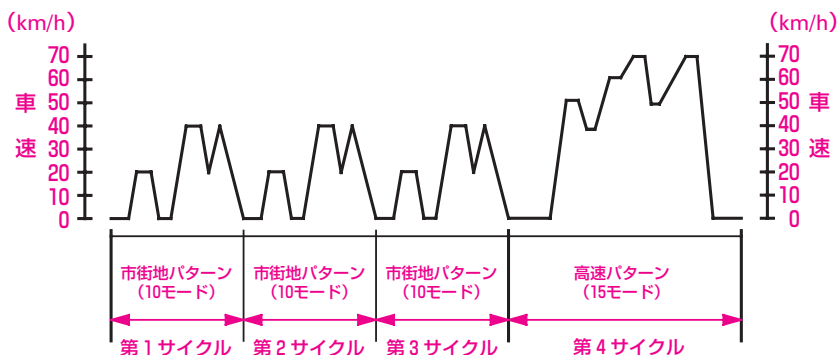
東京都内の幹線道路における平均的な走行形態の10モードと、高速走行や渋滞など大都市における走行形態を反映させた15モードを図のように

- ・市街地パターン(10モード)を3回
- ・高速パターン(15モード)を1回

の計4サイクルで走行したときの排出ガス量(g/km)を測定します。

このときに消費した燃料を10・15モード燃費(km/l)として表示しています。

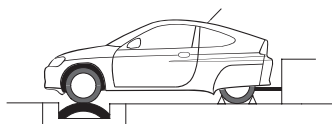
* 計測走行距離 4.2km、平均時速 23km/h



10・15モード燃費と実走行燃費との違い

10・15モード燃費は図のようにシャーシダイナモメーター上で定められた試験条件のもとで行われた燃費値です。

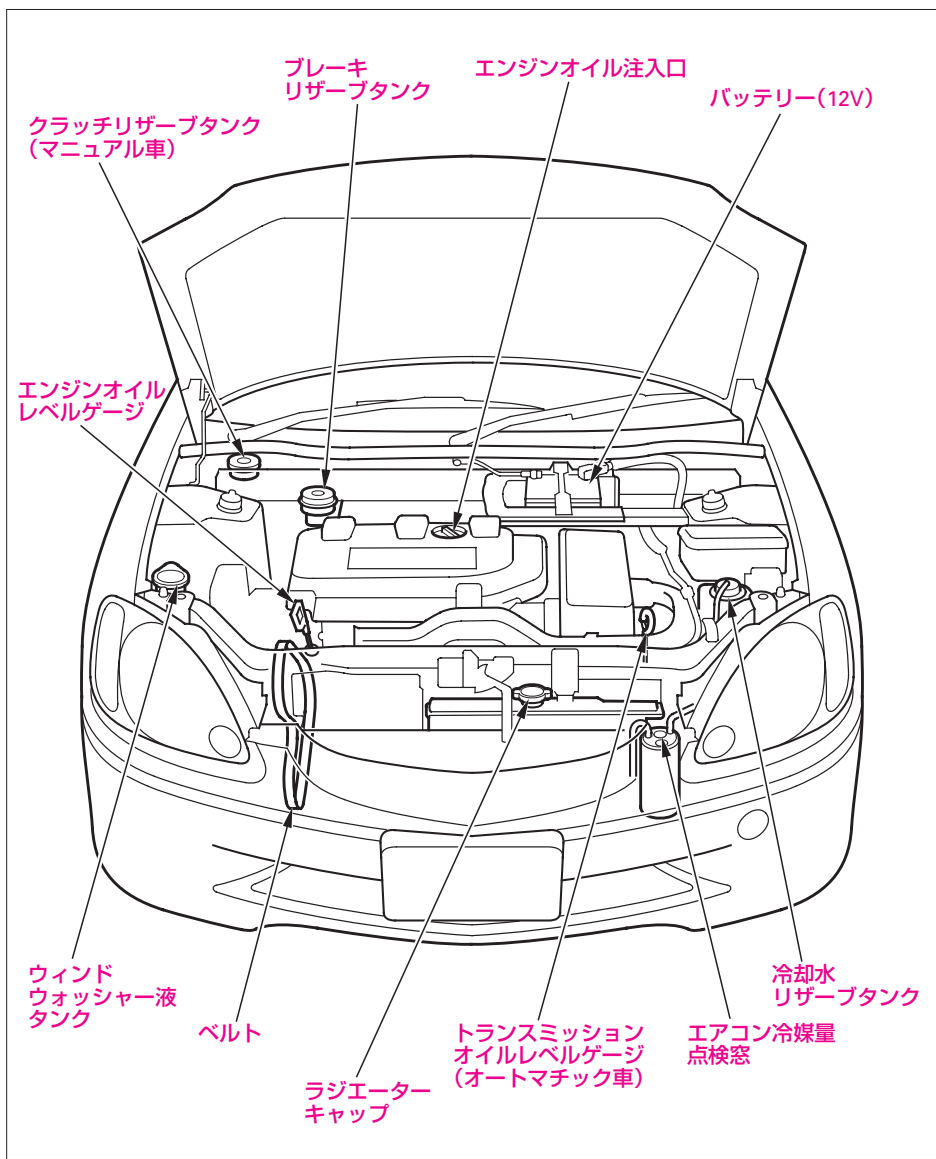
実際の走行時には気象、道路、車両、運転、整備などの状況が異なってきますので、それに応じて燃費が異なります。



**10・15モード燃費の計測方法(国土交通省認可時 測定条件)**

- ・ 3,000km慣らし走行後の車両
- ・ 完全暖機状態 60km/h 15分暖機後モード測定
- ・ 走行抵抗設定 車両(空車)状態+110kg(2名乗車分)
- ・ 搭載電気機器“OFF”状態
- ・ エアコン“OFF”で測定

サービスデータ



点検整備については「メンテナンスノート」も合わせてご覧ください。

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
点 火 プ ラ グ*	タ イ プ	NGK	ILZFR6A-11
	電 極 の す き 間 (基 準 値)	1.0－1.1 mm	

※：この車のスパークプラグには、燃費向上のため電極の方向に指定のあるスパークプラグを採用しています。

点検、交換に際しては、次のことに注意してください。

- ・点検：点検後、プラグを取り付けるときには、元の位置に戻してください。
- ・交換：4種類のインサイト専用プラグを用意しています。
交換の際にはHonda販売店にお問い合わせください。

イリジウムプラグを使用していますので、次のことに注意してください。

- ・イリジウム合金チップの微粒子膜を損傷するおそれがあるので、ワイヤーブラシ等による清掃は行わないでください。
- ・プラグギャップは調整できません。基準値をこえているものは交換してください。
(清掃はクリーナーにて20秒以下で行ってください。)

エアクリーンフィルターの交換

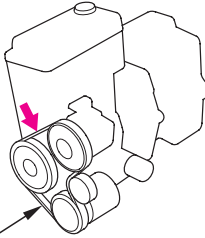
エアコンには、花粉・空気中のちり・ほこり・粉じん等を集じんするエアクリーンフィルターが取り付けられています。

エアクリーンフィルターの交換は、通常1年または15,000kmごとに、Honda販売店で行ってください。

ただし、使用条件により異なりますので粉じんの多い場所などでは、早めの交換をおすすめします。

- ・エアコンの風量が著しく減少したり、ガラスが曇りやすくなったときなどは、フィルターの目詰まりが考えられます。

Honda販売店で点検を受けてください。

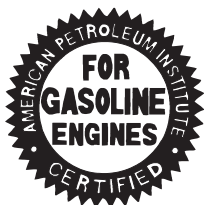
項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
ベルトのたわみ量			
	エアコンディショナーベルト	7.5－10.5 mm {約98N(10kgf)の力}	
ブレーキペダル	遊 び	1－5 mm	
	床板とのすき間	マニュアル	114 mm 以上 {約196N(20kgf)の力}
		オートマチック	119 mm 以上 {約196N(20kgf)の力}
	カーペットとのすき間 (参考値)	マニュアル	94 mm 以上 {約196N(20kgf)の力}
		オートマチック	98 mm 以上 {約196N(20kgf)の力}
クラッチペダル	遊 び	10－20 mm	
	床板とのすき間	70 mm 以上(クラッチが切れたとき)	
	カーペットとのすき間 (参考値)	40 mm 以上(クラッチが切れたとき)	
パーキングブレーキ	引 き し ろ	4－6 回 {196N(20kgf)の力}	
エアクリーナー エ レ メ ン ト	タ イ プ	湿式	
12V バッテリー	容 量 / タ イ プ	27AH(5)/34B17R	
電 球 (バ ル ブ)	W (ワ ッ ト) 数	ヘッドライト(ハロゲンバルブ)・・・ 12V－60/55W 前面方向指示器／前面非常点滅表示灯・・ 12V－21W 車幅灯・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12V－5W 側面方向指示器／側面非常点滅表示灯・・ 12V－5W 後面方向指示器／後面非常点滅表示灯・・ 12V－21W 番号灯・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12V－5W 制動灯／尾灯・・・・・・・・・・・・・・ 12V－21/5W 後退灯・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12V－18W 室内灯・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12V－5W マップランプ・・・・・・・・・・・・・・ 12V－5W カーゴルーム照明灯・・・・・・・・・・ 12V－3.4W	

項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
エンジンオイル	推 奨 オ イ ル	Honda純正オイル(4サイクル四輪車用) ウルトラLEO-SM(API SM/GF-4級SAE 0W-20)* ウルトラLTD-SM(API SM/GF-4級SAE 5W-30) ウルトラMILD-SM(API SM/GF-4級SAE 10W-30) ウルトラGOLD-SM(API SM級SAE 5W-40)	
		オイル交換時	2.3 ℓ
	規 定 量	オイル、オイルフィル ター同時交換時	2.5 ℓ

※：0W-20は、最も省燃費性に優れたオイルです。

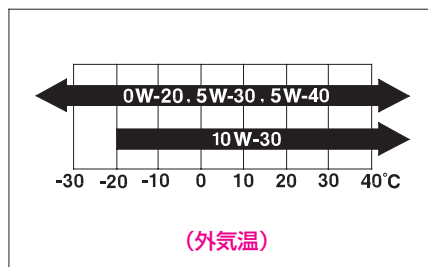
推奨エンジンオイル

Honda純正エンジンオイルまたはAPI S L 級以上か、オイル缶にAPI CERTIFICATION(エーピーアイ サーティフィケーション)マークの入ったエンジンオイルをお使いください。



API CERTIFICATIONマーク

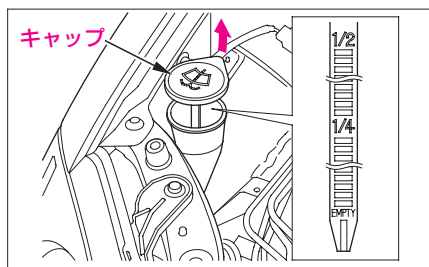
市販のエンジンオイルは、外気温に応じた粘度のものを下表にもとづきお使いください。



項 目		サ ー ビ ス デ ー タ	
燃 料	指 定 燃 料	無鉛レギュラーガソリン(無鉛ハイオクも使用可能)	
	タ ン ク 容 量	40 ℓ	
トランスミッション オ イ ル	指 定 オ イ ル	マニュアル	Honda純正オイルウルトラMTF-II
	指 定 液	オートマチック	Honda純正ウルトラHMMF
	規 定 量 (交換時)	マニュアル	1.5 ℓ
		オートマチック	3.3 ℓ
冷 却 水	指 定 液	Honda純正ウルトラeクーラント	
	規 定 濃 度	50%	
	規 定 量 (交換時リザーブ タンク0.4ℓ含む)	2.3 ℓ	
ブ レ ー キ 液	指 定 液	Honda純正ウルトラブレーキフルードDOT 3 またはDOT 4	
ク ラ ッ チ 液	指 定 液	Honda純正ウルトラブレーキフルードDOT 3 またはDOT 4	
ウ オ ッ シ ャ ー 液	タ ン ク 容 量	2.5 ℓ	

ウォッシャー液の量の点検

ウォッシャー液の量は、キャップに付いているウォッシャー液レベルゲージにより確認します。



項 目			タイヤ空気圧 kPa (kgf/cm ²)		リムサイズ※	
			前輪	後輪	スチールホイール	アルミホイール
タイヤサイズ						
標準タイヤ	165/65R14 79S	マニュアル	260 (2.6)			14×5J
		オートマチック	240 (2.4)			
スベアタイヤ	T115/70D14 88M		420 (4.2)		14×4T	

タイヤの溝の深さ	1.6 mm 以上
位置交換時期(タイヤローテーション)	5,000 km ごと

※：この車専用のホイールをお使いください。

専用以外のホイールを使うと、走行装置やブレーキ装置に支障をきたすおそれがあります。
ホイール交換に際しては、必ずHonda販売店にご相談ください。

名称	排気量 (cm ³)	車体形状	乗車定員 (人)
インサイト	995	2 ドアハッチバック	2

ア

アクセサリソケット	152
雨の日の運転	218
アルミホイール	204
アンチロックブレーキシステム(ABS)	
運転のしかた	134
ABSのしくみ	134
警告灯	86・135
取り扱いについて	135
アンテナ	149

イ

イグニッション(エンジン)	
キー	38
スイッチ	88
イモビライザーシステムについて	50
表示灯	77
イルミネーションコントロール	69

ウ

ウィンカー	
スイッチ	92
電球の交換	190・191
表示灯	76
W(ワット)数	228
ウィンドー	48
ウォッシュ液	
スイッチ	95
タンクの容量	230
冬期の手入れ	217
補給	230
動けなくなったとき	165
運転のしかた	
オートマチック車	106
マニュアル車	98

エ

エアクリーナーエレメント	228
エアクリーンフィルター	145・227
エアコン	
使いかた	140
吹き出し風の調節	139
エコノ(ECON)スイッチ	142

SRSエアバッグシステム

SRSエアバッグシステムの効果を 十分に発揮させるために	128
SRSエアバッグシステムのしくみ	124
お子さまを乗せるときは	129
警告灯	85・131
作動しないとき	127
作動するとき	126
取り扱いについて	130
エレクトリックパワーステアリング(EPS)	
警告灯	83
エンジンオイル・フィルター	
オイル量	229
冬期の手入れ	216
エンジンキー(キー)	38
エンジンスイッチ	88
エンジンのかけかた	98・107
エンジンブレーキ	24
エンジンルーム	226

オ

応急用スペアタイヤ

格納場所	156
空気圧	231
サイズ	231
スペアタイヤについて	168
オーディオ	146
オートアイドルストップシステム	
オートアイドルストップ	
システムについて	13・103・118
作動中警告ブザー	104・119
表示灯	77・104・119
オートエアコン	140
オートマチックトランスミッション	
運転のしかた	106
オイル	230
オーバーヒートしたとき	178
オドメーター	67

カ

カーゴフック	154
カーゴルーム照明灯	
使いかた	151
電球の交換	193
W(ワット)数	228
外装の手入れ	199
学童用(ジュニア)シート	21・61
カップホルダー	153
ガラスの手入れ	200
換気	19
環境にやさしい省エネドライブを するために	222
寒冷時の取り扱い	208

キ

キー	38
キー抜き忘れ警告ブザー	89
キーレスエントリー	40
キーレスステールゲートオープナー	44
キックダウン	26

ク

曇り取り(デフロスター)	144
クラッチ	
液	230
ペダル	228
クリープ現象	26
車にあった部品の使用	206
グローブボックス	151

ケ

警告灯	
警告灯類	80
電球切れの点検	86
けん引	
けん引されるとき	162
減速エネルギー回生動作表示(CHRG)	68

コ

コインポケット	152
工具(ツール)	
格納場所	156
種類	157
高速道路で故障したとき	158
後退灯(バックランプ)	
電球の交換	191
W(ワット)数	228
後部ワイパー(リヤワイパー)スイッチ	96
故障したとき	158
故障の修理について	159
小物入れ	151

サ

三点式シートベルト	60
サービスデータ	226
サンバイザー	153

シ

シート	54
シートベルト	58
種類	60
着用のしかた	62
非着用警告灯	84
シートベルトプリテンショナー	
警告灯	85・133
シートベルトプリテンショナーのしくみ	132
取り扱いについて	133
シートベルトリマインダー	84
事故が起きたとき	15・160
室内灯(ルームランプ)	
使いかた	150
電球の交換	192
W(ワット)数	228
シフト・インジケーター表示灯	78
シフトロック装置	29・114
霜取り・曇り取り	
前面・側面ガラス	144
ジャッキの取り扱い	166
車幅灯(ポジションランプ)	
電球の交換	189
W(ワット)数	228
充電警告灯	82
樹脂塗装部品	200
ジュニア(学童用)シート	21・61
瞬間燃費表示	70
純正部品	206
省燃費の運転方法	14

ス

水温計	68
スイッチの使いかた	88
ストレーキ	36
スノータイヤ(冬用タイヤ)	210
スパークプラグ(点火プラグ)	227
スピードメーター	67
スペアタイヤ	
格納場所	156
空気圧	231
サイズ	231
スペアタイヤについて	168

セ

制動灯(ブレーキランプ)	
電球の交換	191
W(ワット)数	228
整備	196
積雪・寒冷時の取り扱い	
運転するとき	210
運転するまえ	208
駐車するとき	214
冬期の手入れ	216
セレクトレバー	
操作	110
ポジション表示灯	76
セキュリティシステム	50
洗車	199
前照灯(ヘッドライト)	
上向きと下向きの切り換え	91
上向き表示灯	76
追越合図(パッシング)	91
スイッチ	90
電球の交換	188
W(ワット)数	228

ソ

速度計	67
速度範囲	101
その他の安全装備	136

タ

タイヤ

位置交換(ローテーション)	203
ウェアインジケーター	203
応急用スペアタイヤ	168
空気圧	231
交換	172
サイズ	231
スノータイヤ	210
チェーン	212
点検	202
タコメーター	67
正しい運転姿勢	52

チ

チェーン	212
チェンジレバー	101
チャイルド(幼児用)シート	21・61
駐車	
坂道	31
積雪・寒冷時の取り扱い	214
駐車ブレーキ(パーキングブレーキ)	
警告灯	84
積雪・寒冷時の取り扱い	214
操作	100・109

テ

テールゲート

開閉	45
開閉警告灯	85
施錠・解錠	44
デフロスター	144
点火プラグ	227
電気系統が異常のとき	180
電気装置が作動しないとき	182
電球(バルブ)	
交換	186
W(ワット)数	228
点検・整備について	196

ト

ドア

開閉警告灯	85
施錠・解錠	39
積雪・寒冷時の取り扱い	209
ドアミラー	56
冬期の手入れ	216
道路で動けなくなったとき	159
塗装の手入れ	198
トランスミッション	
オイルの容量	230
警告灯	85
トリップメーター	67
トリップ連動モード	71

ナ

内装の手入れ	201
夏場の取り扱い	220

ニ

日常の手入れ	198
乳児用(ベビー)シート	21・61
任意区間モード	73

ネ

燃費表示(FCD)	70
燃料(ガソリン)	
指定燃料	46・230
タンク容量	46・230
燃料計	68
燃料残量警告灯	85
補給口	46

ハ

パーキングブレーキ(駐車ブレーキ)	
警告灯	84
積雪・寒冷時の取り扱い	214
操作	100・109
パーソナルボックス	154
ハイドロブレーニング現象	218
ハイビーム表示灯	76
ハザードランプ(非常点滅表示灯)	
スイッチ	93
電球の交換	190・191
W(ワット)数	228
発炎筒	
格納場所	156
発炎筒について	157
バックミラー(後写鏡)	
使いかた	56
バッテリー	
冬期の手入れ	216
バッテリーあがり	180
容量/タイプ	228
パニティミラー(化粧鏡)	153
パワーウィンドー	48
パワードアロック(オートドアロック)	39
バンク	
積雪・寒冷時の取り扱い	211
バンクしたとき	166
番号灯(ライセンスランプ)	
電球の交換	192
W(ワット)数	228

ヒ

PGM-FI警告灯	82
非常点滅表示灯(ハザードランプ)	
スイッチ	93
電球の交換	190・191
W(ワット)数	228
尾灯	
電球の交換	191
W(ワット)数	228
ヒューズ	182
表示灯	74

フ

吹き出し風の調節	139
踏切で動けなくなったとき	158
フューエルリッド	47
プラグ	227
ブレーキ	
液	230
警告灯	84
積雪・寒冷時の取り扱い	211
倍力装置	24
ペダル	228

ヘ	
ヘッドライト	
上向きと下向きの切り換え	91
上向き表示灯	76
追越合図(パッシング)	91
スイッチ	90
電球の交換	188
ヘッドライトレベリングレバー	91
W(ワット)数	228
ベビー(乳児用)シート	21・61
ベルトのたわみ量	228

ホ	
ホーンスイッチ	93
ホイールサイズ	231
芳香剤	201
方向指示器	
スイッチ	92
電球の交換	190・191
表示灯	76
W(ワット)数	228
Honda IMAシステム	
IMAシステム警告灯	85
IMAバッテリー残量表示	68
Honda IMAシステムについて	12
ボンネット	42

マ	
マップランプ	
使いかた	150
電球の交換	192
W(ワット)数	228
万ーのとき	155

ミ	
ミラー	
ドアミラー	56
ルームミラー	56

ム	
無線装置	33

メ	
メーター(計器類)	66

モ	
モーター駆動動作表示(ASST)	68

ユ	
油圧警告灯	83
雪道走行後の手入れ	216

ヨ	
幼児用(チャイルド)シート	21・61

ラ

ライト消し忘れ警告ブザー	90
ライトスイッチ	90
ライト類が点灯しないとき	182
ラジオポケット	152

リ

リムサイズ	231
リヤデフロスター	94
リヤホイールスカート	170
リヤワイパー	96

ル

ルームミラー(防眩式室内後写鏡)	56
------------------------	----

レ

冷却水(ラジエーター液)	
水量	230
冬期の手入れ	217

ワ

ワイパー	
スイッチ	95
積雪・寒冷時の取り扱い	209
ワックスがけ	200

A	
ABS(アンチロックブレーキシステム)	
運転のしかた	134
ABSのしくみ	134
警告灯	86・135
取り扱いについて	135
A/C(エアコン)	
オートエアコン	140
吹き出し風の調節	139
ベルト	228
ASST(モーター駆動動作表示)	68
AT(オートマチックトランスミッション)	
運転のしかた	106
オイル	230
セレクトレバー	110

C	
CHRG(減速エネルギー回生動作表示)	68

E	
ECON(エコノ)スイッチ	142
ELR付三点式シートベルト	60
EPS(エレクトリックパワーステアリング)	
警告灯	83

F	
FCD(燃費表示)	70
FCDセレクトスイッチ	70

H	
HFC-134a(エアコン冷媒)	220
Honda IMAシステム	
IMAシステム警告灯	85
IMAバッテリー残量表示	68
Honda IMAシステムについて	12

I	
IMAシステム	12
IMAシステム警告灯	85
IMAバッテリー残量表示	68
INT(間欠ワイパー)	96

M	
MT(マニュアルトランスミッション)	
運転のしかた	98
オイル	230
チェンジレバー	101

P	
PGM-FI警告灯	82
PRESS(シートベルトバックル)	63

S	
SRSエアバッグシステム	
SRSエアバッグシステムの効果を	
十分に発揮させるために	128
SRSエアバッグシステムのしくみ	124
お子さまを乗せるときは	129
警告灯	85・131
作動しないとき	127
作動するとき	126
取り扱いについて	130
Sモード(マルチマチック)	
モードの切り換え	112
表示灯	76

W	
W数(ライト類の電球のワット数)	228

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda販売店にお気軽にご相談ください。

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社 お客様相談センター

フリーダイヤル 0120-112010

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

〒351-0188 埼玉県和光市本町 8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速に対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

①車検証記載事項

車両型式、車台番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日

②車種名、タイプ名、走行距離

③ご購入年月日

④販売店名

こんなことでお困りのとき

●キーレスエントリーで解錠しても、自動で閉まってしまう

- ・キーレスエントリーで解錠してから、ドア、テールゲートを開けないまま、約30秒たっていないですか。

キーレスエントリー →41ページ

●キーが回せない

“0”から“1”に回らないとき（ハンドルロックの解除）

- ・ハンドルを左右に動かしながらキーを回してください。

エンジンスイッチ →88ページ

“1”から“0”に回らないとき **オートマチック車**

- ・セレクトレバーがPに入っていますか。

キーを抜くとき →88ページ

●エンジンがかからない

- ・オートマチック車は、セレクトレバーがPかRに入っていますか。
- ・イモビライザーシステム表示灯が点滅していませんか。

イモビライザーシステムについて →50ページ

- ・ガソリンが入っていますか。（メーター内の燃料計で確認してください。）
- ・バッテリーがあがっていませんか。

バッテリーあがりのとき →180ページ

- ・クラッチペダルをいっぱいに踏み込んでいますか。 **マニュアル車**

クラッチ・スタートシステム →99ページ

●セレクトレバーがPから動かさない **オートマチック車**

- ・ブレーキペダルを踏んでから操作していますか。
（操作できないときは、キーをシフトロック解除穴に差し込み、押しながらセレクトレバーを動かしてください。）

セレクトレバーが動かないとき →114ページ

- ・エンジンスイッチを“II”にしてから操作していますか。

シフトロック装置の正しい理解を →29ページ

●パワーウィンドーの開閉ができない

- ・パワーウィンドーのメインスイッチが“OFF”になっていませんか。

パワーウィンドー →48ページ

●ドアを開けるとブザーが鳴る

- ・「ピー」とブザーが鳴り続けるときは、ライトを消し忘れたままになっていませんか。

ライト消し忘れ警告ブザー →90ページ

- ・「ピピピピ」とブザーが繰り返し鳴り続けるときは、キーをエンジンスイッチに差し込んだままになっていませんか。

キー抜き忘れ警告ブザー →89ページ

- ・「ピーッピーッ」とブザーが繰り返し鳴り続けるときは、オートアイドルストップシステムが作動し、エンジンが停止していませんか。

オートアイドルストップ作動中警告ブザー

マニュアル車 →104ページ

オートマチック車 →119ページ

●キーを閉じ込めてしまった

- ・Honda販売店またはJAFへご連絡ください。

●水温計の赤いマークが点灯した

●エンジンルームから蒸気が立ちのぼっている

- ・オーバーヒートのおそれがあります。
(安全な場所に停車して、エンジンを冷やしてください。)

オーバーヒートしたとき →178ページ

●走行中にブレーキを踏むと金属的な摩擦音がする

- ・ブレーキパッドが摩耗して使用限界になっているおそれがあります。
(Honda販売店で点検を行ってください。)

●走行中にブレーキを踏むと、ペダルが振動する

- ・アンチロックブレーキシステム(ABS)が作動したものと思われます。

ABSのしくみ →134ページ

●走行するとブザーが鳴る

ブザーが鳴り、シートベルト非着用警告灯が点滅しているときは

- ・運転席シートベルトを着用していますか。
(運転席シートベルトを着用してください。)

シートベルトリマインダー →84ページ



万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda 販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

インターネットでも取扱説明情報をお伝えしております。
Digital Owner's Manualのホームページ
<http://www.honda.co.jp/manual/>